

1917/24

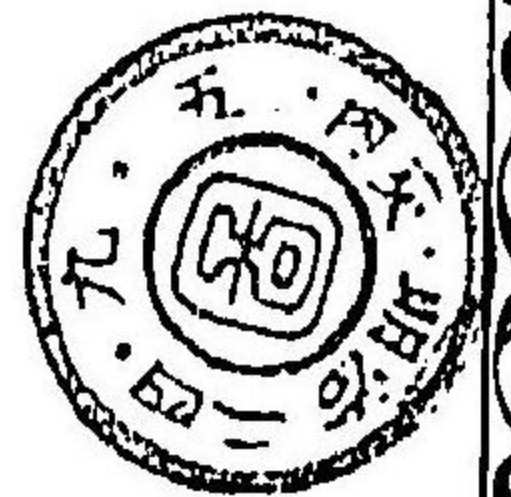
~~016~~ 17

市岡正一編纂

訂正
日本類典

第貳編
下卷

博聞社藏版



CZ
3
015 016

正訂 日本類典第二編下卷目次

○第十一類

○第二章 國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分
租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

〔第一百〕 國稅徵收法中改正

- 〔一〕 北海道及町村制施行セサル島嶼ノ國稅徵收方 全 一
- 〔二〕 沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ノ件 全 三
- 〔三〕 市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ニ關スル件 全 四
- 〔四〕 國稅徵收法施行細則改正 全 十
- 〔五〕 國稅徵收期限內分納方 全 十
- 〔六〕 市町村ヲシテ徵收セシムル國稅徵收ノ手續 全 七
- 〔七〕 他屬ノ委託ヲ受ケテ租稅徵收ノトキ其徵稅令書及納付書ニ捺印方 全 七
- 〔八〕 明治二十一年度以前戶長ニ對シ徵稅令書ヲ發セシ國稅ニシテ 全 一

目次

| | |
|--|-----|
| 未納税ヲ上納セントスルトキノ手續 | 二 |
| 〔九〕 國税金ノ内納付後徵稅令書へ記載ノ年度科目誤記訂正請求方 | 十七 |
| 〔十〕 國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及納付書樣式中規定 | 全 |
| 〔十一〕 國稅徵稅令書及納付書中收入官吏現金拂込書記名方 | 十八 |
| 〔十二〕 國稅賦課計算書調製手續 | 全 |
| 〔十三〕 各納稅人ヨリ税金ヲ分納スルトキ徵稅令書添付及現金領收方 | 十九 |
| 〔十四〕 各廳へノ納人直納者ニシテ各廳ニ於テ金庫ノ通知書ヲ受入 アル分收入官吏へ引繼方 | 全 |
| 〔十五〕 北海道及町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收手續 | 全 |
| 〔十六〕 租稅ニ關スル諸帳簿管理其他取扱方 | 二十 |
| 〔十七〕 納稅人國稅令書ノ發付ヲ受ケ納期後上納方 | 二十一 |
| ● 伺指令 | |
| ● 國稅徵收ノ件ニ付照會回答 | 全 |
| ● 徵稅令書發付方分任ノ件伺指令 | 二十二 |
| ● 他廳委託徵收金ノ件照會回答 | 全 |
| 第百十一 國稅事務取扱 | 二十三 |

| | |
|---|-----|
| 〔一〕 市制施行ノ地ニ於テ取得稅取調掛ヲ置キ及市町村制施行ノ地 ニ於ケル諸車檢印ノ事務其他大藏省達告示中戸長又ハ戸長役 場トアル分心得 | 二十四 |
| 〔二〕 島廳及收稅部出張所地租事務取扱方手續 | 全 |
| ● 伺指令 | |
| ● 收稅部出張所取扱事務ノ件ニ付問合同答 | 全 |
| 第百十二 國稅滯納處分法 | 二十五 |
| 〔一〕 國稅滯納處分法施行細則 | 二十六 |
| 〔二〕 國稅滯納處分法施行細則第四號第五號樣式納付書中記入方 | 二十七 |
| 〔三〕 國稅滯納處分法第八條中第二項乃至第七項ニ係ル諸費支出方 | 全 |
| 〔四〕 諸營業稅及船稅車稅ヲ納ムル者ニシテ逃亡若クハ失踪シ納期 限ヲ過キ滯納處分ヲ了シタル者取扱方 | 全 |
| 〔五〕 滯納報告以後督促令狀發付以前滯納税金上納ノ者納付方 | 全 |
| 〔六〕 國稅滯納處分實況報告及處分費報告表ヲ廢シ國稅徵收法施行 細則報告書へ記入方 | 五 |
| 〔七〕 二十一年度以前戸長ニ對シ徵稅令書ヲ發セシ國稅ノ未納稅ヲ | 十 |

目次

上納セントスルトキノ手續

● 同指令

● 國稅滯納處分法施行細則第四號様式ノ件問合回答

● 國稅過誤納金還付期限ノ件同指令

● 納稅義務ヲ果サス失踪セシ者ニ關スル取扱方同指令

第百十三 地方稅及備荒儲蓄金滯納者處分法

第百十四 諸稅監查

(一) 諸稅監查員提携印章廢止

第百十五 間接國稅犯則者處分法

(一) 間接國稅犯則者處分法施行細則

第百十六 稅關法

(一) 稅關規則

(二) 稅關管轄區域

(三) 稅關規則中特許手数料

(四) 稅關管轄區域制定ニ付勅令施行ノ日ヨリ沿海開港外ニ於テ違

五 十

全 一

全 一

全 一

五 二

全 一

全 一

五 三

五 七

六 三

六 六

七 六

七 八

犯者等アルトキ町村役場浦役場ヨリ所管稅關ニ通報方

○ 第三章 國稅 府縣稅 地方稅

第百十六上 地租條例中改正

(一) 地價特別修正

(二) 北海道開墾地地租地方稅免除方

(三) 地租田方代米納差許ヲ廢ス

(四) 地租條例施行細則

(五) 地租條例及地租條例施行細則取扱

(六) 地租條例第十條變換地取扱方心得

(七) 地租ニ關スル諸帳簿様式更正

(八) 變換地臺帳更正銀下年期付與開墾地臺帳様式凡例追加

(九) 荒地低價地ノ段別年期増減取調差出方

● 同指令

● 官民有未定地徵稅區分ノ件同指令

● 地目變換ノ件上申指令

七 九

八 十

全 一

八 三

八 四

全 一

八 五

八 七

全 一

八 八

全 一

全 一

八 九

全 一

目次

五

●地割矯正等ノ件質議回答

●沿革要領追加

第百十六下 地租徴收期限改正

(一) 北海道地租納期改正

第百十七 北海道水産稅則中改正

(一) 北海道水産稅則附則ニ依リ納稅シ來レル水産營業者納稅方

(二) 北海道水産稅算出價額施行改正

第百十八 酒造稅則中改正

(一) 北海道ノ内酒造稅則施行

(二) 酒造稅則施行細則ヲ定メ十七年第六十四號二十二年第十四號
省令ヲ廢止ス

●同指令

●酒造稅則中改正ノ件ニ付問合回答

第百十九 煙草稅

(一) 煙草稅則施行細則中改正

六

九 十

九 十 一

全

九 十 二

九 十 三

全

九 十 四

全

九 十 六

九 十 七

百

百

全

百 三

(二) 煙草稅則取扱心得

(三) 煙草耕作人届出方

(四) 煙草稅取扱方要項中删除

●同指令

●烟草牛馬賣買等ノ營業者同期内再營業スルモノ課稅方ノ件問
合同答

合同答

●烟草製造人證約狀ノ同指令

第百二十一 證券印稅規則中追加

(一) 證券印稅臨時檢査執行方

(二) 證券印稅規則第二條第一類證書中當座預リ金引出小切手ノ押
印請求方

●同指令

●公吏ニ關シ證券印紙稅規則第九條適用ノ件ニ付同指令

●市町村吏員及特例ニ依ル三府ノ區役所ノ事務ニ關シ證券印紙
規則第九條適用方ノ同指令

規則第九條適用方ノ同指令

全 百 全

全 百 四

全

全

百 五

全

百 六

全

全

全

全

全

全

目次

七

第百二十一 船稅

- 〔一〕 船稅徵收手續ヲ定メ十七年第三十八號省達ヲ廢ス
- 〔二〕 船稅徵收手續施行期限

● 同指令

- 船車撈帶竝ニ船ノ流失ニ係ル件問合回答
- 船籍刪除ノ件同指令

第百二十二 車稅

● 同指令

- 船車撈帶失踪者課稅ノ件ニ付問合回答
- 車輛檢印ノ件ニ付同指令

第百二十三 所得稅

- 〔一〕 市制町村制施行地ノ所得稅ニ關スル件

● 同指令

- 所得稅調査委員選舉人設置方ノ件ニ付同指令
- 所得稅調査委員選舉ノ件同指令

八

百七

百八

百九

百九

百十

百十

百十

百十一

第百二十四 府縣稅徵收法

● 所得稅納付方竝ニ公民權ノ件同指令

- 〔一〕 府縣稅滯納處分法 全 百十二
 - 〔二〕 沖繩縣小笠原島地方費ノ件 全 百十五
 - 〔三〕 府縣制郡制施行ニ際シ地方稅收支豫算地方稅財產處分方 全 全
 - 〔四〕 府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移ス件 全 全
 - 〔五〕 地方稅補助トシテ國庫支出ノ警察連帶支辨金概算渡方 全 全
 - 〔六〕 北海道開墾地地租地方稅免除 全 全
 - 〔七〕 地方稅監獄費中改正 全 全
 - 〔八〕 北海道地方稅ノ徵收ニ係ル納入告知書發行及取扱方 全 百十六
 - 〔九〕 監獄慈善ノ用ニ充ツヘキ貨物地方稅ニ編入監獄費ニ充ツ 全 全
- 第百二十五 地方經濟ニ於テ非常災害ノ爲メニ要スル土木費借入方
- 〔一〕 府縣制施行ノ地ニ限リ地方經濟ニ於テ土木費借入方ノ法律ヲ廢ス 全 百十七

目次

九

○第四章 備荒儲蓄法 預金 供托保管

【第二百二十六】 備荒儲蓄法改正

- (一) 府縣郡那制施行ニ際シ備荒儲蓄金處分方 百十八
- (二) 備荒儲蓄金取扱順序廢止 百十九
- (三) 備荒儲蓄金取扱順序 全

●同指令

- 備荒儲蓄金取扱方ノ件ニ付問合回答 百二十一
- 備荒儲蓄金ニ屬スル米穀代價計算方ノ件ニ付問合回答 全
- 備荒儲蓄科目設置ノ件ニ付同指令 全

【第二百二十七】 預金規則

- (一) 預金ニ制限ヲ置キ整理公債證書ニ交換方 全
- (二) 政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有私有金寄托方 百二十三
- (三) 預金取扱規程ヲ定メ預金取扱手續ヲ廢ス 全
- (四) 金庫ヲシテ大藏省預金局保管ニ屬スヘキ金錢及

證券ノ取扱ヲ爲サシム

- (五) 各廳一時取扱ニ係ル金錢預金局ニ寄托ヲ禁ス 百二十九
- (六) 各地金庫金貨預リヲ廢止ス 全
- (七) 金庫ニ於テ拂戻ノ預金元利金報知書差出方 全
- (八) 各地金庫ニテ即時拂戻シタル預金證明取扱 百四十一
- (九) 預金保管金及供托物ニ關シ預金局ヘ書類差出順序 全

【第二百二十八】 供託規則

- (一) 供託規則ニ依リ寄託スル金錢有價證券取扱規程 百四十二
- (二) 供託物取扱順序 百五十一
- (三) 供託物ニ付預金局ヘ書類差出順序 百六十

○第五章 貨幣紙幣 證券並兌換銀行券 印紙類賣捌

【第二百二十九】 貨幣條例

- (一) 通用禁止ノ貨幣紙幣引換ニ關スル件 全
- (二) 貨幣鑄造ニ要スル地金買入方 全
- (三) 舊貨幣出納延期ヲ止ム 百六十二

第三百一十 兌換銀行券條例中改正

百六十二

第三百一十一 質造金銀貨紙幣等取扱

全

(一) 變造紙幣處分後送納方

百六十三

第三百一十二 印紙類賣下賣捌規則

全

(一) 印紙類賣下賣捌規則施行細則

百六十六

(二) 印紙類賣捌人印紙類買入帳ヲ製シ記入方

百六十七

(三) 印紙類賣下賣捌規則取扱手續中前記割書ヲ削除ス

全

(四) 印紙類賣下賣捌規則取扱手續第七項刪除

全

(五) 從來銀行ニ命シ諸印紙類ノ出納ヲ取扱ハシメタル分ハ廢止トス

全

(六) 印紙類出納規程

全

(七) 印紙類出納證明程式規定

百六十九

● 伺指令

● 總代人へ印紙類賣下ノ件上申指令

百七十

● 印紙類出納ニ關スル件問合回答

百七十一

● 總代人印紙類賣下ノ件伺指令

百七十二

○第六章 公債 藩債及貸付

第三百三十三 海軍公債證書條例中削除

百七十三

(一) 海軍公債利子拂渡其他取扱方中削除

全

第三百三十四 整理公債證書條例

全

(一) 整理公債取扱順序第十五條中削除及證書發行ノトキ利札額ニ

滿サル利子交付方

全

(二) 整理公債取扱順序第十五條中加除

全

第三百三十五 貸付

百七十四

(一) 諸貸付金收納整理ノ爲メ臨時部雜收入ノ款目設置

全

(二) 諸貸付金取扱順序

全

(三) 諸貸付金整理順序ヲ廢ス

百七十六

○第七章 銀行 爲換手形

第三百三十六 日本銀行條例中改正

百七十七

第三百三十七 銀行條例

百七十八

(一) 銀行條例施行期限

百八十

第三百三十八 貯蓄銀行條例

(一) 貯金銀行條例施行期限

百八十

○第十二類

百八十二

○第一章 徵發 徵兵警備隊 陸軍將校

第三百三十九 徵發令

百八十三

(一) 徵發事務條例中改正

全

(二) 徵發物件表調製送付方

百九十三

(三) 徵發事務條例第三號ノ一表中船舶記載方

百九十四

第四百四十 徵兵令中改正

全

(一) 徵兵事務條例中徵募區及市長市書記市徵兵參事會ニ關スル件

百九十六

(二) 陸軍現役ニ服スル者徵集及服役ニ關スル件

百九十七

(三) 試補及判任官見習非職休職官吏一年志願兵服役ノ件

全

〔四〕 徵兵參事員手當並旅費金支給方

百九十八

〔五〕 徵兵事務條例第四條ニ依リ步兵聯隊ノ兵員ヲ徵集ス可キ聯合大隊區

全

〔六〕 徵兵令第二十七條ニ依リ徵集スヘキ者入營方

二百

〔七〕 徵兵檢査規則中改正

全

〔八〕 從前山口縣赤間關市ヨリ徵集現役兵服役及滿期歸休ノ際兵籍變換方

全

〔九〕 陸軍一年志願兵條例施行細則中ヲ刪除ス

全

〔十〕 徵兵令第三十六條等ニ當リ徵集延期若クハ徵集猶豫中他ノ徵募區ニ轉籍スル者轉籍地島司郡長ニ通知方

二百一

〔十一〕 附籍者徵兵適齡届出方

全

〔十二〕 徵兵相當者ニシテ失踪逃亡ノ爲メ徵集ニ應セサル者取調届出方

全

〔十三〕 徵兵及陸軍豫備兵後備兵ニシテ失踪逃亡ノ者所在發見シタルトキ通報方

全

〔十四〕 徵兵失踪逃亡ノ者歸投若クハ所在發見ノトキ徵集ノ手續及

- 〔十五〕 踪跡不明ノ者調査ニ不及件
海軍准士官海軍志願兵海軍徵兵豫備役後備役滿期トナリタル者免官免役兵籍轉入等 二百二
- 〔十六〕 六週間陸軍現役ニ服スル者取扱方 全
- 〔十七〕 海軍新兵入營ノトキ乗車證券付與 全
- 〔十八〕 現役兵トシテ徵集シ又ハ豫備徵員ヨリ現役兵ニ繰上タル者
アルトキ戸籍寫ヲ司令官ニ送付セシム 二百三
- 〔十九〕 徵兵事務條例施行細則附錄第一様式壯丁名簿中記入ニ及ハス 全
- 伺指令 全
- 府縣屬徵兵署出頭ノ件伺指令 全
- 郡市徵兵參事員選舉ノ件伺指令 二百四
- 郡市徵兵參事員選舉ノ件伺指令 全
- 徵兵令第二十條ノ官吏召集ノ件問合回答 全
- 徵兵検査地方醫採用ノ件伺指令 全
- 徵兵參事員選舉人名簿ノ件上申指令 二百五

- 他ノ徵募區ニ於テ應徵許否ノ伺指令 全
- 徵兵令中一年志願兵志願同二十八條抽籤ノ法ニ依ラス徵集スル者及事務條例第十五條ノ件伺指令 二百六
- 籤丁名簿取扱ノ件ニ付問合回答 全
- 復權者徵集ノ件ニ付問合回答 二百七
- 徵兵費ノ件ニ付伺指令 全
- 寄留地應徵者ノ件ニ付伺指令 二百八
- 寄留地應徵者取扱ノ件ニ付問合回答 二百九
- 入營延期中ノ者及入營前失踪逃亡ノ者身體検査ノ上抽籤ノ法ニ依リ徵集ノ件ニ付問合回答 全
- 徵兵令第二十六條寄留地應徵願濟本籍地等ニ徵集ノ伺指令 全
- 條例第五十四條第五十八條轉籍ニ他家養子入夫相續人又ハ分家スル者含有ノ件ニ付問合回答 二百十
- 徵兵現役當籤者入營前海軍志願兵ヲ志願シ志願兵採用證書ヲ下附スル者徵兵ニ徵集ノ伺指令 全
- 附籍者徵兵適齡屆ノ件ニ付照會回答 全

- 徴兵令第二十九條ノ件ニ付伺指令 二百十一
 - 事務條例第七十一條但書ノ件ニ付問合回答 全
 - 附籍者徴集方ノ件ニ付照會回答 二百十二
 - 徴兵令第十八條第十一條取扱方ノ件ニ付問合回答 全
 - 徴兵令第十一條第三項ノ件ニ付問合回答 全
 - 六月一日以後令第十一條第三項ノ資格ヲ有シタル者及入營旅費ノ件ニ付質職回答 全
 - 公立小學校長徴兵取扱ノ件ニ付問合回答 二百十三
 - 徴兵検査規則ノ件ニ付伺指令 全
 - 舊工夫徴兵ノ件ニ付伺指令 二百十四
 - 徴集延期年通算方ノ件ニ付照會回答 全
 - 一年志願兵施行細則第二十條ニ依リ翌年廻シトナリタル者ニテ検査ノ上兵役ニ堪サル者免除ノ問合回答 全
 - 文部大臣ノ認可ヲ經タル學校ニテ認可以前卒業ノ者一年志願兵志願ノ儀ニ付伺指令 二百十五
- 同指令
- 第百四十一 徴兵旅費定則 全

● 新兵入營旅費ノ件ニ付伺指令

● 徴兵ニ係ル旅費支給方ニ付伺指令

第百四十二 警備隊條例

〔一〕 警備隊兵卒入營前取扱方中改正

第百四十三 陸海軍將校分限令中追加

○第二章 陸軍

第百四十四 監軍部條例第五條第七條第十一條第十

二條第十四條中改正

〔一〕 監軍部條例第六條中改正

〔二〕 監軍部條例第六條第七條第十一條ノ各條中ヲ

改正シ第十二條ヲ增加ス

〔三〕 監軍部條例第二條改正

第百四十五 參謀本部條例第六條第七條中追加

〔一〕 參謀本部條例第六條中削除

全

二百十六

全

全

全

二百十七

二百十八

全

二百十九

二百二十

全

| | |
|------------------------------------|-------|
| 〔二〕 參謀本部條例第二條中改正 | 二百二十一 |
| 〔第四百十六〕 師團司令部條例中改正 | 二百二十二 |
| 〔一〕 要塞砲兵配備表 | 二百二十三 |
| 〔二〕 師團司令部條例職官表旅團司令部條例及衛戍條例監獄職官表中改正 | 二百二十四 |
| 〔三〕 近衛司令部條例ヲ制定シ近衛條例ヲ廢ス | 二百二十五 |
| 〔四〕 大隊區司令部條例中改正 | 二百二十七 |
| 〔五〕 警備隊區司令部條例 | 全 |
| 〔六〕 衛戍條例中病院武庫監獄各職官表改正 | 二百二十八 |
| 〔七〕 陸軍管區表中改正 | 二百三十一 |
| 〔八〕 近衛師團監督部條例 | 二百三十二 |
| 〔九〕 陸軍司計部條例 | 二百三十四 |
| 〔第四百十七〕 陸軍歸休兵條例 | 二百三十六 |
| 〔第四百十八〕 陸軍召集條例 | 二百三十九 |

| | |
|--|-------|
| 〔一〕 陸軍豫備兵ノ定時演習召集方 | 全 |
| 〔二〕 陸軍豫備後備兵ノ簡閱點呼執行方 | 全 |
| 〔三〕 陸軍召集條例第五百五條ノ事故ニ由リ召集ニ應シ難キ者差出方 | 全 |
| 〔四〕 對馬警備隊區在籍ノ者ニ限リ下士兵卒召集演習 | 全 |
| 〔五〕 陸軍豫備後備下士兵卒ニシテ北海道徵兵令未行地ニ轉籍スル者勤務演習及簡閱點呼ニ召集セス | 全 |
| 〔六〕 陸軍豫備後備將校同相當官及下士兵卒並歸休兵他ニ寄留中召集ニ關スル取扱方ヲ定メ二十年訓令甲第一號ヲ廢ス | 二百四十 |
| 〔七〕 陸軍豫備兵定時演習召集旅費金支給方 | 全 |
| 〔八〕 陸軍召集旅費渡方 | 二百四十一 |
| 〔九〕 陸軍召集條例中臨時召集旅費ニ關スル件 | 全 |
| 〔十〕 陸軍召集旅費金庫支出順序 | 二百四十二 |
| 〔十一〕 陸軍召集條例第六十五條第六十六條ノ召集旅費概算表取扱方 | 二百四十四 |
| 〔十二〕 陸軍豫備後備將校補充條例ニ依リ勤務演習ヲ行フトキ召 | |

集方

● 伺指令

● 勤務演習及簡閱點呼ノ件ニ付問合回答

● 區長演習召集ノ件ニ付伺指令

● 沿革要領

第四百四十九 屯田兵條例改正

(一) 屯田兵司令部條例

(二) 屯田兵監督部條例

(三) 屯田兵召募規則

第五百一十 屯田兵土地給與規則

第五百一十一 陸軍各兵科現役士官補充條例改正

(一) 陸軍衛生部現役士官補充條例中改正

(二) 陸軍獸醫部現役士官補充條例

(三) 陸軍豫備後備將校補充條例

(四) 陸軍各兵科現役下士補充條例中改正

二百四十六

二百四十七

全

二百四十八

二百五十

二百五十三

二百五十四

二百六十二

二百六十四

二百七十一

二百七十五

二百七十九

二百八十三

全

二百八十六

二百八十七

二百八十九

二百九十一

二百九十三

二百九十五

二百九十八

三百三

全

全

三百五

全

全

(五) 陸軍各兵科豫備後備下士補充條例

(六) 陸軍現役縫工長靴工長補充條例

(七) 陸軍衛生部豫備後備下士補充條例

(八) 陸軍蹄鐵工下長補充條例

(九) 陸軍軍樂部下士兵卒補充條例

(十) 陸軍砲兵監護同諸工下士補充條例

(十一) 陸軍砲臺監守補充條例

(十二) 陸軍豫備後備將校服役條例

(十三) 陸軍豫備後備下士兵卒服役條例

(十四) 陸軍現役下士上等兵再服役條例中改正

(十五) 陸軍諸生徒常備兵籍ニ編入

(十六) 陸軍下士兵卒休暇ニ關シ地方ニ係ル取扱及出願ノ手續

(十七) 陸軍隊附下士卒埋葬規則中加除改正

(十八) 陸軍豫備後備ノ將校同相當官及下士兵卒兵籍轉入届出方

(十九) 陸軍豫備兵後備兵在郷中ノ守則ヲ廢止ス

- 〔二十〕 後備軍驛員條例廢止 三百六
- 〔二十一〕 志願軍吏獸醫生ヲ陸軍軍吏部並獸醫部豫備士官ニ補任方全 全
- 〔第二百五十二〕 陸軍大學校 全
- 〔一〕 陸軍士官學校官制ヲ廢シ陸軍士官學校條例ヲ制定ス 全
- 〔二〕 陸軍幼年學校官制ヲ廢シ陸軍幼年學校條例ヲ定ム 三百十
- 〔三〕 陸軍幼年學校生徒召募條例 三百十五
- 〔四〕 陸軍戸山學校條例中改正 三百十六
- 〔五〕 陸軍醫學校條例中改正 三百十七
- 〔第二百五十三〕 陸軍教導團條例 三百十八
- 〔一〕 陸軍教導團生徒召募規則改正 三百二十一
- 〔第二百五十四〕 陸地測量標條例 三百二十八
- 〔一〕 陸地測量標條例施行細則 三百三十

○第三章 海軍

- 〔第二百五十五〕 海軍參謀部條例中改正追加 三百三十四
- 〔第二百五十六〕 軍港要港境域内人民船舶等規則遵守及規則制定方 三百三十五
- 〔一〕 軍港要港規則違反者處分方 三百三十六
- 〔二〕 佐世保軍港境域 全
- 〔三〕 佐世保軍港規則 三百二十八
- 〔四〕 吳軍港境域 三百四十
- 〔五〕 吳軍港規則 三百四十二
- 〔第二百五十七〕 鎮守府官制ヲ廢シ鎮守府條例ヲ定ム 三百四十六
- 〔一〕 第五海軍區鎮守府位置設定 三百五十四
- 〔二〕 軍艦條例 三百五十五
- 〔三〕 艦隊條例 三百五十九
- 〔四〕 海軍官用地管理方 三百六十二
- 〔第二百五十八〕 海兵團條例 全

第百五十九

海軍將校同相當官豫備後備服役年期ノ

件

二百六十五

〔一〕海軍下士服役規則ヲ廢止シ海軍下士服役條例制定

全

〔二〕海軍下士卒再服役條例

二百六十七

〔三〕海軍下士服役條例公布ニ依リ従前ノ退職下士ハ免官ト心得シ

二百六十八

〔四〕傷疾疾病ニ依リ免役ノ海軍下士卒單身歸郷者及途中死亡者取扱方

全

〔五〕海軍豫備兵後備兵籍編入

三百六十九

〔六〕海軍豫備後備兵身上異動願届及取扱方

全

〔七〕現役下士ノ免役ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケシ

全

〔八〕海軍軍樂手造兵火藥工廠技工免役願書差出方

全

〔九〕父母ノ重病看護ノ爲メ海軍現役下士卒ノ歸郷ヲ要スルトキ願出方

全

〔十〕海軍傭人中從僕刺夫及軍艦乗組割烹死亡スルトキ又ハ虎列刺病ニ罹ルトキ取扱方

全

〔十一〕豫備役ニ在ル海軍筆記海軍主厨心得方

三百七十

第百六十 海軍志願兵徵募規則

全

〔一〕海軍志願兵徵募細則

三百七十三

〔二〕海軍工夫徵募細則

三百七十六

〔三〕海軍水雷夫徵募細則

三百七十七

〔四〕海軍志願兵家族扶助金支給規則

三百七十九

〔五〕海軍志願兵徵募細則志願人員表調製方等

三百八十一

〔六〕海軍生徒下士卒傭夫死亡者取扱規則

三百八十四

〔七〕艦船營傭夫規則ヲ廢ス

三百八十九

● 伺指令

● 海軍志願兵寄留者應募ノ件ニ付伺指令

三百九十

● 海軍志願兵検査所費用支出ノ件ニ付伺指令

全

● 海軍志願兵徵募規則中年齡起算方ノ件ニ付照會回答

全

第百六十一 海軍大學校官制ヲ廢シ海軍大學校條例

制定

- 〔一〕海軍兵學校官制ヲ廢シ海軍兵學校條例制定 三百九十
- 〔二〕海軍軍醫學校官制ヲ廢シ海軍軍醫學校條例制定 三百九十三
- 〔三〕海軍主計學校官制ヲ廢シ海軍主計學校條例制定 三百九十八
- 〔四〕海軍機關學校官制ヲ廢シ海軍機關學校條例制定 四百
- 〔百六十二〕水路測量標條例制定 四百二
- 〔一〕水路測量標條例中第一條ノ基點標測標及第二條ノ測量官證票 四百四
- 〔二〕海軍造兵廠官制ヲ廢シ海軍造兵廠條例ヲ制定ス 四百五
- 〔百六十三〕海軍旗章條例 四百九
- 第四章 海軍刑法 治罪法 罰例 監獄 四百十一
- 〔百六十四〕陸軍刑法中改正追加 四百二十三
- 〔百六十五〕海軍刑法中改正追加 四百二十四
- 〔一〕海軍軍人軍屬違警罪處分例 四百二十五
- 〔二〕海軍徵罰令 四百二十七

〔百六十六〕陸軍治罪法

〔一〕屯田兵司令部ニ軍法會議ヲ設ク

四百三十四

〔百六十七〕海軍治罪法中改正

四百三十四

〔一〕海軍各軍法會議主理錄事服務并定員

四百三十五

〔百六十八〕陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法

四百三十六

〔百六十九〕海軍監獄則改正

四百三十七

〔一〕海軍監獄則施行細則

四百三十八

○第十三類

四百四十四

○第一章 教育 學校

〔百七十〕教育ニ關スル勅語及訓示

四百五十三

〔一〕帝國大學令第十條中改正追加

四百五十五

〔二〕帝國大學令第十一條中改正シ第十四條ヲ删除ス 全

〔三〕東京農林學校ヲ帝國大學ノ分科大學トナシ農林

學校官制ヲ廢ス

四百五十六

第百七十二 師範學校

- (一) 女子高等師範學校設置 全 四百五十七
- (二) 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則中加除 全
- (三) 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則發令前文部省ニ於テ授與シタル免狀及卒業證書ノ効力 全
- (四) 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則ニ依リ檢定ヲ受ケントスル者出願方 四百五十八
- (五) 尋常師範學校ノ學科及其程度中ヲ刪除シ女生徒ニ課スヘキ學科及其程度ヲ定ム 全
- (六) 尋常師範學校生徒募集規則 全 四百六十
- (七) 尋常師範學校生徒員數表中加除訂正 全 四百六十六
- (八) 尋常師範學校生徒員數表中香川縣ヲ插入シ其員數ヲ定メ愛媛縣生徒ノ員數ヲ改ム 全
- (九) 尋常師範學校卒業生徒服務規則 全
- (十) 尋常師範學校生徒中不都合ノ行爲ヲ以テ退學ヲ命スルモノノ學資償還 四百六十七

(十一) 府縣立師範學校長俸給及公立學校職員退隱料 遺族扶助料法

第百七十三 中學校

- (一) 尋常中學校ノ學科及程度第七條中刪除文部省令第十五號廢止 全
- (二) 尋常中學校ノ學科及其程度中改正追加 全
- (三) 尋常中學校醫學部ノ學科及其程度ヲ定ム 四百六十九
- (四) 尋常中學校醫學部ノ學科程度ニ追加ス 四百七十三
- (五) 尋常中學校法學部ノ學科及其程度ヲ定ム 四百七十五
- (六) 尋常中學校生徒定員ヲ定ム 四百七十七
- (七) 尋常中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ生徒定員ヲ改ム 四百七十八
- (八) 尋常中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ生徒定員ヲ改ム 全
- (九) 尋常中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ生徒定員ヲ増ス 全
- (十) 尋常中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ生徒定員ヲ増ス 全
- (十一) 尋常中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ生徒定員ヲ増ス 四百七十九
- (十二) 尋常中學校ノ法科ヲ教授スル所ヲ法學部トシ法學部設置高等中學校生徒定員中改正 全

- 〔十三〕尋常中學校ノ體操中兵式體操ノ訓令ヲ廢ス 全
- 〔十四〕尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則中加除 全
- 〔十五〕尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則發令前
文部省ニ於テ授與シタル免狀及卒業證書ノ効力 全
- 〔十六〕尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則ニ依リ
檢定ヲ受ケントスル者出願方 全
- 〔十七〕中學校ノ學科程度ト同等以上ト認ムヘキ市町村立私立學校
稟申方 全

〔第七十四〕小學校令

- 〔一〕小學校令施行ニ關スル件 四百八十
- 〔二〕從來ノ市町村立小學校一時存續 五百一
- 〔三〕私立小學校代用規則 五百三
- 〔四〕小學校設備準則 五百六
- 〔五〕小學校教員免許規則 五百八
- 〔六〕小學校教員免許規則發令前授與シタル免許狀ノ効力 五百十二
- 〔七〕小學校教員免許規則發令前官立府縣立師範學校ニ於テ授與シ

タル卒業證書有効ノ件

- 〔八〕小學校教員免許狀及小學校師範學校卒業證書有効滿期ノ者更ニ
免許狀及證書授與方 全
- 〔九〕小學校教員假免許狀授與方 全
- 〔十〕東京師範學校高等師範學校ニ於テ授與シタル卒業證書ハ小學
校教員免許狀ト同一ノ効ヲ有ス 五百十三
- 〔十一〕市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法 全

〔第七十五〕地方學事通則

- 〔一〕市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助法 全
- 〔二〕府縣立師範學校長俸給公立學校職員退隱料及遺族扶助料法 五百十六
- 〔三〕教員免許狀ヲ有スル者其學校ノ等位以下ノ學校ノ教員タルヲ
得ル件 全
- 〔四〕小學校及其他普通學校ノ教員ニシテ集會條例ニ依リ罰金ノ處
分ヲ受ケ又ハ政黨ニ關係スル者處分方 五百十七
- 〔五〕文部省令第十二號中普通學校教員トアル者心得方 全
- 〔六〕道廳府縣立諸學校外國人傭入傭續報告方 全

第七十六 特別認可學校規則中改正

(一) 特別認可學校規則ニ依リ學則ヲ認可シタル私立學校合併 五百十七

第七十七 東京學士會院規定

全 五百十八

第十四類

第一章 勸業

第七十八 博覽會

五百二十一

(一) 帝國博物館出品規則帝國博物館特別覽觀規則 全

(二) 博覽會共進會其他類似ノ會開設ノトキ報告方 五百二十六

第七十九 勸業事項

五百二十七

(一) 農商務省通信事項樣式改廢 全

(二) 米麥作物報告心得 五百二十八

第二章 農業 漁業 獸醫

第八十 茶業組合規則第九條及第十一條中追加

全

(一) 茶業組合規則第七條中改正 全

(二) 茶業組合規則第二十七條中ニ追加 五百二十九

(三) 茶業組合規則ヲ施行シ難キ狀況アリト認メ施行停止ノ場合ニ於テハ告示ヲ以テ其府縣ヲ指定ス

第八十一 官有森林原野及產物特別處分規則

全 全

(一) 官有森林原野及產物特別處分規則ニ據リ隨意契約ヲ以テ原野ヲ賣渡條項 五百三十一

(二) 社寺上地官林委託規則 五百三十三

(三) 官有山林原野ニ係ル件道廳府縣ニ於テ處分報告方 五百三十五

(四) 地租改正ノ際官有森林原野ニ編入セラレタルモノ引戻手續 全

(五) 官有山林原野ノ事項報告書式 五百三十六

(六) 山林坑業ニ關スル諸件處分後報告方訓令中ノ件 全

(七) 林產物公賣規程 全

第八十二 鳥獸獵

五百四十三

(一) 鳥獸獵免狀ニ農務局割印ス 全

(二) 鳥獸獵免狀ヲ受ケ其獵期中族籍姓名ヲ變換シ住居ヲ轉シタル者届出方 五百四十四

第八十三 獸醫免許規則

全

- (一) 獸醫免許試験規則 五百四十七
- (二) 獸醫假免許手續ヲ定メ假開業獸醫免許手續ヲ廢止ス 五百四十八
- (三) 獸醫開業受験人心得ヲ廢ス 全
- (四) 獸醫及蹄鐵工免許規則第二條ニ依リ學則認可請求方 全
- (五) 醫獸開業免狀及試験願書等ハ副本差出ニ不及 五百五十
- (六) 開業獸醫轉居届出方 全

● 同指令

● 獸醫ノ剪蹄ニ關スル件ニ付同指令

第百八十四 獸類傳染病豫防規則中改正

全 全

○ 第三章 商工

第百八十五 商業會議所條例

五百五十一

- (一) 商業會議所條例施行規則 五百五十六
- (二) 東京市ニ於テ商業會議所條例中所得稅ノ等級 五百五十七
- (三) 商業會議所條例施行規則ニ依リ會員選舉施行ノ手續 全

第百八十六 特許條例

全

- (一) 特許條例施行細則第四十九條中追加 全

- (二) 特許條例施行細則第三十八條中追加 全

- (三) 特許條例細則第十條以下諸條及書式中ヲ改正ス 五百五十八

- (四) 特許意匠及商標登記方 五百五十九

- (五) 特許發明ノ明細書特許公報商標公報ノ拂下代價並書類謄本圖面調製ノ手数料及請求手續第三條中改正 全

- (六) 特許發明ノ明細書特許公報商標公報ノ拂下代價並書類謄本圖面調製ノ手数料及請求手續第四條第五條第七條ヲ改正ス 全

第百八十七 意匠條例

全

- (一) 意匠條例施行細則中加除改正 五百六十

- (二) 特許意匠及商標登記方 五百六十一

第百八十八 商標條例

全

- (一) 商標條例施行細則第十五條ニ一項ヲ追加ス 全

- (二) 商標條例施行細則第六條第十一條第十二條及書式中加除改正 全

- (三) 特許意匠商標登記方 五百六十二

- (四) 特許發明ノ明細書特許公報商標公報ノ拂下代價並書類謄本圖面調製ノ手数料及請求手續第三條中及第四條第五條第七條改

正

第百八十九 度量衡法

第百九十一 日本坑法中改正

- (一) 鑛業條例 全 五百六十二
- (二) 坑業ニ關スル手数料徴收方 五百七十二
- (三) 鑛山借區更正ノ爲メ坪數ニ増減ヲ生シタルトキ税金徴收方 五百九十三
- (四) 坑業ニ關スル諸達廢止ノ件 全
- (五) 鑛業ニ關スル出願手續 五百九十四
- (六) 借區試掘證券引揚ノ處分ヲ受ケタル者ハ借區及試掘ヲ許サス 全
- (七) 試掘地坪數制限 五百九十九
- (八) 日本坑法ニヨリ試掘借區ノ取消及土地使用上ニ關スル裁定請求者出願手續 全
- (九) 鑛山試掘又ハ借區願書ニ圖面添付方 五百九十九
- (十) 試掘人試掘權喪失シタル指令書返納 六 百
- (十一) 試掘願書ニ添付ノ圖面記載方 全
- (十二) 北海道廳管内試掘借區其他鑛業ニ關スル願書差出方 全

- (十三) 坑業ニ係ル件道廳府縣ニ於テ處分後報告方 全
- (十四) 試掘借區等ニ關スル出願届出アリタルトキ取扱方 六 百 一
- (十五) 現在試掘地借區地原圖寫差出方 全

● 伺指令

- 鑛山借區稅取扱ノ件ニ付問合回答 全
- 鑛山借區稅徵收手續ノ件伺指令 全
- 隣借區人連署ノ件ニ付伺指令 六 百 二
- 鑛山試掘願ノ件ニ付伺指令 全

第百九十一 蹄鐵工免許規則

- (一) 蹄鐵工免許試驗規則 六 百 三
- (二) 蹄鐵工免許規則第二條ニ依リ學則認可請求方 六 百 五
- (三) 蹄鐵工假免狀下付出願手續 六 百 六
- (四) 蹄鐵工免狀同假免狀下付願書及免許試驗願書副本ニ及ハス 全 六 百 六

○ 第十五類 第一章 郵便 電信 電話

第百九十二 郵便條例中改正 六 百 七

目次

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 〔一〕小包郵便外國輸出品關稅免除 | 六百七 |
| 〔二〕外國通航ノ郵船下ノ關福江ニ廻船 | 六百八 |
| 〔三〕地方遞信官官制ヲ廢シ郵便及電信局官制制定ニ付郵便電信條例中心得方 | 全 |
| 〔四〕蠶種郵便物取扱方 | 全 |
| 〔五〕郵便切手賣下人心得改定 | 六百九 |
| 〔六〕第三種郵便物遞信省認可ノ文字表出方 | 全 |
| 〔七〕第三種郵便物遞信省認可願出方 | 六百十五 |
| 〔八〕郵便爲替料納付方 | 全 |
| 〔九〕郵便爲替細則中改正 | 全 |
| 〔第九十三〕郵便貯金條例 | 全 |
| 〔一〕郵便貯金利息割合 | 六百十六 |
| 〔二〕郵便貯金條例施行細則 | 六百二十 |
| 〔第九十四〕電信條例 | 全 |
| 〔一〕壹岐對馬ニ發著スル電報料金納額 | 六百二十七 |

| | |
|--|-------|
| 〔二〕壹岐對馬及朝鮮國ニ發著スル電報料金並海外電報ノ國內傳送料布達中改正刪除 | 六百二十八 |
| 〔三〕電信取扱規則第十八條以下諸條中ヲ改正加除ス | 全 |
| 〔四〕電信取扱規則第二十七條中ヲ刪除シ歐文雷報課金表ヲ示ス | 六百二十九 |
| 〔五〕電報局渡規則 | 六百三十 |
| 〔六〕電報配達人ニ電報差出方依託規程 | 六百三十一 |
| 〔七〕電信切手ノ使用ヲ禁止シ所持ノモノ郵便切手ト引換方 | 六百三十二 |
| 〔八〕萬國電信條約書ニ依リ二等三等電信局ニ依頼シテ發送スル電信料ニ郵便切手貼用方 | 全 |
| 〔九〕歐文電報畧號常用料金額及其納付手續 | 全 |
| 〔十〕朝鮮國京城ヨリ歐羅巴及其以西各國へ發著スル電報料金課額ヲ示ス | 六百三十三 |
| 〔十一〕電信爲替ノ爲替料改正 | 全 |
| 〔十二〕地方遞信官官制ヲ廢シ郵便電信局官制制定ニ付郵便電信條例中心得方 | 六百三十四 |
| 〔十三〕二十年遞信省訓令第三號其他遞信管理局長ヲ遞信省工務局 | 六百三十四 |

長ニ改ム

- 〔十四〕二十年逓信省告示第二百二十一號中改正 全 六百二十四
- 〔十五〕電信柱敷地手當任拂取扱順序 全
- 〔十六〕電信柱敷地手當金誤拂過渡金收納取扱手續 全 六百二十五
- 〔十七〕私設電信電話線其他電機ニ係ル工事ノ執行委託手續 全 六百三十六
- 〔十八〕電信柱敷地手當金ニ係ル規則中逓信大臣ノ職務取扱方 全
- 〔十九〕電信柱敷地手當金請求申出期限及書式 全

● 同指令

- 電信柱敷地手當金ノ件ニ付問合回答 全 六百三十七
- 電信柱敷地手當金支給方ノ件ニ付照會回答 全
- 電信柱敷地手當金支給方ノ件ニ付上申指令 全 六百三十八
- 電信柱敷地手當金支出報告書進達期限ノ件ニ付問合回答 全 六百三十九

〔第九十七〕 電話交換規則

- 〔一〕電話交換規則ニ掲クル東京市内使用料電話料ヲ定ム 全 六百四十四
- 〔二〕電話交換規則第十一條ニ掲クル使用料横濱市内電話料ヲ定ム 全

- 〔三〕電話交換規則ニ掲クル東京横濱間電話料ヲ定ム 全
- 〔四〕電話通信時間ヲ定ム 全

〔第九十六〕 電信線電話線建築條例

- 〔一〕電信線電話線建設條例ノ證票 全 六百四十五
- 〔二〕電信線電話線建設條例ノ證票 全 六百四十七

〔第九十七〕 水底電信

- 〔一〕筑前國遠賀郡戸畑村ト同郡石峯村トノ間水底電信線ヲ沈布ス 全
- 〔二〕伊勢國桑名郡木曾岬村ト同郡長島村トノ間水底電信線沈布 全 六百四十八
- 〔三〕北海道渡島國函館區ト青森縣下北郡佐井村トノ間ニ海底電信線ヲ沈布ス 全

- 〔四〕北海道根室國厚別村走古潭村間遠太灣ニ海底電信線ヲ沈布ス 全

○ 第二章 燈標 船舶

〔第九十八〕 航路標識

- 〔一〕外國通航ノ郵船下ノ關福江ニ廻船ヲ特許ス 全 六百四十九
- 〔二〕燈標統計表 全

● 同指令

- 北海道廳府縣及區町村立航路標識看守條規ノ件ニ付同指令 全 六百五十

目次

【第九十九】 船籍規則

- (一) 船籍規則施行延期 六百五十一
- (二) 船籍規則施行細則 六百五十五
- (三) 船籍證書ヲ要セサル船舶報告 全
- (四) 船籍規則手数料收納委任其取扱手續 六百七十五
- (五) 船籍規則施行細則施行期限 六百七十八
- (六) 船籍證書ヲ要セサル船舶報告施行期日 六百七十九

【第二百】 西洋形商船

- (一) 西洋形船舶免狀其船内ニ保存セシム 全

【第二百一】 西洋形船長運轉手機關手免狀

- (一) 西洋形船長運轉手機關手水火夫等ノ現員調査差出方 全

【第二百二】 西洋形船海員雇入雇止

全

- (一) 西洋形船海員雇入雇止手数料ヲ市町村ノ收入トス 六百八十一

- (二) 島嶼ニ於ケル西洋形船海員雇入雇止手数料ヲ其

町村ノ收入トス 全

【第二百三】 特別輸出港規則

六百八十二

- (一) 長門國下ノ關外三港ニ於テ特別輸出港規則施行ノ件 六百八十三

- (二) 伊勢國四日市外四港ニ於テ特別輸出港規則施行ノ件 六百八十四

- (三) 釧路國釧路特別輸出港規則施行 六百八十五

- (四) 特別輸出港規則施行細則 全

【第二百四】 朝鮮國貿易ニ關スル船舶出入及貨物積卸

六百八十六

○第十六類

○第一章 民事 登記

【第二百五】 民法財産編財産取得編債權擔保編證據編

頒布

〔一〕民法中財産取得編第十三章以下及人事編頒布

第二百六 登記法中改正追加

- 〔一〕登記法取扱規則 六百八十七
- 〔二〕商業及船舶ノ登記ニ關スル件 六百八十八
- 〔三〕商業及船舶ノ登記公告ニ關スル取扱規則 七百一
- 〔四〕登記印紙規則中追加 七百三
- 〔五〕特許意匠及商標ノ登記 全
- 〔六〕一筆ノ土地ニシテ之ヲ分合シ賣買讓與スルモノノ登記方 七百四
- 〔七〕一筆ノ土地ヲ分合シテ賣買讓與質入ヲ爲サントスルモノ其登記請求前ノ手續 全
- 〔八〕大林區署ニ於テ不動産ノ登記要求方 全
- 〔九〕土地臺帳規則第三條ニ依リ登記ヲ爲シタルトキ通知日限 全

第十七類

第一章 商事

第二百七 商法

- 〔一〕商法施行條例 七百五
- 〔二〕沖繩縣ニ商法施行延期 全
- 〔三〕商法及商法施行條例施行期限 七百十四
- 〔四〕商法第二百六條ニ依リ發行スヘキ債權ニ關スル件 全
- 〔五〕商法ニ從ヒ破産ノ宣告ヲ受ケタル者有罪破産ニ係ルトキ處分方 七百十五
- 〔六〕商事非訟事件印紙法 七百十七
- 〔七〕商法ニ關スル法律施行期限 七百十八
- 〔八〕商業及船舶ノ登記ニ關スル件 七百二十一
- 〔九〕商業及船舶ノ登記公告ニ關スル取扱規則 全
- 〔十〕家資分散法 全

第十八類

○第一章 裁判所位置管轄區域 裁判構成

第二百八 裁判所位置及管轄區域改正

- (一) 地方裁判所支部及其管轄表 七百二十三
- (二) 區裁判所出張所管轄區域改正 七百五十八
- (三) 岩村田小諸三條竹原區裁判所及出張所管轄內增加改正 七百五十九
- (四) 區裁判所出張所區域管轄表中東京地方裁判所ノ部芝區裁判所出張所中改正 全

第二百九 裁判所構成法

- (一) 裁判所構成法施行條例 七百六十
- (二) 商事非訟事件印紙法 全
- (三) 非訟事件手續法 七百六十四
- (四) 辨濟提供規則 全

○第二章 執達吏 代言人 辯護士

第二百十 執達吏規則

- (一) 執達吏手数料規則 七百七十二
- (二) 執達吏 七百七十七

(一) 執達吏登用規則

七百八十三

(三) 執達吏鑑札

七百八十七

第二百十一 代言人及辯護士

- (一) 代言人試驗志願者出願ノ際寫真差出方 全
- (二) 代言人試驗志願者自筆氏名記入寫真檢事手元ニ止メ置キ方 全
- (三) 代言人引續免許出願方 七百八十八
- (四) 訴訟法中辯護士ノ事務ハ當分代言人取扱フ 全

○第三章 刑事訴訟

第二百十二 民事訴訟法

- (一) 民事訴訟法施行條例 全
- (二) 民事訴訟法施行條例 七百八十九
- (三) 民事訴訟費用法 七百九十一
- (四) 民事訴訟用印紙法 七百九十三
- (五) 家資分散法 七百九十七
- (六) 增價競賣法 七百九十八
- (七) 裁判上代位法 八

〔七〕 財産委棄法

八百二

〔八〕 婚姻事件養子縁組事件及禁治産事件ニ關スル訴訟規則

八百三

〔九〕 非訟事件手續法

八百十

〔十〕 辨濟提供規則

全

〔十一〕 民事訴訟法ニ依リ國ヲ代表スルニ付テノ規定

全

〔十二〕 官林ニ關シ民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ權利委任

八百十一

〔十三〕 陸軍大臣所管事務ニ係ル民事訴訟委任

八百十二

〔十四〕 鎮守府所管事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル權利委任

全

〔十五〕 造幣局及各税關ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル權利委任

全

〔十六〕 訴訟法中辯護士ノ事務ハ代言人取扱フ

全

● 同指令

● 民事訴訟法第六百四十二條三項ニ依リ債權者ヨリ地目地價等ノ證明ヲ出願スルトキ取扱方ノ問合回答

全

第二百十三 刑事訴訟法

百十三

〔一〕 重罪控訴豫納金規則

全

〔二〕 輕罪ニ係ル控訴規則中改正削除

八百十四

〔三〕 犯罪又ハ犯則ニ依リ沒收シタル物件取扱手續廢止

八百十五

〔四〕 訴訟法中辯護士ノ事務ハ代言人取扱方

全

● 同指令

● 控訴人刑期滿限後ニ係ル費用ノ件同指令

全

第二百十四 裁判所ノ呼出ヲ受タル者遲參不參スル時罰金廢止

八百十六

○ 第四章 行政裁判

● 沿革要領

全

第二百十五 行政裁判法

全

〔一〕 行政廳ノ違法處分ニ關スル行政裁判

八百二十五

〔二〕 行政裁判所評定官并書記ノ員數及職務

八百二十七

〔三〕 行政裁判所處務規程

全

〔四〕 行政訴訟豫納金手續

八百二十九

○第十九類

○第一章 刑法

第二百十五下 刑法

八百三十一

〔一〕竊盜ノ罪ニ關スル件

全

〔二〕公署公吏并公署ノ印文書及免狀鑑札ニ關スル件

八百三十二

〔三〕刑法附則中改正追加

全

○第二章 罰則

第二百十六 命令ノ條項違犯ニ關スル罰則

八百三十三

〔一〕省令廳令府縣令警察令ニ關スル罰則

八百三十四

〔二〕議會并議員保護罰則

八百三十五

〔三〕衆議院議員選舉法罰則補則

全

〔四〕府縣會議員選舉ニ衆議院議員選舉法罰則補則適用

全

〔五〕市町村會議員選舉罰則

全

〔六〕集會及政社法ヲ定メ違犯者罰則ヲ掲ク

八百三十六

〔七〕決闘罪罰則

全

〔八〕賭博犯處分規則廢止

全

〔九〕國稅滯納處分法罰則

全

〔十〕間接國稅犯則者處分法

全

〔十一〕稅關法罰則

全

〔十二〕稅關規則罰則

全

〔十三〕地租條例中罰則改正

全

〔十四〕銀行條例罰則

全

〔十五〕貯蓄銀行條例

全

〔十六〕陸軍歸休兵條例罰則

全

〔十七〕陸軍豫備後備將校服役條例罰則

全

〔十八〕陸軍豫備後備下士服役條例罰則

八百三十七

〔十九〕陸地測量標條例罰則

全

〔三十〕軍港要港規則違犯者罰則 八百三十七

〔三十一〕水路測量標條例罰則 全

〔三十二〕獸醫免許規則罰則 全

〔三十三〕度量衡法罰則 全

〔三十四〕鑛業條例罰則 全

〔三十五〕蹄鐵工免許規則罰則 全

〔三十六〕船籍規則罰則 全

〔三十七〕特別輸出港規則罰則 全

〔三十八〕商法ニ依リ發行スル債券ニ係ル罰則 全

〔三十九〕商法ニ從ヒ破産ノ宣告ヲ受ケタル者有罪破産ニ係ルトキ處分方 全

○第二十類

○第一章 宮城 八百三十九

〔二百十七〕宮城 八百三十九

〔一〕青山御所并花御殿赤坂濱芝三離宮延遊館參入ノ輩下乗制限改

定 全

○第二章 內務報告例

〔二百十八〕內務報告例更定 八百四十

○第三章 外事

〔二百十九〕外國人雇入 九百二十五

〔一〕各廳ニ於テ外國人ヲ雇入備繼續給料増加等ノ達ヲ廢ス

〔二〕道廳及府縣立諸學校備外國人雇入備繼續報告方 九百二十六

○附錄

官制 職制

〔第一〕內閣所屬職員官制中改正 一

〔二〕法制局官制中改正 全

〔第二〕東宮職官制中改正 二

〔一〕東宮武官官制 全

| | | |
|----|------------------|---|
| 第三 | 各省官制通則 | 四 |
| 第四 | 外務省官制 | 七 |
| | (一) 外交官及領事官官制中改正 | 八 |
| | (二) 日本帝國領事規則中改正 | 九 |
| 第五 | 內務省官制 | 十 |
| | (一) 集治監假留監官制中改正 | 十 |
| | (二) 衛生試驗所官制中改正 | 十 |
| | (三) 中央氣象臺官制中改正 | 十 |
| | (四) 土木監督署官制中改正 | 十 |
| 第六 | 鐵道廳官制中改正 | 全 |
| 第七 | 大藏省官制 | 十 |
| | (一) 造幣局官制中改正 | 十 |
| | (二) 印刷局官制中改正 | 十 |
| | (三) 稅關官制中改正 | 十 |

第八 陸軍省官制中改正

- (一) 陸軍砲兵會議條例 二十八
- (二) 陸軍工兵會議條例 三十一
- (三) 陸軍戶山學校條例中改正 三十三
- (四) 陸軍大學校條例 三十四

第九 海軍省官制

- (一) 海軍武官官階 四十三
- (二) 海軍會計監督部條例 四十四
- (三) 海軍造船工學校官制中改正 四十六
- (四) 造船造兵監督官條例 全

第十 司法省官制

- (一) 帝國大學職員定員 四十九
- (二) 文部省直轄諸學校官制 五十二

| | | |
|-----------------|---|----|
| 〔三〕東京圖書館官制 | 六 | 十 |
| 〔四〕帝國大學教授助教人員 | 六 | 十一 |
| 〔五〕文部省直轄諸學校教官人員 | 六 | 十二 |
| 〔第十二〕農商務省官制 | 六 | 十四 |
| 〔一〕臨時博覽會事務局官制 | 六 | 十七 |
| 〔二〕大小林區署官制 | 六 | 十九 |
| 〔三〕鑛山監督署官制 | 七 | 十一 |
| 〔第十三〕遞信省官制 | 七 | 十三 |
| 〔一〕郵便及電信局官制 | 七 | 十五 |
| 〔二〕郵便爲替貯金管理所官制 | 七 | 十七 |
| 〔三〕航路標識管理所官制 | 七 | 十九 |
| 〔四〕船舶司檢所官制 | 八 | 十一 |
| 〔五〕電信建築署官制 | 八 | 十二 |
| 〔六〕電話交換局官制 | 八 | 十四 |

| | | |
|--------------------------|---|----|
| 〔七〕商船學校官制中改正 | 八 | 十五 |
| 〔八〕東京郵便電信學校官制 | 八 | 十六 |
| 〔第十四〕警視廳官制中改正 | 八 | 十七 |
| 〔一〕巡查看守待遇 | 八 | 十九 |
| 〔第十五〕北海道廳官制 | 九 | 十六 |
| 〔一〕札幌農學校官制 | 九 | 十八 |
| 〔二〕北海道集治監官制 | 九 | 十八 |
| 〔第十六〕地方官官制中改正 | 百 | 一 |
| 〔一〕地方衛生會規則 | 百 | 一 |
| 〔第十七〕貴族院事務局官制中改正 | 百 | 三 |
| 〔第十八〕衆議院事務局官制中改正 | 百 | 四 |
| 〔第十九〕陸地測量部條例 | 全 | |
| 任命俸給 手當金支給 旅費 | | |
| 〔第二十〕北海道集治監分監長及北海道廳典獄特別任 | | |

用

第廿一 府縣立師範學校長特別任用令

第廿二 高等官任命及俸給令

(一) 判任官俸給令

(二) 技術官俸給令

第廿三 樞密院議長副議長顧問官並書記官長書記官
年俸

第廿四 會計檢查院高等官年俸

第廿五 行政裁判所長官並評定官年俸

第廿六 貴族院衆議院書記官長並書記年俸

第廿七 公使館領事館費用條例中追加

(一) 公使館領事館費用條例中改正

第廿八 土木監督署、衛生試驗所、中央氣象臺高等官
俸給

六十

百七

百八

百九

百十五

百十六

百十七

百十八

百二十

百二十一

百二十二

全

全

百二十四

第廿九 集治監假留監高等官俸給

(一) 集治監假留監看守人員及俸給中追加

第三十 鐵道廳高等官俸給

第三十一 警視廳高等官俸給令

(一) 巡查俸給

第三十二 北海道廳高等官俸給

(一) 札幌農學校高等官俸給

第三十三 地方高等官俸給令

(一) 收稅屬俸給

第三十四 造幣局印刷局稅關職員俸給

第三十五 陸軍編修俸給

(一) 陸地測量官俸給

(二) 理事錄事俸給

(三) 千住製絨所高等官俸給

百二十六

全

百二十七

百二十八

百三十

百三十一

百三十二

全

百三十四

百三十五

百三十六

百三十七

百三十八

百三十九

目次

六十一

| | |
|--------------------------------------|------|
| 〔四〕陸軍海軍諸學校文官教授俸給 | 百三十九 |
| 〔第三十六〕海軍軍人俸給令 | 百四十一 |
| 〔一〕主理錄事俸給 | 百四十五 |
| 〔二〕海軍編修俸給 | 百四十六 |
| 〔第三十七〕判事檢事俸給令 | 全 |
| 〔一〕裁判所書記長書記俸給 | 百五十三 |
| 〔第三十八〕帝國大學文部省直轄諸學校及圖書館高等官俸給令 | 百五十五 |
| 〔第三十九〕富岡製絲所大小林区署鑛山監督署職員俸給 | 百五十九 |
| 〔第四十〕郵便及電信局郵便爲替貯金管理所船舶司檢所航路標識管理所職員俸給 | 百六十 |
| 〔一〕遞信省所管學校職員俸給 | 百六十二 |
| 〔第四十一〕府縣立師範學校長任命及俸給令 | 百六十三 |

| | |
|---|------|
| 〔第四十二〕海軍造船工學校生徒手當金規則 | 百六十四 |
| 〔第四十三〕豫備後備ノ軍籍ニアル文官陸軍召集條例 ニ依リ召集中俸給支給方 | 百六十五 |
| 〔第四十四〕官制及俸給令改正ノ際俸給支給方 | 百六十六 |
| 〔第四十五〕内國旅費規則中改正 | 全 |
| 〔一〕監獄醫及教誨師ニシテ判任待遇者ノ旅費 | 百六十七 |
| 〔二〕警察官吏其他内國旅費概則中改正 | 百六十八 |
| 〔三〕徵兵參事員旅費額改正 | 百六十九 |
| 〔四〕學校職員及郡區書記戶長旅費額改正 | 全 |
| 〔五〕大林區署管内旅費規則中改正 | 百七十 |
| 〔第四十六〕帝國議會議長副議長議員歲費及旅費支給規則中改正 | 百七十一 |

目次終

目次

訂正日本類典第二編下卷

市岡正一編纂

○第十一類

○第二章 國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分 租稅監查及

間接稅違犯者處分 稅關法

〔第一百十一〕國稅徵收法中改正 明治二十二年九月二十四日公布
法律第二十三號

朕國稅徵收法中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年九月二十一日

內閣總理大臣伯耆黒田清隆
大藏大臣伯耆松方正義

法律第二十三號

明治二十二年^三法律第九號國稅徵收法第八條左ノ通改正ス

第八條 地租及勅令ニ依リ市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ヲ徵收スルトキハ市町村ニ對シ其
他ノ國稅ヲ徵收スルトキハ各納稅人ニ對シ府縣知事徵稅令書ヲ發スヘシ

〔一〕北海道及町村制施行セサル島嶼ノ國稅徵收方 明治二十三年二月四日公
布

法律第
四號

第十一類 第二章 國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分
租稅監查及間接稅違犯者處分 稅關法

法律第九號
初編第百三十
三揭ク

朕北海道及町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名 御璽

明治二十三年二月三日

內閣總理大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

法律第四號

- 第一條 北海道及町村制ヲ施行セサル島嶼東京府管轄小笠原島伊豆七島ヲ除クニハ明治二十二年三月九號國稅徵收法中第六條第七條第十條第十四條乃至第十九條ノ外他ノ條項ヲ施行セス此法律ニ據リ國稅ヲ徵收ス
- 第二條 北海道ニ於テハ水產稅ハ郡區長ヨリ水產物營業人組合ニ對シ其他ノ國稅ハ郡區長ヨリ戶長ニ對シ徵稅令書ヲ發スヘシ
- 町村制ヲ施行セサル島嶼ニ於テハ島司ヨリ戶長ニ對シ徵稅令書ヲ發スヘシ
- 第三條 水產物營業人組合ハ其組合中ノ水產稅ヲ取纏メ之ヲ金庫ニ納付スヘシ
- 第四條 戶長又ハ水產物營業人組合納稅委員ハ徵稅令書ニ據リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ各納稅人ニ發スヘシ
- 第五條 各納稅人ハ稅金ヲ戶長又ハ水產物營業組合納稅委員ニ拂込ニ其領收證ヲ受クヘシ
- 第六條 戶長又ハ水產物營業人組合納稅委員ハ其領收シタル稅金ヲ金庫ニ拂込ニ其別符附領收證ヲ得之ヲ收入官吏ニ差出シ其別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ受クヘシ

第七條 戶長又ハ水產物營業人組合納稅委員ハ納期限ヲ過キ稅金ヲ完納セサル者アルトキハ其滯納ノ稅目金額及滯納人ノ住所氏名ヲ記載シ之ヲ收入官吏ニ報告スヘシ

第八條 戶長ハ過誤怠慢ニ依リ其徵收シタル稅金ヲ亡失シタルトキハ之ヲ辨償スルノ責ニ任スヘシ

水產物營業人組合ハ過誤怠慢ニ依リ其取纏メタル稅金ヲ亡失シタルトキハ之ヲ辨償スルノ責ニ任スヘシ

第九條 戶長又ハ水產物營業人組合ハ避クヘカラサル變災ニ罹リ稅金ヲ亡失シタルトキハ北海道廳長官若クハ縣知事ヲ經テ其責任ノ免除ヲ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十條 此法律ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

〔二〕沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ノ件明治二十二年十二月三十日公布

勅令第四百四十一號
朕沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名 御璽

明治二十二年十二月二十八日

內閣總理大臣公爵三條實美
大藏大臣伯爵松方正義

勅令第四百四十一號

沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ハ會計法實施後左ノ各條ノ外ハ從來ノ慣

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅法

例ニ依ルヘシ

第一條 納税人ハ税金神細縣酒類出ヲ金庫ニ拂込ニ金庫ヨリ交付シタル別符附領收證ヲ收入官吏ニ差出シ其別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ受クヘシ

第二條 國稅品ハ納税人ヨリ直ニ收入官吏ニ納付スヘシ

第三條 前條國稅品ハ會計法規ニ依リ收入官吏之ヲ取扱ヒ其賣却代金ヲ領收シテ金庫ニ拂込ムヘシ但稅品ノ會計ハ本稅所屬ノ年度ニ依ル

〔三〕市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ニ關スル件明治二十三年二月二十六日 公布

勅令第
十七號

朕市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月二十五日

大藏大臣伯耆松方正義

勅令第十七號

明治二十二年三月勅令第三十三號中市町村之ヲ徵收スヘシノ下「但菓子稅以下六項ハ隨時收入ニ係ルモノヲ除ク」ノ二十一字ヲ追加ス

〔四〕國稅徵收法施行細則改正明治二十三年二月十二日 大藏省令第三號

明治二十二年三月大藏省令第五號國稅徵收法施行細則左之通改正シ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

國稅徵收法施行細則

勅令第三十三號
號ハ初編第百三十三ノ一項ニ掲ク
省令第五號ハ初編第百三十三ノ二項ニ掲ク

第一條 徵收法第八條市町村ニ對シ發スル徵稅令書ハ第一號第二號樣式ニ依リ各納税人ニ對シ發スル徵稅令書ハ第三號樣式ニ依リ調製スヘシ

第二條 府縣知事ニ於テ徵稅令書ヲ發シタルトキハ該納額ヲ收入官吏ニ送スヘシ

第三條 市町村長ニ於テ地租船車稅ノ徵稅傳令書發付後納期限以前ニ於テ土地若クハ船車ノ所有權移轉又ハ土地ノ質入ニ係ルモノアルトキハ該キノ傳令書ヲ更正スヘシ

第四條 各納税人ニ於テ稅金ヲ金庫ニ納付スルトキハ徵稅令書ヲ添付スヘシ

第五條 市町村長ニ於テ稅金ヲ金庫ニ納付スルトキハ第四號樣式ノ納付書ヲ添付スヘシ

第六條 收入官吏ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ明治二十二年大藏省令第十三號第十五條及第十六條ニ據リ金庫ニ拂込ムヘシ

第七條 各納税人若クハ市町村長ハ稅金ヲ金庫ニ納付シタルトキハ即時別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ收入官吏ニ請フヘシ

第八條 各納税人若クハ市町村長ヨリ別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ請フトキハ收入官吏ハ即時ニ領收證書式ノ位置ニ檢印シ別符ヲ切離シ領收證ハ之ヲ返付スヘシ

第九條 收入官吏ハ其切離シタル別符ニ領收證檢印濟ノ年月日ヲ記入シ其傍ニ檢印シ之ニ據リ收入簿及徵稅簿ニ記入スヘシ

第十條 收入官吏ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ明治二十二年大藏省令第十一號書式第二號ノ領收證ヲ發シ同時ニ收入簿及徵稅簿ニ記入スヘシ

第十一條 收入官吏現金ヲ金庫ニ拂込タルトキハ其別符附領收證ヲ府縣知事ニ送付シ別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ受クヘシ

第十二條 府縣知事ハ收入官吏ノ送付シタル金庫ノ領收證ヲ檢シ收入檢定簿ヲ備ヘテ之ヲ記入シ領收證書式ノ位置ニ檢

省令第十三號
ハ第百六ノ四項ニ掲ク

省令第十一號
ハ第百三ノ二項ニ掲ク

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及佈荒儲蓄金納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

五

四

印シ別符ヲ切離シ領收証ハ之ヲ返付スヘシ

第十三條 府縣知事ニ於テ收入官吏ノ送付シタル領收証ヲ檢シタルトキハ毎月其檢定報告書ヲ製シ翌月七日以内ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

第十四條 收入官吏ハ毎日領收証ヨリ切離シタル別符及排込額ノ總計金額ト金庫ヨリ毎日報告スル税金領收日計表ノ金額ト照査スヘシ

第十五條 收入官吏ハ明治二十二年大藏省令第十一號書式第四號ニ據リ收入報告書ヲ調製シ收入金月計對照表ヲ添ヘ翌月七日マテニ府縣知事ニ送付スヘシ

第十六條 府縣知事ハ收入官吏ヨリ送付シタル收入報告書ヲ取纏メ同式ノ毎月收入集計書ヲ添ヘ收入官吏ヨリ送付スル所ノ收入報告書及收入金月計對照表ヲ翌月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ

第十七條 收入官吏ハ第五號第六號樣式ニ據リ徵稅簿ヲ備ヘ調定額收入預收入未清額缺損額ヲ記載スヘシ

第十八條 收入官吏ニ於テ調製セル收入簿現金出納簿ハ明治二十二年大藏省令第十一號書式第十四號及第十八號ニ依ルヘシ

第十九條 收入官吏ハ第七號樣式ニ據リ各納期後五十日以内ニ收入預收入未清額及缺損額報告書ヲ調製シ府縣知事ニ送付スヘシ

第二十條 府縣知事ハ前條ノ報告書ヲ取纏メ更ニ同式ノ集計報告書ヲ調製シ各納期後六十日以内ニ大藏省ニ送付スヘシ

第二十一條 收入檢定簿檢定報告書其他事務整理上必要ナル帳簿ハ便宜ノ式ニ據リ之ヲ調製スヘシ

第一號樣式

用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第 | 何 | 號 | 經 | 常 | 租 | 稅 | 何 | 郡 | 何 | 町 | 長 | 氏 | 名 | 納 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

徵稅令

ト元 割印

一金何程

| | | | |
|---------|-----|----|------|
| 明治何年度地 | 租田 | 租 | 明治何年 |
| 收入官吏官氏名 | 收稅部 | 何地 | 出張所 |

右何年何月何日限何地金庫へ納付スヘシ

明治何年何月何日

府縣廳之印

何府縣知事氏名

第二號樣式 用紙寸法同上

徵稅

ト元 割印

一金何程

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|----|-----|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 第 | 何 | 號 | 經 | 常 | 租 | 稅 | 何 | 郡 | 何 | 町 | 長 | 氏 | 名 | 納 |
| 明治何年度 | 葉 | 子 | 稅 | 製 | 造 | 稅 | 明治何年 | 分 | | | | | | |
| 收入官吏官氏名 | 收稅部 | 何地 | 出張所 | | | | | | | | | | | |

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納納者處分 租稅監査及間接稅徵收者處分 稅關法

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

| | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 令 書 領 收 證 書 | | | |
| 右領收候也 明治何年何月何日 何地金庫印 | 收入官 更檢印 一金何程 取金庫 任抜主 印 | 第何號經常租稅 明治何年度酒造稅釀造酒稅 何郡何村民名納 第何期何年 收入官吏官氏名抜 收稅部何地出張所 | 元 割印 一金何程 右何年何月何日限何地金庫へ納付スヘシ 明治何年何月何日 府縣廳 之印 何府縣知事氏名 |
| 金庫 割印 | | | |

| | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 令 書 徵 稅 | | | |
| 右何年何月何日限何地金庫へ納付スヘシ 明治何年何月何日 何府縣知事氏名 | 納稅人數多アリテ記入シ能ハサル時ハ令書ニハ合計ノミヲ記載シ 一人別仕譯書ヲ添付スヘシ 府縣廳 之印 | 內 一金何程 何ノ誰 一金何程 何ノ誰 一金何程 何ノ誰 | 第三號様式 用紙適正 縦四寸五分ノモノニ枚積 四寸五分ノモノ一枚接續 横三寸三分ノモノニ枚積 二寸ノモノ一枚接續 |
| 第何號經常租稅 明治何年度酒造稅釀造酒稅 第何期何年 收入官吏官氏名抜 收稅部何地出張所 | | | |

納付書

| | | | |
|------------------------------|-----|-------|---------|
| 第何號 | 常租 | 稅 | 何郡何村氏名納 |
| 明治何年度 | 酒造 | 釀造酒稅 | 第何治何年 |
| 收入官吏官氏名 | 收稅部 | 何地出張所 | |
| 一金何程 (金庫印) | | | |
| 明治何年何月何日何地金庫へ納付 (取入官印) | | | |
| 右納付候也 明治何年何月何日 何郡何村氏名印 | | | |

第四號様式

用紙適宜 縦四寸五分ノモ、二枚 横四寸五分ノモ、二枚 接續

領收証書

| | | | |
|--------------------------------------|-----|-------|---------|
| 第何號 | 常租 | 稅 | 何郡何村氏名納 |
| 明治何年度 | 地租 | 田租 | 第何治何年 |
| 收入官吏官氏名 | 收稅部 | 何地出張所 | |
| 一金何程 (金庫印) | | | |
| 右領收候也 明治何年何月何日 何地金庫印 (取入官印) | | | |
| 徵稅令書何號ノ分又ハ金何程ノ内 (取入官印) | | | |
| 徵稅令書何號ノ分又ハ金何程ノ内 (取入官印) | | | |

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

明治何年何月何日何地金庫へ納付

收入書
吏檢印

記簿凡例

- 一 收入官吏ハ府縣知事ヨリ納額ノ達ヲ受ケタルトキハ其納額ヲ一市町村毎ニ第五號ノ帳簿ヘ①印ノ如ク記載シ其増額ハ②印ノ如ク記載シ其減額ハ③印ノ如ク記載スルモノトス
- 二 税金收入済ニ至リ納税人ニ檢印ヲ與ヘ別符ヲ切離シタルトキハ之ヲ納額ニ照合シ④印ノ如ク記載シ其殘高ヲ⑤印ノ如ク掲記スルモノトス
- 三 滞納處分ノ未追徴シタル税金ハ⑥印ノ如ク記入シ其缺損ヲ生セシモノハ⑦印ノ如ク掲記スルモノトス
- 四 隨時收入ニ係ル各納税人別ノ納額ノ通知ヲ受ケタルトキハ第六號帳簿ヘ①印ノ如ク記載シ税金收入済ニ至リ檢印ヲ與ヘ別符ヲ切離シタルトキハ②印ノ如ク記載スルモノトス

第五號様式

何年度畑租

(此帳簿ハ目限リ納期毎ニ調製スヘシ)

徵稅簿

| 第一期畑租 | | 何郡 甲 村 | | | | | |
|-------|---------|--------|----|-----|----|----|-------|
| 年月日 | 摘要 | 調定額 | 減額 | 収入額 | 缺損 | 報未 | 済 |
| 六月十五日 | 納額ノ達ヲ受ク | ① 三千圓 | | | | | ② 三千圓 |

| 第一期畑租 | | 何郡 乙 村 | | | | | |
|--------|------------------|--------|------|--------|----|----|---------|
| 年月日 | 摘要 | 調定額 | 減額 | 収入額 | 缺損 | 報未 | 済 |
| 七月三十日 | 領收証檢印 | | | ③ 五百圓 | | | ④ 五千五百圓 |
| 八月十日 | 同 | | | ③ 千圓 | | | ④ 千五百圓 |
| 八月二十一日 | 何々ニ依リ減 | | ⑤ 百圓 | | | | ④ 千四百圓 |
| 九月一日 | 領收証檢印 | | | ③ 千四百圓 | | | 完結 |
| 八月三十一日 | 領收証檢印 | | | ③ 千圓 | | | ④ 五百圓 |
| 六月十五日 | 納額ノ達ヲ受ク | ① 千五百圓 | | | | | ② 千五百圓 |
| 八月三十一日 | 何々ニ依リ増額ノ分納額ノ達ヲ受ク | ③ 百圓 | | | | | ④ 六百圓 |

第十一類 第二章 國稅徵收 租稅及備増蓄金滯納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備付金滞納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

| | | | | | |
|--------------|---|--|--|--|--|
| 未 納 額 事 由 | 第 何 號 (此號收ハ年度中本書ノ ミノ順ヲ追フモノトス) 第七號様式 明治何年度 収入額 収入未済額 欠損額 報告書 何 何 税 税 何 何 何 廳 | | | | |
| | 「備考」 「各税ノ内納期限ノ同一ナルモノハ之ヲ一表中ニ 記載スヘシ」 | | | | |
| | 「内ハ朱書」 | | | | |

第六號様式

何年度何税(隨時收入)

徵 稅 簿

(此帳簿ハ目限リ半年毎ニ調製スヘシ)

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | |
| 九月二日 | 九月二十日 | 九月二十日 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 領收証檢印 | 領收証檢印 追徴 滯納處分ノ未 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 四百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 |
| 二百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 | 百〇〇 |
| 完 | 完 | 完 | 完 | 完 | 完 | 完 | 完 | 完 | 完 |
| 結 | 結 | 結 | 結 | 結 | 結 | 結 | 結 | 結 | 結 |

何年度何税(目)

| | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | | | |
| 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク | 何月何日納額ノ遠ヲ受ク |
| 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 | 金 〇 〇 〇 |
| 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 | 何月何日同上 |
| 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 | 何 何 何 村 |
| 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 | 某 人 |

廳 名

法律第九號
初編第百三十
三三三三

何應明治何年度第何期又ハ前後半年分

| 科 目 項 目 | 調定額 | 收入 清 額 | | | | | | 缺 損 額 | 收 入 | | |
|----------------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | 納期限迄 收入ノ分 | | 納期限後 收入ノ分 | | 金 員 | | | | | |
| 何々 | 何々 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 圓 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 明治 年 月 日 收入官吏官氏名印 | | | | | | | | | | | |

〔五〕 國稅徵收期限內分納方 明治二十二年四月二十四日 大藏省訓令第三十一號府縣(沖繩縣ヲ除ク)
 本年三月法律第九號國稅徵收法第八條第二項ノ徵稅令書ヲ受タル納稅人若シ其納期限以內ニ於テ分納セントスルトキハ本年三月大藏省令第五號國稅徵收法施行細則第四條第四號様式ニ準シタル納付書ヲ添付シテ金庫(納付シ其別符ノ切離及ヒ領收證ノ檢印ヲ收入官吏ニ請フコトヲ得)

〔六〕 市町村ヲシテ徵收セシムル國稅徵收ノ手續 明治二十二年五月二十四日 大藏省訓令第三十八號府縣(沖繩縣ヲ除ク)
 明治二十二年三月勅令第三十三號ニ依リ市町村ヲシテ徵收セシムル國稅ハ市町村ニ於テ適宜一人別徵稅元帳ヲ備ヘ置之ニ據リ徵收ノ手續ヲ爲サシムヘシ

〔七〕 他廳ノ委託ヲ受ケテ租稅徵收ノトキ其徵稅令書及納付書ニ捺印方 明治二十二年六月七日 大藏省訓令第三十九號北
 府縣
 海運廳
 但所得稅菓子稅及ヒ臨時收入ノ諸稅ヲ除ク外一人別ノ賦稅額ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々市町村ヘ送スヘシ

〔八〕 明治二十一年度以前戶長ニ對シ徵稅令書ヲ發セシ國稅ニシテ未納稅ヲ上納セントス
 ルトキノ手續 明治二十二年六月十三日 大藏省訓令第四十二號府縣(沖繩縣ヲ除ク)
 明治二十一年度以前戶長ニ對シ徵稅令書ヲ發セシ國稅ニシテ徵收未済ノ儘該年度出納閉鎖期限ヲ經過シタル未納稅ヲ本年度以降ニ於テ上納セントスルトキハ各納稅人ヲシテ本年三月大藏省令第五號國稅徵收法施行細則第四條第四號ノ様式ニ準シタル納付書ヲ以テ上納ノ手續ヲ爲サシムヘシ

〔九〕 國稅金ノ内納付後徵稅令書ヘ記載ノ年度科目誤記訂正請求方 明治二十二年七月二日 大藏省訓令第五十號府縣
 (書式略ス)

前項ノ收入額ハ左ノ様式ニ依リ國稅徵收法施行細則第十三條第十四條ノ毎月收入報告書ヲ調製ス

國稅金ノ内金庫へ納付後ニ於テ其徵稅令書へ記載ノ年度科目上ノ誤記ヲ發見スルトキハ府縣知事若クハ郡長ヨリ之カ訂正ヲ金庫へ照會スヘシ其納付書ノ誤記ニ係ルモノハ之ヲ納付セシ者ヨリ金庫へ訂正ヲ請求スヘシ

〔十〕國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及納付書樣式中規定

明治二十三年二月大藏省令第三號國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及納付書樣式中ニ取扱主任ノ收入官吏官氏名ヲ記入スヘキ備規定シ有之候處右ハ其取扱應ノ便宜ニ從ヒ同時ニ二名ノ收入官吏ヲ置ク場合ニ於テハ連帶責任ノ趣旨ヲ以テ右徵稅令書及納付書ニモ二名ノ收入官吏ヲ連署スヘキ旨ニ付金庫ニ於テ收入官吏毎ニ區分スヘキ帳簿ニハ總テ其連署セル二名ヲ以テ一口座トナシ稅金領收日計表及入金月計對照表ヲモ連署セル二名ノ收入官吏ニ宛テ差出シ而シテ月計對照表ニ證明ヲ受クルニモ亦連署セル二名ノ收入官吏ノ證明ヲ受クル儀ト心得ヘシ

但シ本文二名ノ收入官吏連帶責任ノ場合ニ於テ其一名交替セシトキハ他ノ一名モ同時ニ交替セシモノト見做シ其都度帳簿上新ニ口座ヲ設ケテ記載シ月計對照表等モ同様新規ニ調製シ前月ノ累計等ハ掲ケサル儀ト心得ヘシ

〔十一〕國稅徵稅令書及納付書中收入官吏現金拂込書記名方

明治二十三年四月二十二日公布
大藏省訓令第六十七號北海道府縣
國稅ノ徵收ヲ取扱フ收入官吏一箇所ニ二名ヲ置キタル地方ニ於テハ其徵稅令書及納付書中ニ其二人ノ官氏名ヲ記載シ收入官吏現金拂込書ハ其二名ヲシテ連署セシムヘシ

〔十二〕國稅賦課計算書調製手續

明治二十三年三月八日
大藏省訓令第二十九號北海道府縣(沖繩縣ヲ除ク)
國稅賦課ノ成蹟ヲ詳明ナラシムル爲メ左ノ手續ニ依リ毎年度國稅賦課計算書ヲ調製シ明治二十二年度分ヨリ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

但明治二十年訓令第五十號租稅計算整理順序同第五十二號地租延納年賦異動報告ハ廢止ス

一 國稅賦課計算書ハ地租ハ曆年其他ノ國稅ハ會計年度ノ區分ニ依リ其所屬年度間ニ賦課シタル物件ノ只數及ヒ租稅額ヲ掲載スヘシ

一 國稅賦課計算書送付後所屬年度ノ出納完結ヲ過キ賦課額ノ異動ヲ發見シタルトキハ更ニ賦課追加計算書表面(元年ノ

訓令第五十號
八初編第百二十三ノ二十二
項ニ掲ク

調製シ相當年度ノ賦課計算書ト共ニ之ヲ送付スヘシ

但其所屬年度ノ出納完結以前ニ係ルモノハ之ヲ訂正シテ發見ノ計算書ト引換テ請フヘシ

一 國稅賦課計算書ハ第一號ヨリ第十五號マテノ様式ニ依リ調製シ地租ハ翌年三月以内其他ノ國稅ハ會計年度經過後二箇月以内ニ其應ヲ差立ヘシ

但計算書樣式ハ主稅局ヨリ送付スヘシ

〔十三〕各納稅人ヨリ稅金ヲ分納スルトキ徵稅令書添付及現金領收方

明治二十三年五月十五日
大藏省訓令第八十四號北海道府縣
道廳府縣金庫出納役

明治二十二年四月常省訓令第三十一號ニ依リ各納稅人ヨリ稅金ヲ分納スルトキハ右ニ關スル徵稅令書ヲ添付セシムヘシ

金庫ニ於テハ該令書ノ納期日ヲ認メ納期日以内ニアリテハ納付書ニ依リ現金ヲ領收シ該令書ハ納人ニ返付スヘシ

〔十四〕各廳ヘノ納人直納者ニシテ各廳ニ於テ金庫ノ通知書ヲ受入アル分收入官吏へ引繼

方 明治二十三年五月一日
大藏省訓令第七十二號北海道府縣

本年三 大藏省訓令第二十六號第三條各廳ヘノ納人直納金ニシテ金庫ノ預リ證書(甲)ヲ未タ納人ヨリ差出サ、ル前ト雖モ各廳ニ於テ金庫ノ通知書(乙)ヲ受入レアル分ハ其通知書ヲ同訓令第三條ノ引繼手續ヲ以テ會計法規ニ據リ定ムル處ノ收入官吏へ引繼クヘキ儀ト心得ヘシ

但本年常省訓令第二十六號第三條中領收證書トアルハ預リ證書ノコト、知ルヘシ

〔十五〕北海道及町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收手續

明治二十三年三月一日
大藏省訓令第二十號北海道廳町村制ヲ施行セサル島嶼アル各縣(沖繩縣ヲ除ク)

北海道及ヒ町村制ヲ施行セサル島嶼ノ國稅徵收ノ手續ハ左ノ各項ノ外明治二十三年大藏省令第三號國稅徵收法施行細則ニ準據取扱フヘシ

一 收入官吏現金ヲ領收シ之ヲ金庫ニ拂込タルトキハ其別符符領收證書ヲ島司又ハ郡區長ニ送付シ別符ノ切離及領收證書ノ檢

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納付者處分 租稅徵收及間接稅違犯者處分 稅關法

訓令第二十六號
八初編第百八十六
六十五項ニ掲ク

二十二年省令
第十一號八第
目三ノ二十五
項ニ掲ク
省令第三號ハ
四項ニ掲ク

印ヲ受クヘシ

一 島司又ハ郡區長ハ收入官吏ノ送付シタル金庫ノ領收證ヲ檢シ收入檢定簿ヲ備ヘテ之ニ記入シ領收證ニ檢印シ別符ヲ切離シ領收證ハ之ヲ返付スヘシ

一 島司又ハ郡區長ニ於テ前項ノ領收證ヲ檢シタルトキハ毎月檢定報告書ヲ製シ翌月七日以内ニ之ヲ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ

一 北海道廳長官府縣知事ハ前項ノ報告書ヲ取纏メ其月十五日以内ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

一 收入官吏ハ明治二十二年大藏省令第十一號書式第四號ニ依リ收入報告書ヲ調製シ收入金月計對照表ヲ添ヘ翌月七日マテニ島司郡區長ヲ經テ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ

一 收入官吏ハ明治二十三年大藏省令第三號書式第七號ニ據リ收入額收入未清額及缺損額報告書ヲ調製シ各納期後五十日以内ニ島司又ハ郡區長ヲ經テ北海道廳長官府縣知事ニ送付スヘシ

[十六] 租稅ニ關スル諸帳簿管理其他取扱方 明治二十二年六月二十日 大藏省訓令第四十四號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

本年七月一日以降租稅ニ關スル諸帳簿管理其他取扱方左ノ通心得ヘシ

明治十七年 十二 當省第八十九號達地租ニ關スル諸帳簿式第一號附屬及第二號乃至第十七號ノ諸帳簿表並土地賣地地圖ハ收稅部出張所ニ於テ之ヲ管理セシムヘシ

府縣廳ニ於テハ前樣式ニ倣ヒ郡市限地租賣地及附屬諸帳簿表ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

明治十八年 九 當省第六十四號達國稅稅收帳簿收稅部出張所ニ於テ之ヲ管理セシムヘシ

收稅部出張所ニ於テハ國稅稅收期三十日以前ニ於テ其現在額ニ據リ郡市町村ノ納額若クハ一人別ノ納額ヲ調査シ之ヲ府縣知事ニ申報セシメ其以後納期末日迄ニ係ル附屬及隨時收入ニ係ル納額ハ其時々之ヲ申報セシムヘシ

郡長ニ於テ徵稅令書ヲ發スヘキ國稅ノ納額ハ每納期徵稅令書發付期日以前ニ其以後納期末日迄ニ増減アルモノ及隨時收入ノモノハ其時々府縣知事ヨリ之ヲ郡長ニ達スヘシ

明治十七年 十二 當省第八十九號達地租ニ關スル帳簿第一號樣式地租賣地ハ之ヲ廢止ス

[十七]

納稅人國稅令書ノ發付ヲ受ケ納期後上納方

明治二十三年六月十四日 大藏省訓令第三百三號北海道廳府縣(沖繩縣ヲ除ク)金庫出納役

納稅人ニ對シ直ニ徵稅令書ヲ發シ徵收スヘキ國稅ニシテ其令書ノ發付ヲ受ケ納期經過後督促令狀發付以前ニ於テ該税金ヲ上納セントスル者アルトキハ本年三月當省訓令第四十三號ニ號シ號式ニ倣ヒ收入官吏ニ於テ其徵稅令書(裏書ヲ爲シ税金ハ本人ヲシテ直ニ金庫ニ納付セシメ其領收證ノ檢印及別符ノ切離ヲ請ハシムヘシ)

● 伺指令

● 國稅徵收ノ件ニ付照會回答

明治二十二年四月十日 千歲縣收稅長照會

- 一 本月四日附ヲ以テ國稅徵收法中疑義ノ廉々及御照會置候處右ノ内收入官吏ヲ郡書記(市ニ對シテハ)トスルトキハ不納公賣處分迄モ郡書記ニ於テ行フヘキモノ、如クナレトモ財産公賣ノ告示又ハ揭示等郡書記ノ名ヲ以テスルハ職權上豫當ナラサルカガ如シ就テハ若シ不納者アル場合ニ於テハ收入官吏ヨリ之ヲ郡長(市ニ在テ)ニ通知シ郡長ニ於テ其處分ヲ執行スヘキ旨趣ナル哉
- 一 前項果シテ見込ノ通リトセハ郡長ニ於テ徵收シタル税金ハ十九年大藏省令第四號撥入取扱順序第四十五條ニ據リテ之ヲ金庫ニ納付シ同時ニ收入官吏ヘ徵收済ノ報告ヲ爲サシムヘキ哉
- 一 國稅徵收法施行細則第十五條及第十六條ニ收入額收入未清額及缺損額報告ノ手續ヲ定メラレタルニ付テハ租稅計算整理順序中ノ收納既未清報告表ハ自然廢止三屬シタル儀ナル哉
- 但二十一年度三屬スル分即菓子製造稅第二期又ハ地租第五期ノ如キモ本文改定ノ式ニ據ルヘキ哉
- 大藏省主稅局同答 明治二十二年四月十七日
- 第一項第二項國稅徵收法第六條ノ法律制定迄御見込ノ通
- 第三項御見込ノ通

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備稅儲蓄金納者處分 租稅監査及租稅違犯者處分 稅關法

●徵稅令書發付方分任ノ件伺指令 明治二十二年九月二十四日(電報)

國稅徵收注中令書ヲ發スルハ府縣知事ト改メラレタリ右ハ收稅部出張所長ニ分任シ差支ナキヤ

大藏省指令 明治二十二年九月二十六日(電報)

知事ノ名ヲ以テ收稅部出張所ニ其取扱ヲ爲サシムヘシ

●他廳委託徵收金ノ件照會同答 明治二十二年十月十六日 栃木縣收稅長照會

一租稅金ノ徵收方甲廳收稅部出張所ヨリ乙廳收稅部出張所ヘ委託アリタルトキハ本年大藏省訓令第三十九號ニヨリ收入官吏ニ於テ之ヲ徵收シ金庫ヨリ差出シタル等照會書類ヲ添ヘ其旨乙廳出張所ヨリ直ニ甲廳出張所ヘ通知スル儀ナル哉

一前項然リトセハ通知ヲ受ケタル甲廳出張所ニ於テハ徵稅雜日計簿及毎月收入報告書等ニ其縣某出張所ニ委託收入セシ旨摘要中ニ記載スル儀ナル哉

一該委託金徵收ニ對シ金庫ヨリ知事ヘ差出ス承認書ハ乙廳知事ニ於テ承認ヲナス儀ナル哉

一該委託金町村長ノ徵收スヘキ稅金ナルトキハ町村長ヲシテ徵收セシムル儀ナル哉又ハ直ニ收入官吏ニ於テ徵收スル儀ナル哉

町村長ヲシテ徵收セシムルモノトセハ委託ヲ受ケタル乙廳徵稅費ヨリ交付金ヲ下付スル儀ナル哉

大藏省主稅局同答 明治二十二年十月二十九日

第一項 本廳ヲ經由スヘシ

第二項 其縣ヘ委託收入セシ旨御記載可然

第三項 御見込ノ通

第四項 他管廳(徵收方)ヲ委託スルモノハ徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ發付セシ以後ニ係ルモノナルヲ以テ此場合ニ在テハ受託廳ノ收入官吏ニ於テ直ニ徵稅ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

其徵稅令書若クハ徵稅傳令書ノ發付以前ニ係ルモノハ非難ヲ乙廳ヘ引續キ乙廳主管トシテ徵稅ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

○ 第一百十一 國稅事務取扱 明治二十二年五月九日公布

朕國稅事務取扱ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年五月八日

內閣總理大臣伯耆黑田清隆
大藏大臣伯耆松方正義

勅令第六十三號

明治二十二年七月一日以降各郡市役所所在地ニ府縣收稅部出張所ヲ設ケ收稅屬ヲシテ左ニ掲クル事項ヲ取扱ハシム

一土地臺帳及地圖ニ關スル事項

一國稅ヲ課スル諸營業鑑札下付ニ關スル事項

一船車檢印ニ關スル事項

一諸印紙賣下ニ關スル事項

一市ノ國稅徵收ニ關スル事項

一國稅徵收法第十一條第十二條中收入官吏ノ職務ニ關スル事項

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備置金納納者處分
租稅監督及罰稅違犯者處分 稅關法

〔一〕市制施行ノ地ニ於テ所得稅取調掛ヲ置キ及市町村制施行ノ地ニ於ケル諸車檢印ノ事務其他大藏省達告示中戸長又ハ戸長役場アル分心得明治二十二年五月七日 大藏省令第七號

市制施行ノ地ニ於テハ所得稅法施行ニ關シ府縣知事大藏大臣ノ認可ヲ受ケ若干名ノ臨時取調掛ヲ置キ所得稅調査ニ關スル下調ヲ爲サシムルコトヲ得

市制施行ノ地ニ於テハ諸稅ニ關スル當省令達告示中郡區長又ハ郡區役所トアルハ府縣知事又ハ府縣廳郡區及郡區役所所轄トアルハ市東京市京都市大阪市ハ區戸長又ハ戸長役場トアルハ市長又ハ市役所ト心得ヘシ

町村制施行ノ地ニ於テハ諸稅ニ關スル當省令達告示中戸長又ハ戸長役場トアルハ町村長又ハ町村役場ト心得ヘシ

市制町村制施行ノ地ニ於テハ諸車ノ檢印ヲ請ハント欲スルトキハ市ニ於テハ府縣知事ニ町村ニ於テハ郡長ニ申出ヘシ

〔二〕島廳及收稅部出張所地租事務取扱方手續第六十九ノ大項ニ掲ケ

● 伺指令

● 收稅部出張所取扱事務ノ件ニ付問合同答明治二十二年六月七日 千葉縣收稅長問合

去月二十二日附ヲ以テ御送付ノ收稅部出張所事務概目第四項ニ土地賣帳ノ原本ヲ下付シ其手数料ヲ徵收スル事ト有之候處右ハ從前ノ通放入帳出納規則第十六條但書ニ據リ現金ヲ收入シ放入取扱順序第四十五條ニ據リ納付書ヲ以テ金庫ヘ納付セシムヘキ儘ト相考候ヘ共其收入ノ報告書即放入ハ出張所結メ收稅屬ヨリ直チニ本廳會計主務官ニ送付サシメ同官ニ於テ他ノ免許及手数料ノ類ト併セテ放入報告書ヲ製シ進達スヘキヤ又ハ右報告ハ收稅部ニ於テ取扱フコト、シ他ノ免許及手数料ノ類ト分離シ別ニ報告書ヲ製シ進達スヘキ儀ニ候哉

大藏省主稅局回答 明治二十二年六月十五日

右ハ前段御意見ノ通

〔第一百二十一〕國稅滯納處分法明治二十二年十二月二十一日公布 法律第三十二號

朕國稅滯納處分法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年十二月二十日

內閣總理大臣公爵三條實美
大藏大臣 伯爵松方正義

法律第三十二號

國稅滯納處分法

第一章 總則

- 第一條 國稅ノ滯納ニ係ルモノハ關稅ヲ除クノ外總テ此法律ニ依テ處分ス
- 第二條 國稅ヲ其納期限ヲ過キ完納セサル者アルトキハ收入官吏ヨリ督促令狀ヲ發スヘシ
- 督促令狀ヲ發スルトキハ手数料トシテ一通ニ付金三錢ヲ徵收スヘシ
- 第三條 滯納者督促令狀ヲ受タル日ヨリ五日以内ニ稅金ヲ完納セサルトキハ其所有財產ヲ差押ヘ賣却シテ之ヲ徵收スヘシ
- 第四條 滯納者ノ納稅義務ハ滯納處分濟ヲ以テ終ルモノトス
- 第五條 滯納者財產ノ價格處分費ヲ償フテ剩餘ヲ得ル見込ナキトキハ差押ヲ爲スコトヲ得
- ス此場合ニ於テモ亦前條ニ同シ
- 第六條 滯納處分費滯納稅金ニ付テハ他ノ債主ニ對シ先取權アルモノトス但滯納シタル稅

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備稅金滯納者處分 租稅監査及同稅違犯者處分 稅附法

金ノ納期限ヨリ一箇年前ニ質入書入ト爲シタル財産ニ付テハ此限ニ在ラス

第七條 酒類醬油造石税ニ付滞納處分ヲ爲ストキ其課額既ニ定マリタル税金ハ未タ其納期ニ至ラサルモ滞納税金ト併セテ之ヲ徴收スヘシ

第八條 滞納處分費ハ左ニ掲クル費目ニシテ督促令狀手数料ヲ除クノ外實際支辨スルモノヲ云フ

- 第一 督促令狀手数料
- 第二 差押調書及賣却調書調製費
- 第三 滞納者又ハ其債主若クハ負債者ニ對スル通信費
- 第四 評價人看守人又ハ競賣人ノ給料
- 第五 差押物件ノ運搬保管又ハ賣却ニ要スル諸費
- 第六 公告費
- 第七 訴訟ニ要スル諸費

第九條 滞納者ニ於テ賣却執行ノ前日マテニ處分費税金ヲ完納スルトキハ其財産ノ差押ヲ解クヘシ

第十條 滞納處分執行ニ關シ不服アリテ出訴スル者アルモ其處分ノ執行ヲ停止セス

第十一條 收入官吏ノ收入管轄地外ニ於テ滞納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ收入官吏ヨリ其處分ヲ爲スヘキ地ノ收入官吏ニ之ヲ囑託スルコトヲ得但他ノ地方管内ニ係ルトキハ

二十三年大藏省訓令第百廿四號(第百八ノ二十一項)

參看

收入官吏ハ其所屬長官ヲ經テ囑託ノ手續ヲ爲スモノトス

第二章 差押

第十二條 財産差押ヲ爲ストキハ地方長官ヨリ差押命令書ヲ發シ收入官吏ヲシテ之ヲ執行セシムヘシ

第十三條 財産差押ヲ爲ストキハ處分費税金ニ充ル金額ヲ用途トシ通貨ヲ先ニシ次ニ左ノ順序ニ從ヒ其物件ノ賣却代價ヲ見積リ逐次差押ヲ爲スヘシ但第一第二第三ノ物件ハ事宜ニ依リ順序ニ拘ハラズ之ヲ差押フルコトヲ得又物件ノ分割スヘカラサルモノ及分割スレハ價值ヲ減スヘシト認ムルモノハ其全部ヲ差押フルコトヲ得

第一 地金銀、公債證書、株券、手形、其他ノ證券

第二 農業其他營業上ノ生産物、製造物及賣品

第三 第一第二ニ掲ケサル動産及一月以内ニ收獲シ得ヘキ土地ノ生産物

第四 債主權

第五 不動産

第六 質入書入ト爲シタル財産但質屋營業者ニ質入シタル動産ヲ除ク

第十四條 主タル物件ノ差押ハ其物件ヨリ生スル利益又ハ生産物ニモ其効力ヲ及ホスモノトス

第十五條 滞納處分著手以前ニ裁判執行ノ爲メニ滞納者ノ財産一部ヲ差押ヘラレタル場合

第十一類 第二章

國稅徵收、租稅及備荒儲蓄金滞納者處分、租稅監督及間接稅徵收者處分、稅關注

ニ於テハ其殘部ヲ差押フヘシ其賣却代價處分費税金ニ對シ不足ナルヘシト認ムルトキハ該裁判所ニ照會シテ其不足金額ヲ請求スヘシ

第十六條 第十三條第一第二第三ノ物件ニシテ滞納者所有ノ家屋倉庫其他滞納者所用ノ場所ニ現在スルモノハ滞納者ノ所有ニ非サル旨ヲ申告スト雖モ其證據分明ナラサルトキハ之ヲ差押フルコトヲ得

第十七條 前條ノ場合ニ於テ差押物件ノ取戻ヲ請求セントスル者ハ賣却決行ノ五日前マテニ所有主タルノ證據ヲ具ヘテ收入官吏ニ其取戻ヲ請求スヘシ

第十八條 左ニ掲クル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス
第一 滞納者及其同居家族ノ生活上缺クヘカラサル衣服、寢具、家具及廚具
第二 滞納者及其同居家族ノ人口ヲ量リ三十日間ノ生活ニ必要ナル食料及薪炭
第三 實印

第四 祭祀ニ必要ナル物品及石碑墓地
第五 滞納者ノ家ニ必要ナル系譜、日記、書付類
第六 滞納者及其同居家族ノ身分ニ必要ナル制服、祭服、法衣
第七 勳章其他名譽ノ章票

第八 修學上必要ナル教科書、器具
第九 發明ニ係ル未定ノ物品、未タ發行セサル著譯書類

第十 滞納者ノ同居家族ノ財産ニシテ一箇年前ニ官簿ニ記載シタルモノ若クハ一箇年前ニ記名シタル公債證書、株券、手形其他ノ證券
但所得稅ニ關シテハ此限ニ在ラス

第十九條 左ニ掲クル物件ハ他ニ處分費税金ヲ償フニ足ルヘキ物件存在スルトキハ滞納者ノ選擇ニ依リ差押ヲ爲サ、ルモノトス
第一 農業ニ必要ナル器具、種子、肥料及牛馬並ニ其飼料
第二 職業ニ必要ナル器具及材料

第二十條 收入官吏ハ財産差押ヲ爲スタメ滞納者ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルコトヲ得
滞納者他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ物件ヲ藏匿スト思料スルトキハ收入官吏其場所ニ立入り取調ヲ爲スコトヲ得

收入官吏滞納者又ハ他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルハ日出ヨリ日没マテノ時間ニ限ルヘシ

第二十一條 收入官吏滞納者ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルトキハ滞納者若クハ其同居家族他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルトキハ其所用者若クハ其同居家族ヲシテ立會ハシムヘシ

滞納者又ハ所用者及其同居家族トモ不在ナルトキハ隣佑一名以上又ハ市町村若クハ警察ノ吏員ヲシテ立會ハシムヘシ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備置金納納者處分 租稅徵收及間接稅納納者處分 和蘭法

第二十二條 收入官吏ハ財産差押ヲ爲スニ當リ門戸倉庫房室及篋匣等ノ閉鎖シアルトキハ之ヲ開カシメ又ハ自ラ之ヲ開クコトヲ得

第二十三條 收入官吏財産差押ヲ爲ストキハ差押命令書ヲ携帶シ滞納者若クハ立會人ノ求ニ依リ之ヲ示スヘシ

第二十四條 財産ヲ差押ヘタルトキハ收入官吏其差押證書ヲ作り立會人ト共ニ署名捺印シ其原本ヲ立會人ニ交付スヘシ

第二十五條 通貨及第十三條第一ノ物件ヲ差押ヘタルトキハ封印シテ其地ノ市町村長ニ預ケ第十三條第二以下ノ物件ヲ差押ヘタルトキハ其目錄ヲ添テ其地ノ市町村長ニ之ヲ預ケ其預リ證書ヲ取ルヘシ

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ滞納者又ハ其同居家族ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルコトヲ得

第一 收入官吏ニ於テ必要ト認ムルトキ

第二 運搬ニ困難ナルトキ又ハ多額ノ運搬費ヲ要スルトキ

此場合ニ於テハ封印又ハ其他ノ方法ニ依リ差押物件タルコトヲ明ニスヘシ又必要ナル場合ニ於テハ看守人ヲ置クヘシ

第二十七條 債主權ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ收入官吏ヨリ負債者ニ對シ差押ノ通知ヲ爲スヘシ

負債者前項ノ通知ヲ受ケタル後滞納者ニ對シ其義務ヲ履行シタルトキハ其履行ノ効ナキモノトス

第二十八條 不動産及船舶ヲ差押ヘタルトキハ收入官吏ハ所轄登記所ニ照會シテ差押ノ記入ヲ受クヘシ

第二十九條 質入書入ト爲シタル財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ收入官吏ハ差押物件、處分費、税金額及賣却執行ノ期日ヲ其債主ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ當リ其債主ニ於テ處分費税金ヲ完納シタルトキハ其差押ヲ解クヘシ

第三章 賣却

第三十條 財産差押ノ手續ヲ終リタルトキハ收入官吏ハ其翌日ヨリ三日以後五日以内ニ賣却公告ノ手續ヲ爲スヘシ

賣却ノ公告ハ左ノ場所ニ揭示シテ三日以上之ヲ爲スヘシ

第一 課稅地ノ郡市役所及區役所若クハ町村役場ノ揭示場

第二 物件所在ノ場所

賣却物件ノ價多額ナルカ又ハ滞納者ノ請求アルカ又ハ收入官吏必要ト認ムル場合ニ於テハ前項ニ掲グル場所ノ外近傍人民群集地ニ揭示シ又ハ其地方ノ新聞紙ニ其要件ヲ公告スルコトアルヘシ

第三十一條 差押物件ハ入札若クハ競賣ノ方法ヲ以テ之ヲ公賣スルモノトス但法律規則ニ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滞納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 租稅法

依り取扱ニ制限アル物件ハ此限ニ在ラス
前項但書ノ物件及豫定總價格一圓未満ノ差押物件ハ公賣ニ付セス評價ヲ以テ之ヲ賣却ス
ルコトヲ得

第三十二條 差押物件ヲ賣却セントスルトキハ收入官吏ニ於テ其物件ノ價格ヲ豫定シ之ヲ
封書トシ入札若クハ競賣ノ場所ニ置クヘシ

第三十三條 賣却ハ差押物件所在ノ市町村内ニ於テ之ヲ爲スヘシ但收入官吏ニ於テ必要ナ
リト認ムルトキハ他ノ地ニ於テ之ヲ賣却スルコトヲ得

第三十四條 滞納者及賣却ヲ爲ス地方ノ稅務ニ關スル官吏雇員ハ直接ト間接トヲ問ハス其
賣却物件ヲ買受ルコトヲ得ス

第三十五條 第十三條第一第二第三ノ物件ハ公告ノ日ヨリ十日以外第四第五第六ノ物件ハ
二十日以外ニ於テ賣却ヲ爲スヘシ

第三十六條 差押物件損取シ易キモノ又ハ多額ノ保存費ヲ要スルモノ又ハ其價額ヲ著シク
減少スルノ恐アルモノナルトキハ前條ノ日限ニ拘ハラヌ之ヲ賣却スルコトヲ得

第三十七條 收獲前ニ差押ヘタル生産物ハ其成熟ノ後之ヲ賣却スヘシ

第三十八條 債主權ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ負債者其義務ヲ認メタル後之ヲ賣却スヘシ
若シ負債者其義務ヲ認メサルトキハ收入官吏ハ其差押ヲ解キ更ニ他ノ物件ヲ差押フルコ
トヲ得

負債者其義務ヲ認メサル場合ニ於テ他ニ差押フヘキ物件ナキトキハ收入官吏ハ裁判所ニ
出訴スルコトヲ得

第三十九條 不動産及船舶ノ公賣ハ入札ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十條 賣却ヲ爲スニ當リ買受人ナキカ又ハ其買受價額カ豫定價格ニ達セサルトキハ
收入官吏ハ其豫定價格ノ幾分ヲ減シテ更ニ豫定價格ヲ定メ再公賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於
テ尚ホ買受人ナキカ又ハ其買受價額尚ホ豫定價格ニ達セサルトキハ其豫定價格ヲ以テ
其物件ヲ政府ニ買上ケ其代金ヲ處分費税金ニ充ツヘシ

第十三條但書ニ依リ差押ヘタル全部ノ物件ヲ政府ニ買上ケタル場合ニ於テ其代金ヲ處分
費税金ニ充テ尚ホ殘餘アルトキハ第四十三條ニ依リテ處分スヘシ

第四十一條 賣却ヲ終リタルトキハ收入官吏ハ賣却調書ヲ製シ買受人ト共ニ署名捺印シテ
其謄本ヲ滞納者ニ交付スヘシ質入書入ノ物件ヲ賣却シタル場合ニ於テハ其債主ニモ其謄
本ヲ交付スヘシ

買受人賣却調書ニ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ記載スヘシ
債主權ヲ賣却シタル場合ニ於テハ負債者ニ買受人ノ住所氏名ヲ通知スヘシ

第四十二條 賣却シタル物件登記ヲ要スルモノナルトキハ收入官吏ハ落札證書及代金完納
ノ證書ヲ買受人ニ交付スヘシ

第四十三條 差押物件ノ賣却代金及差押ヘタル通貨ハ處分費税金ニ充テ尚ホ殘餘アルトキ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滞納者處分
租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

ハ之ヲ滞納者ニ還付スヘシ

賣却シタル物件質入書入ト爲シタルモノナルトキハ其代金ヨリ先ツ處分費税金ヲ控除シ次ニ其負債金額ニ充ルマテテ債主ニ交付シ尙ホ殘餘アレハ之ヲ滞納者ニ還付スヘシ若シ滞納税金ノ納期限ヨリ一箇年前ニ質入書入ト爲シタルモノナルトキハ其代金ヨリ先ツ其負債金額ニ充ルマテテ債主ニ交付シ次ニ處分費税金ヲ控除シ尙ホ殘餘アレハ之ヲ滞納者ニ還付スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ滞納者ニ對シ裁判ノ執行アルトキハ其殘餘金ハ該裁判所ニ送付スヘシ

第四十四條 債主ニ交付スヘキ金額ハ賣却調書ノ謄本及計算書ヲ滞納者ニ交付シタル後五日ヲ經テ之ヲ交付スヘシ若シ五日以内ニ滞納者ヨリ異議ヲ申立ルトキハ其事由ヲ債主ニ通知シ雙方連署ノ書面又ハ確定裁判ノ言渡書ヲ以テ其金額受取方ヲ申出タルトキ之ヲ交付スヘシ

第四章 送達

第四十五條 滞納處分ニ關シ滞納者又ハ其債主若クハ負債者ニ對シ書類ヲ送達スルニハ使丁ヲシテ之ヲ送達セシムヘシ但送達ヲ受クヘキ者遠隔ノ地ニ在ル場合ニ於テハ書留郵便ヲ以テ送達スルコトヲ得

第四十六條 使丁ハ送達書類ヲ本人ニ渡スヘシ本人不在ナルトキハ同居人ニ渡スヘシ

使丁ハ送達書類ヲ受取リタル者ヨリ領收書ヲ取リテ收入官吏ニ差出スヘシ若シ受取人領收書ヲ記スルコト能ハサルトキハ使丁代テ之ヲ記シ其旨ヲ附記シテ捺印セシムヘシ

第四十七條 送達ヲ爲スニ當リ本人不在ニシテ且本人ニ代リテ受取ルヘキ者アラザルトキハ送達書類ヲ其地ノ市町村長ニ渡シ市町村長ハ其書類ヲ受取人ニ渡シ其領收書ヲ取リテ收入官吏ニ差出スヘシ

第四十八條 市町村長ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スモ書類ヲ受取人ニ渡スコト能ハサルトキハ公示スヘシ

公示ハ送達スヘキ書類ノ要旨ヲ摘記シテ之ヲ其本人所在地ノ市役所若クハ區役所若クハ町村役場ノ揭示場ニ三日間揭示スルモノトス

前項ノ揭示ヲ爲シタル日ヨリ五日ヲ經過スルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做スヘシ

第四十九條 郵便ヲ以テ書類ヲ送達スルニ當リ受取人ノ住居不分明ニシテ配達スルコト能ハサルトキハ收入官吏ハ其書類ヲ市町村長ニ送致シ市町村長ハ前二條ニ依リ處分スヘシ

第五章 罰則

第五十條 正當ノ理由ナクシテ第二十一條第一項ノ立會ニ應セサル者ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十一條 滞納處分ニ對シ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ契約ヲ爲シタル者ハ一月以上二

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關註

年以下ノ重禁錮ニ處ス

差押物件ノ保管者其保管ニ係ル物件ヲ藏匿脱漏費消若クハ故意ニ毀損シタル者モ亦同シ
情ヲ知テ前二項ノ所爲ヲ幫助シ又ハ虚偽ノ契約ヲ承諾シタル者ハ各本刑ニ一等ヲ減ス

附則

第五十二條 市町村制ヲ施行セサル土地ニ在テハ市町村長ノ職務ハ區戸長之ヲ行フヘシ
第五十三條 此法律ハ明治二十三年一月一日ヨリ施行ス但沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊
豆七島ハ之ヲ施行セズ

第五十四條 明治十年第七十九號布告及現行法令中此法律ニ抵觸スル條項ハ總テ廢止ス

〔一〕國稅滯納處分法施行細則 明治二十三年一月八日
大藏省令第一號

國稅滯納處分法施行細則左ノ通定ム

國稅滯納處分法施行細則

- 第一條 處分法第二條ノ督促令狀同第十二條ノ差押命令書ハ第一號様式第二號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 處分法第十八條第一第二二掲クル衣服寢具家具厨具食料及薪炭ノ數量ハ普通法ノ例ニ依ルヘシ但其例ナキモ
ノハ人口ヲ量リ生活上必要ト認ムル數量ヲ殘シ置クヘシ
- 第三條 財産差押ノ調書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ
 - 一 滯納者ノ住所氏名
 - 二 動産ハ其名冊種類數量
 - 三 不動産ハ其位置番號名稱種類段別又ハ坪數及土地賃借ニ記スル地價地租

十二年第七十九號布告八初編第百三十四二掲ク

四 船舶ハ其種類積載定額場及所在ノ場所

五 登記簿ニ登記アル質入書入ノ金額利子及其返還期限登記ノ年月日、債主ノ住所氏名又ハ質入書入ノ登記アラサル
コト

六 貸與シタル不動産ニ付テハ借主ノ住所氏名其契約ノ要項返戻期限アレハ其期限及賃金
七 差押ノ事由及手續

第四條 債主權差押ノ通知書ニハ左ノ諸件ヲ記載シ收入官吏署名捺印スヘシ

- 一 差押ヘタル債主權ノ種類、金額
- 二 差押ノ事由
- 三 滯納者ニ對シテ義務ノ履行ヲ爲スモ無効タルヘキ旨
- 四 此通知書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ其義務ヲ認ムルカ又ハ認めサル旨ヲ申出ツヘキ旨

第五條 財産賣却ノ公告文ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

- 一 滯納者ノ住所氏名
- 二 動産ハ其名冊種類數量
- 三 不動産ハ其位置番號名稱種類段別又ハ坪數及土地賃借ニ記スル地價地租
- 四 船舶ハ其種類積載定額場及所在ノ場所
- 五 競賣若クハ入札ノ場所日限
- 六 開札ノ場所日時
- 七 保證金ヲ徵スルトキハ其金額
- 八 代金納付ノ期限
- 九 條件附ノ不動産ナレハ其條件

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備稅儲蓄金滯納者處分
租稅監査及前掲租稅違犯者處分 稅關法

十 其他隨時主任官吏ニ於テ定メタル公賣手續上ノ要件

第六條 競賣ヲ以テ賣却ヲ爲ストキハ收入官吏競賣人ヲ命シテ之ヲ取扱ハシメ自カラ之ヲ監督スヘシ

第七條 賣却物件ノ買受人代金納付ノ期限内ニ代金ヲ完納セサルトキハ其物件ヲ交付セス更ニ賣却ヲ爲スヘシ此場合ニ於テ保證金アルモノハ之ヲ還付セス其金額ハ處分費税金ニ補充スヘシ

第八條 財產賣却調書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

- 一 動産ハ其名種類數量
- 二 不動産ハ其位置番號名稱種類段別坪數及土地賃報ニ記スル地價地租
- 三 船舶ハ其種類積量定艙場及所在ノ場所
- 四 公告及賣却ヲ爲シタル方法
- 五 競賣ヲ爲シ又ハ入札ヲ開キタル場所日時
- 六 三番札マテノ入札代價並其入札人ノ住所氏名
- 七 再公賣ヲ爲シタルトキハ其事由
- 八 保證金ヲ徴シタルコト及其金額
- 九 落札代價及落札人ノ住所氏名
- 十 代金納付ノ日限

第九條 處分法第四十條ニ依リ賣却物件ヲ政府ニ買上ルトキハ收入官吏該代金ヲ地方長官ニ請求シ之ヲ支辨シ該物件ハ主管ノ官吏ニ引渡スヘシ

第十條 滯納處分濟ノ上國庫ノ損失ニ歸シタルトキハ處分濟ノ日ヨリ十日以内ニ收入官吏ヨリ事由ヲ具シ其缺損額ヲ地方長官ニ稟申スヘシ

第十一條 處分法第十一條ニ依リ滯納處分ノ囑託ヲ受ケタル收入官吏ハ其處分ニ由リテ徵收シタル金額ノ内處分費ヲ扣除シ其殘金及諸書類ヲ囑託收入官吏ニ送付スヘシ若シ滯納者又ハ債主ニ交付スヘキ金額アリテ其者委託收入官吏ノ管轄地内ニ在ルトキハ受託收入官吏ニ於テ其金額交付ノ手續ヲナスヘシ

第十二條 處分法第四十三條ニ依リ殘餘金ヲ滯納者ニ還付シ又ハ負債金額ヲ債主ニ交付スルトキハ左ノ諸件ヲ記載シタル計算書ヲ添付スヘシ

- 一 物件賣却代金
- 二 保證金ヲ還付セサルトキハ其金額
- 三 處分費各費目ノ金額及税金
- 四 債主ニ交付スヘキ金額及債主ノ氏名
- 五 滯納者ニ還付スヘキ金額

第十三條 處分法第四十五條ニ依リ使丁ヲ以テ書類ヲ送達スルトキハ第三號様式ノ送達書ヲ添付スヘシ

第十四條 處分法第四十八條ニ依リ市町村長ニ於テ送達書類ノ公示ヲ爲シタルトキハ直チニ其公示ノ日時ヲ收入官吏ニ通知スヘシ

第十五條 督促令狀ヲ受タル後チ滯納者又ハ第三者ニ於テ滯納處分費及税金ヲ完納スルトキハ滯納處分費ハ第四號様式税金ハ第五號様式ノ納付書ニ督促令狀ヲ添付シ之ヲ金庫ニ排込ムヘシ

第十六條 賣却物件ノ買受代金ハ買受人ニ於テ第六號様式ノ納付書ヲ添へ之ヲ收入官吏ニ納付スヘシ

第一號様式 用紙寸法適宜 (印章ハ紫モ朱)

| | | | | | | | |
|---|----|---|----|----|-----|---|------------|
| 督 | 第 | 何 | 號 | 經常 | 租 | 稅 | (滯納者住所) 氏名 |
| | 明治 | 何 | 年度 | 何 | (項) | 何 | |
| | | | | | | | 明治何年何期何分 |

収入官印

状令

一金何程
一金三錢

滞納税金
督促令状手数料

右金額此令状ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ當出張所へ上納スヘシ若シ其期限ヲ過クルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ

明治何年何月何日

何府收税部何出張所收入官吏
氏名印

第二號様式

用紙寸法適宜

差押命令書

府縣廳
割印

滞納者住所
氏名

右何税何年何月何日限納期ノ分金何程滞納
ニ付國稅滞納處分法ニ據リ本人所有ノ財産
ヲ差押フヘキ者也

| | | | |
|----------------|----------------|-----------|---------|
| 差押執行シタル 月日時 | 賣却執行シタル 月日時 | 執行ノ 手續 | 右之通取扱候也 |
|----------------|----------------|-----------|---------|

明治何年何月何日

府縣廳
之印

何府知事氏名

明治何年何月何日

何府收税部何出張所收入官吏
氏名印

第三號様式 用紙寸法適宜

送達書

一(送達スヘキ書名)

一冊

一(同)

一通

右使丁ヲ以テ(何縣下何郡何村何番地何
基)送達セシムル者也

明治何年何月何日

收税部出
張所ノ印

| | | | | |
|----------------------------------|--------------|-------------|--------------------------------------|--------|
| 受取人ノ署名 捺印若シ能ハ サルトキハ其 事由 | 送達シタル 月日時 | 送達シタル 場所 | 同居人若クハ 市町村長へ書 類ヲ渡シタル トキハ其事由 | 右致送送候也 |
|----------------------------------|--------------|-------------|--------------------------------------|--------|

| | | | |
|---|--|--|--|
| 何府收稅部何出張所 收入官吏氏名印 | | 使丁氏名印 | |
| 割印 | | 送 速 書 | |
| (一)送達スヘキ書名) 一冊 (一)同) 一通 右使丁ヲ以テ(何府)下何郡何町何番地何 某へ送達セシムル者也 明治何年何月何日 收稅部出 張所ノ印 | | 受取人ノ署名 捺印若シ能ハ サルトキハ其 事由 送達シタル 月日時 送達シタル 場所 同居人若クハ 市町村長ヘ書 類ヲ渡シタル トキハ其事由 右致送候也 | |

納 付 書

| | | | |
|--|--|------------------------------------|--|
| 何府收稅部何出張所 收入官吏氏名印 | | 使丁氏名印 | |
| 割印 | | 金庫 | |
| 第四號様式 用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚 縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノニ枚 横二寸ノモノ一枚 接續 第一何 號 經 常 雜 收入 明治何年度 雜 入 滯 納 處 分 費 住所氏名 | | 一金何程 右納付候也 明治何年何月何日 住所氏名印 | |

國稅徵收 租稅及備持備蓄金滯納者處分 租稅監査及開接稅違犯者處分 稅關法

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分
租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

領 書 付 納

第五號様式 用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 縱四寸五分ノモノ一枚 接續

| | | | | | |
|-----------------------|----------|-------------|-------------|---------------|---------------|
| 收入官 更檢印 | 金庫 割印 | 第何號 經常租稅 | 第何號 經常租稅 | 住所氏名 | 住所氏名 |
| 明治何年何月何日 督促令狀第何號ノ分 | | (項) 何々 | (目) 何々 | 第明治何年 何期何分 | 第明治何年 何期何分 |
| 一金何程 | | 一金何程 | | 住所氏名印 | |
| 右納付候也 | | | | | |

領 書 收 額

| | | | | | |
|-----------------------|----------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 收入官 更檢印 | 金庫 割印 | 第何號 經常雜收入 | 第何號 經常雜收入 | 住所氏名 | 住所氏名 |
| 明治何年何月何日 督促令狀第何號ノ分 | | (項) 何々 | (目) 何々 | 第明治何年 何期何分 | 第明治何年 何期何分 |
| 一金何程 | | 入滯納處分費 | | 住所氏名印 | |
| 右領收候也 | | | | | |
| 明治何年何月何日何地金庫へ納付 | | | | | |

| | | | |
|-----------------|-------|-------------|--|
| 收 | | 右領收候也 | |
| 明治何年何月何日 | | 何地金庫印 | |
| 金庫 割印 | | 收入官 吏檢印 | |
| 第何號 | 經常租稅 | 住所氏名 | |
| 明治何年度何々 | (項)何々 | (目)明治何年何月何日 | |
| 督促令狀第何號ノ券 | | | |
| 一金何程 | | | |
| 明治何年何月何日何地金庫へ納付 | | | |
| 收入官 吏檢印 | | | |
| 第六號様式 用紙寸法適正 | | | |
| 納 | | 物件買受代金 | |
| 一金何程 | | 証 | |

| | | | |
|---|--|-------|--|
| 付 | | 内 | |
| 金何程 | | 何何何 | |
| 金何程 | | 々々々 | |
| 右納付候也 | | 住所氏名印 | |
| 明治何年何月何日 | | | |
| <p>〔一〕 國稅滯納處分法施行細則第四號第五號様式納付書中記入方 明治二十三年二月十七日 大藏省訓令第七號北海道廳府縣(沖繩縣)除ク)</p> <p>本年大藏省令第一號國稅滯納處分法施行細則第四號第五號様式納付書ノ儀二十三年度以降ハ本年大藏省令第三號國稅徵收法施行細則第四號様式ニ準シ年度科目ノ次行へ收入官吏官氏名取扱稅部何地出張所ノ文字ヲ記入セシムヘシ</p> <p>〔二〕 國稅滯納處分法第八條中第二項乃至第七項ニ係ル諸費支出方 明治二十三年一月二十四日 大藏省訓令第二號府縣(沖繩縣)除ク)</p> <p>國稅滯納處分法第八條中第二項乃至第七項ニ係ル諸費ハ内國稅徵收費當該各科目ヨリ支出スヘシ</p> <p>〔三〕 諸營業稅及船稅車稅ヲ納ムル者ニシテ逃亡若クハ失踪シ納期限ヲ過キ滯納處分ヲ了シタル者取扱方 明治二十三年三月十八日 大藏省訓令第三十七號北海道廳府縣(沖繩縣)除ク)</p> <p>國稅中諸營業稅及船稅車稅ヲ納ムル者ニシテ逃亡若クハ失踪シ納期限ヲ過キ滯納處分ヲ了シタル者次ノ納期ニ至リ徵稅ノ手續ヲナスノ際尙ホ其所在ヲ知ル能ハサルトキハ廢業又ハ物件紛失ノ取扱ニ準シ國稅徵收ヨリ之ヲ除去スヘシ</p> <p>〔四〕 滯納報告以後督促令狀發付以前滯納稅金上納ノ者納付方 明治二十三年三月二十二日 大藏省訓令第四十三號北海道廳府縣(沖繩縣)除ク)</p> | | | |

第十一類 第二章 國稅徵收 租稅及備置金滯納者處分 租稅監査及開釋稅逃犯者處分 稅關法

市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニシテ納稅期限ヲ過キ市町村長ヨリ滯納報告以後督促令狀發付以前ニ於テ該滯納稅金ヲ上納セントスル者アルトキハ甲號様式ノ納付書ヘシ號ノ如ク收入官吏ニ於テ裏書ヲ爲シ稅金ハ本人ヲシテ直ニ金庫ヘ納付セシメ其領收證ノ檢印及ヒ別符ノ切離ヲ請ハシムヘシ

甲號 用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚 縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 横二寸ノモノ一枚 接續

納 付 書

| | | | | |
|--------------|------|----|--------|----------|
| 第何號 | 經常租稅 | 住所 | 氏名 | |
| 明治何年度 | 項 | 目 | 第何期何分年 | |
| 收入官吏官氏名披 | | | | 收稅部何地出張所 |
| 一金何程 | | | | |
| 右納付候也 | | | | |
| 明治何年何月何日 | | | | 住所氏名印 |
| (金庫 割印) | | | | |
| 第何號 | 經常租稅 | 住所 | 氏名 | |
| 明治何年度 | 項 | 目 | 第何期何分年 | |
| 收入官吏官氏名披 | | | | 收稅部何地出張所 |
| 一金何程 | | | | |
| 右領收候也 | | | | |
| 明治何年何月何日 | | | | 何地金庫印 |
| (收入官 收稅部 割印) | | | | |

收 書

| | | | | |
|--------------|------|----|--------|----------|
| 第何號 | 經常租稅 | 住所 | 氏名 | |
| 明治何年度 | 項 | 目 | 第何期何分年 | |
| 收入官吏官氏名披 | | | | 收稅部何地出張所 |
| 一金何程 | | | | |
| 右領收候也 | | | | |
| 明治何年何月何日 | | | | 何地金庫印 |
| (收入官 收稅部 割印) | | | | |

裏 面

收稅部何地出張所

收入官吏官氏名承認

(檢印)

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備前金滯納者處分 租稅違犯者處分 租關法

〔六〕國稅滯納處分實況報告及處分費報告表ヲ廢シ國稅徵收法施行細則報告書へ記入方

四年四月一日
大藏省訓令第三十號(府縣沖繩ヲ除ク)

明治二十三年二月訓令第八號國稅滯納處分施行實況報告表及處分費報告表來ル二十四年度以降相續候條爾後滯納處分ヲ爲シタルモノハ同年大藏省令第三號國稅徵收法施行細則第二十條ノ報告書(左ノ書式ノ如ク備考ノ一欄ヲ設ケ其事由ヲ揭ケ其缺損ニ屬セシモノハ金員ノ次へ一區ヲ畫シテ人員ヲ記入スヘシ
但隨時納期ヲ定ムル國稅ニシテ滯納處分ヲ施行セシモノアルトキハ毎半年度分取額メ本表ニ倣ヒ報告書ヲ調製シ十一月ノ兩度ニ送付スヘシ

〔七〕二十一年度以前戸長ニ對シ徵稅令書ヲ發セシ國稅ノ未納稅ヲ上納セントスルトキノ手續第百十ノ八

● 同指令

● 國稅滯納處分法施行細則第四號樣式ノ件問合回答 明治二十三年三月十三日 德島縣問合

本年二月二十七日第七二二號ヲ以テ國稅滯納處分費納入科目改正ノ儀大藏大臣ヨリ送相成リタル處右ハ本年一月大藏省令第一號國稅滯納處分法施行細則第十五條ニ據ルハ處分費ハ滯納者又ハ三者ニ於テ第四號樣式ノ納付書ヲ以テ金庫ヘ納付スルモノニシテ第四號樣式ニハ其納入科目款項目ヲ明記シアルヲ以テ納入ヘ之カ科目更正ノ事ヲ示スモ省令ニテ定メラレタル科目ナルヲ以テ容易ニ之ヲ承諾セサルノミナラス金庫ヘ納付濟ノ後領收證收入官ヘ呈出シ來リ取扱上差支之アリ右ハ該書式科目モ追テ改正相成ルヘキ儀ナルヤ且ツ省令科目改正相成ラサル儀ナラハ本文ノ場合ニ於テハ如何ナル順序ヲ以テ取扱然ルヘキヤ
大藏省主稅局長回答 明治二十三年三月十九日

本年二月二十七日第七二二號當省送ノ趣旨ニ依リ該樣式中雜入、滯納處分費トアルヲ辨價金、國稅滯納處分費辨納金ト更正記入方其縣ニ於テ令達相成リ然ルヘシ

● 國稅過課納金還付期限ノ件同指令 明治二十三年五月十五日 長野縣問合

國稅徵收期滿免除期限ノ儀ハ明治二十二年法律第九號國稅徵收法第十七條ニ明文アル處國稅過課納金ノ儀ハ別ニ據ルヘキ期限ハ判然致サ、ルモ右ハ同年法律第四號會計法第十八條ニ據リ滿五箇年ヲ以テ期滿免除ノ期限ト心得然ルヘキヤ

前項果シテ滿五箇年ヲ以テ期限トセハ其計算方ハ過課納金ニ係リタル翌日ヨリ起算スヘキ儀ト心得然ルヘキヤ
大藏省指令 明治二十三年五月二十一日

● 第一項八同ノ通

第二項ハ過課納ト爲リタル年度ノ翌年度初ヨリ起算スル儀ト心得ヘシト指令セリ

● 納稅義務ヲ果サス失踪セシ者ニ關スル取扱方同指令 明治二十三年四月十六日 愛媛縣問合

諸營業稅及ヒ船車稅納人失踪ニ係ル當該除去方ニ就キ客月十八日第三十七號御省訓令ノ次第有之候處右除去ノ後本人歸籍又ハ物件所在判明シタル場合ニ於テ當該除去ノ當時ヨリ依然其業ヲ營ミ又ハ物件ヲ所持シ居タル事實アルトキハ假令ヒ一旦廢業若クハ紛失ニ準シ取扱ヒタルモノト雖モ無礙札又ハ無檢印ヲ以テ處分スヘカラサルハ勿論ニ付蓋般ニハ除去ノ日ニ溯リ復記シ徵收法第十七條ニ該當セサル限リハ其脫漏稅金ヲ一時ニ追徵スヘキヤ
前項三同シク失踪者ニシテ從來未納ノ儘據置キタル分今般滯納處分法ニ據リ悉皆結了候處其以前失踪後滿三箇年經過セシ者ハ一旦官指トシ其後ノ賦課額ヲ扣除シ他日本人歸籍又ハ物件所在判明ノ上官指ヲ取消シ扣除セシ分ヲモ追徵スヘキ旨御指令相成タル分有之右歸籍等ノ場合ニ於テ數年間ノ未納稅金ヲモ一時追徵スルモノトセハ前陳處分結了ノ者三對シ不權衡ノ感有之候就テハ該御指令ハ滯納處分法施行ノ日ヨリ自然消滅セシモノトシ前項ニ準シ當該面ヲ除去若クハ復記シ及ヒ其脫漏稅金ヲ追徵スト雖モ其官指トシテ取扱ヒタル未納稅金ハ追徵スルニ及ハサル儀ト心得可然乎
大藏省指令 明治二十三年四月二十六日

左ノ通心得ヘシ

第二項 賦課洩發見ノ例ニ依リ取扱ヲ要ス

第二項 一日官報トシ整理セシモノト雖モ本人歸籍ノ上ハ之ヲ追徴ス

第一百十三

地方税及備荒儲蓄金滞納者處分法

明治二十二年十二月三十日公布
法律第三十三號

朕地方税及備荒儲蓄金滞納者處分ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年十二月二十八日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
内務大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

法律第三十三號

地方税及備荒儲蓄金ヲ滞納スル者ハ國稅滞納處分法ニ依リ之ヲ徵收スヘシ但備荒儲蓄金ヨリ給與補助若クハ貸與ヲ受ル者ハ備荒儲蓄金ヲ免除スヘシ
明治二十二年十一月第五十號布告ハ廢止ス

第一百十四 諸稅監査

〔一〕諸稅監査員提携印章廢止
明治二十二年六月十八日
大藏省告示第五十二號

廿二年大藏省令第七號ヲ以テ備荒儲蓄金取扱順序ハ廿二年度限リ廢止ス
第十三號第五十號布告ハ初編揭ク
第十六號第四十三號布告(初編)第五(五)號

諸稅監査員提携印章ヲ廢ス

第一百十五

間接國稅犯則者處分法
明治二十三年九月二十二日公布
法律第八十六號

朕間接國稅犯則者處分法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年九月二十日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
司法大臣伯爵山田顯義

法律第八十六號

間接國稅犯則者處分法

第一章 犯則事件取調

第一條 間稅官吏間接國稅ニ關スル犯則者アルコトヲ認知シ若ハ思料シタルトキハ其家宅倉庫其他ノ場所ニ立入り證憑集取ヲ爲スコトヲ得

犯則者他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ犯則ニ係ル物件ヲ藏匿スト思料スルトキハ間稅官吏其場所ニ立入り證憑集取ヲ爲スコトヲ得

間稅官吏證憑集取ヲ爲ストキハ間稅官吏タルノ證票ヲ携帶スヘシ

第二條 前條ノ場合ニ於テ犯則者若ハ犯則ニ係ル物件其間稅官署ノ管轄區域外ニ在ルトキ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滞納者處分 租稅監査及間接國稅犯則者處分 和蘭法

ハ其地ノ間稅官署ニ證憑集取ヲ囑托スルコトヲ得
第三條 間稅官吏ハ犯則事件ノ搜查ニ關シ必要ナリト認ムルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第四條 間稅官吏證憑集取ヲ爲ストキハ本人若ハ其同居ノ親族又ハ傭人ヲシテ立會ハシムヘシ本人及同居ノ親族傭人俱ニ其家ニ在ラサルトキハ警察官吏又ハ市町村吏員若ハ鄰佑二名以上ヲ立會ハシムヘシ

第五條 間稅官吏家宅搜索及物件差押ヲ爲スハ日出ヨリ日没マテノ間ニ限ルヘシ但現行犯ノ場合又ハ店舗ヲ公開シ商品ヲ店頭ニ展列シタル時間ニ於テハ此限ニアラス

第六條 間稅官吏臨檢ヲ爲スニ際シ犯則者及證人ノ陳述ヲ聽クコトヲ必要トスルトキハ之ヲ尋問スルコトヲ得

第七條 間稅官吏證憑集取ノ處分ヲ爲スニ由リ犯則物件ヲ發見シタルトキハ之ヲ差押ヘテ封印若ハ認印ヲ爲シ差押目錄ヲ作り市町村吏員又ハ鄰佑若ハ本人ニ之ヲ預ケ其預リ證ヲ徵スヘシ若シ之ヲ間稅署若ハ間稅分署ニ送致シタルトキハ其領收證ヲ取置クヘシ
差押物件ヲ市町村吏員若ハ鄰佑ニ預ケ又ハ間稅署若ハ間稅分署ニ送致シタルトキハ其差押目錄ノ謄本ヲ本人ニ交付スヘシ

第八條 間稅官吏ハ前數條ニ記載シタル處分中何人ニ限ラス其場所ニ出入スルコトヲ禁スルヲ得

第九條 間稅官吏證憑集取ノ處分ヲ爲シタルトキハ自ラ其調書ヲ作り之ヲ本人ニ讀聞カセ本人ト共ニ署名捺印スヘシ本人署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其旨ヲ附記スヘシ
調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 本人ノ氏名年齢身分職業住所
- 二 犯則事件發見ノ手續及日時場所
- 三 事實ノ尋問ヲ爲シタルトキハ其尋問及陳述
- 四 差押ヘタル證據物件及種類數量並ニ本人ノ物件ニ對スル辯解

第二章 犯則者ノ處分

第十條 間稅官吏犯則事件ノ取調ヲ終リタルトキハ處分請求書ヲ作り一切ノ書類物件ト俱ニ之ヲ管轄間稅署長又ハ分署長ニ差出スヘシ

第十一條 間稅署長又ハ分署長ハ犯則事件ノ調書及其他ノ書類ヲ調査シ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其犯則ト認ムル理由ヲ明示シ罰金ニ該ル者ハ其罰金ニ相當スル金額沒收ニ該ル者ハ沒收スヘキ物品並ニ第十六條ノ費用ヲ其署ニ納付スヘキ通告書ヲ作り之ヲ本人ニ送達スヘシ

前項ノ處分ハ罰金及沒收品ノ價額合計三十圓ヲ超エサルトキニ限り間稅分署長之ヲ爲シ其他ハ間稅署長之ヲ爲スモノトス

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒備蓄金納者處分 租稅監査及間稅署犯者處分 稅關法

第十二條 犯則者前條ノ通告書ヲ受ケ通告ノ旨ヲ承諾スルトキハ七日内ニ履行スヘシ此期限ヲ過キ履行セサル者ハ間稅署長若ハ分署長ヨリ管轄裁判所ニ告發スヘシ

第十三條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同事件ニ付刑事又ハ民事ノ訴ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 間稅官吏犯則事件ヲ覺知シタル場合ニ於テ本人ノ住所分明ナラス若ハ犯則事件禁錮又ハ拘留ニ該ルモノト認ムルトキ又罰金若ハ税金ヲ完納スルノ資力ナキ者ト認ムルトキハ該事件ヲ管轄裁判所ニ告發スヘシ

犯則者犯則物件ヲ遺留シテ逃走シタルトキハ間稅官吏其物件ヲ差押ヘテ調書ヲ作り告發ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 間稅官吏ハ左ノ場合ニ於テハ犯則者ヲ管轄裁判所ニ引致シ其事件ヲ告發スヘシ
一 犯則者逃走ノ恐アルトキ
二 證據埋滅ノ恐アルトキ

第三章 雜則

第十六條 書類送達費及差押物件ニシテ本人ニ還付スヘキモノ、運搬保管若ハ保存ニ要スル費用ハ犯則者之ヲ負擔スヘシ

第十七條 間稅署長若ハ間稅分署長ハ差押物件腐敗其他損失ノ虞アルトキハ本人ノ承諾ヲ得テ之ヲ公賣シ其代金ヲ供托スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其差押物件還付ノ申渡ヲ爲シタルトキハ其代金ヲ還付スヘシ

第十八條 此法律ニ於テ間稅官吏トハ間接國稅ノ検査若ハ徵收ニ從事スル官吏ヲ謂フ
第十九條 間接官吏ハ直接ト間接トヲ問ハス沒收物件又ハ差押物件ヲ買受クルコトヲ得ス
第二十條 此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行ス但北海道沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ニハ當分ニテ施行セス

〔一〕間接國稅犯則者處分法施行細則 明治二十三年十一月十日
大藏省令第三十一號

間接國稅犯則者處分法施行細則

第一條 間接國稅犯則者ノ處分ハ其犯則發覺ノ地ノ間稅署ニ於テ之ヲ爲スヘシ但犯則ノ地ト犯則發覺ノ地ト其管轄官署ヲ異ニシ犯則ノ地ニ於テ處分スルヲ便宜ナリト爲ストキハ之ヲ犯則ノ地ヲ管轄スル間稅署又ハ分署ニ移スヘシ

第二條 數箇ノ間稅署ノ管轄區域内ニ於テ同一ノ犯則ヲ爲シタルモノアルトキハ最初ニ之ヲ發覺シタル地ノ間稅署ニ於テ之ヲ處分スヘシ

第三條 一稅則ニ付數罪俱發シタル場合ニ於テ其數罪中ノ一箇ノ罪若シ間稅署ノ處分權限ニ屬スルトキハ其他ノ罪モ間稅署ニ於テ併セテ之ヲ處分スヘシ

第四條 間稅官吏犯則事件ノ證據取ヲ爲スニ際シ若クハ間稅署長又ハ分署長ニ於テ犯則事件ヲ調査スルニ當リ其事件ニ牽連スル他ノ普通犯罪ヲ發覺シタルトキハ其普通犯罪ハ管轄裁判所ニ告發シ其犯則事件ハ刑法第一編第七章ノ數罪俱發ノ例ヲ用ユルモノヲ除ク外處分法ノ定ムル所ニ從ヒ處分ヲ爲スヘシ

第五條 處分法第十一條第二項ノ合計價額ハ法律ニ於テ罰金ノ額ヲ一定セサルモノハ其罰金ノ最多額ヲ以テ之ヲ算シ沒收品ノ價額ハ間稅官吏ノ見積リ價額ヲ以テ之ヲ算スヘシ

第六條 間稅官吏ハ處分請求書ヲ提出シタル後ト雖モ若シ事實參考トナルヘキ事柄ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ間稅

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及稅務儲蓄金滯納者處分
租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

署長又ハ分署長ニ差出スヘシ

第七條 關稅官吏ハ犯則物件ニ付鑑定人ヲ必要ナリト思料シタルトキハ相當ノ者ヲシテ鑑定ヲ爲サシメ其鑑定書ヲ徵スヘシ

第八條 關稅官吏犯則事件ノ捜査ニ著手シタルトキハ該事件罪トナラス若クハ證據不充分ナリト思料シ處分請求ヲ爲サ
ル場合ト雖モ其取調書類ニ意見ヲ附シ直チニ之ヲ關稅分署長ニ差出スヘシ

第九條 犯則處分ニ關シ關稅官吏ヨリ關稅署長ニ差出スヘキ書類ハ所屬分署長ヲ經由スヘシ

第十條 關稅署長又ハ分署長ハ處分法第十一條ニ據リ犯則事件ヲ調査スルニ當リ事實參考ト爲ルヘキ事物ヲ發見シタル
トキハ關稅官吏ヲシテ之ヲ集取セシムヘシ

第十一條 關稅署長又ハ分署長ハ處分法第十一條ニ據リ犯則事件ヲ調査スルモ犯則ノ心證ヲ得サルトキハ處分請求書ヲ
棄却シ差押物件ハ之ヲ本人ニ還付スヘシ

第十二條 前項ノ場合ニ於テハ處分請求書ヲ棄却シタル旨ノ通告書ヲ作り之ヲ本人ニ送達スヘシ

第十三條 第十一條ニ據リ處分請求書ヲ棄却シタルトキハ處分法第十六條ノ費用ハ之ヲ徵收セサルモノトス

第十四條 同時ニ處分法第十六條ノ費用ヲ該裁判所ニ請求スヘシ

第十五條 處分法第十一條ノ沒收ニ該物品ニシテ市町村吏員又ハ隣佑若クハ本人ニ預ケタルモノハ保管ノ價納付ノ手
續ヲ爲サシムヘシ

第十六條 關稅署長又ハ分署長ニ於テ沒收品ヲ領收シタルトキハ之ヲ主管官吏ニ引續クヘシ

第十七條 處分法第十一條ノ罰金其他ノ收入金ハ會計法規ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第十八條 處分法第十二條ニ據ル七日ノ期限ハ通告書ヲ受取ルヘキ者ニ於テ之ヲ受取リタル翌日ヨリ起算スヘシ

第十九條 關稅署長又ハ分署長ヨリ發スル通告書ハ便宜ニ依リ犯則者所在地ノ分署ニ郵送シ該分署ヨリ使丁ヲ以テ之ヲ
本人ニ送達スルコトヲ得但本人ノ領收證ハ即日之ヲ通告書ヲ發シタル關稅官署ニ發送スヘシ

第二十條 關稅署長又ハ分署長ハ犯則者若シ其管轄區域外ニ在ルトキハ處分法第十一條ノ通告ヲ爲スニ當リ其納付スヘ
キ金額物件ヲ犯則者所在地ノ管轄關稅分署ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシ

第二十一條 關稅署長ニ於テ各分署管轄内ニ在ル犯則者ニ通告ヲ爲ス場合モ亦同シ

第二十二條 關稅署長又ハ分署長ハ前條ノ通告ヲ爲シタルトキハ該通告書ノ原本ヲ犯則者所在地ノ關稅分署長ニ送付シ其
金額物件ノ徵收方ヲ同署ニ移スヘシ

第二十三條 前項ノ場合ニ於テ犯則者期限内ニ通告ノ旨ヲ履行セサルトキハ之ヲ通告書ヲ發シタル關稅官署ニ報告スヘシ

第二十四條 處分法第四條ノ親族ト稱スルハ刑法第四百十四條第四百十五條ノ例ニ依ルヘシ

第二十五條 凡ソ犯則處分ニ關スル書類ニハ每葉ニ契印スヘシ若シ文字ヲ挿入削除若クハ欄外ニ記入ヲ爲シタルトキハ
之ニ認印スヘシ但シ削除シタルモノハ其字體ヲ存シ置キ其字數ヲ記載スヘシ

第二十六條 關稅分署長ハ其管轄内ニ於テ處置シタル犯則事件ノ處分表ヲ調製シ毎月五日限管轄關稅署長ニ報告スヘシ

第二十七條 處分法第一條第三項ノ關稅官吏タルノ罪罪同第十一條ノ送達書同第十二條ノ納證施行細則第二十三條ノ犯
則事件處分表ハ第一號ヨリ第四號マテノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第一號様式
用紙厚紙縱二寸横一寸五分

| | |
|---|---|
| 第何號 表 証 票 之 關 稅 署 印 | 關 稅 官 吏 印 割 何 縣 收 稅 屬 何 某 |
|---|---|

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備稅儲蓄金納者處分 租稅監査及關稅犯者處分 稅關法

第二號様式

送達書

一(送達スヘキ書名) 一冊
一(同) 一通

右使丁ヲ以テ(何府)下何郡何村町
何番地何某(送達セシムル者
也

明治何年何月何日

何(何府)何(何郡)何(何村町)何(何番地)何(何某)何(送達セシムル者)何(也)

何府(何郡)何(何村町)何(何番地)何(送達セシムル者)何(也)

官氏名印

受取人ノ署名
捺印シキハ
理由
送達シタル月
日
送達シタル場
所
同居人若クハ
市町村長(書
類ヲ渡シタル
トキハ其事由

右致送達候也

使丁氏名印

割印

送達書

| | | |
|--|----|--------------------------------------|
| 一(送達スヘキ書名) | 一冊 | 受取人ノ署名 捺印シキハ 理由 |
| 一(同) | 一通 | 送達シタル月 日 |
| 右使丁ヲ以テ(何府)下何郡何村町 何番地何某(送達セシムル者 也 | | 送達シタル場 所 |
| 明治何年何月何日 | | 同居人若クハ 市町村長(書 類ヲ渡シタル トキハ其事由 |
| 何府(何郡)何(何村町)何(何番地)何(送達セシムル者)何(也) | | |
| 官氏名印 | | |
| 右致送達候也 | | |
| 使丁氏名印 | | |

第三號様式

納証

一金何程 何々
一金何程 何々費
一何々 若干(目録ノ通)

此ヲ中斷シテ一葉ヲ受取人(渡シ)一葉ヲ開稅署若クハ開稅分署(還納スヘシ)

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備稅金納者處分
租稅監査及開稅稅違犯者處分 稅關法

右ハ私何々税則違犯事件ニ付年月日付通告書ニ對シ納付該シ候也

年 月 日

納人 氏 名 印

第四號様式

何間税(分)署長宛

明治何年何月分犯則者處分表

何間税分署長 官

氏 名 印

| 犯目 | 年 月 日 | 則 | 受理月日 | 罰金 | 没收物 | 追徴金 | 罰金 | 科金 | 裁判所 | 犯則者住所 | 同上人名 |
|-----|-------|---|------|-------|----------|------|----|----|-----|-------|------|
| | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 何拾何圓 | 何百何拾何圓何拾 | 何拾何圓 | | | | | |
| 總件數 | | | | 前月分越高 | 新 | 受 | 既 | 済 | 未 | 済 | |
| 凡例 | | | | | | | | | | | |

一 檢罪者ヨリ直チニ告發シタルトキハ本表受理月日通告月日ノ欄ヨリ罰科金納否ノ欄マテ斜線ヲ施スヘシ

一 受理シタル犯則事件ニシテ罪トナラス若クハ何々ト認メ棄却シタルモノハ本表受理月日通告月日ノ下欄ニ棄却ト記シ以下裁判所へ告發月日ノ欄マテ斜線ヲ施スヘシ

第一百十六 稅關法 明治二十三年九月八日公布
法律第八十號

朕稅關法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

御 名 御 璽

明治二十三年九月六日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

法律第八十號

稅關法

第一條 各開港ニ於テ西洋形船舶外國通航ノ日本形船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關スル事項ハ總テ稅關ノ所管トス

第二條 各開港外ニ於ケル外國貿易取締ニ關スル事項ハ其所管ノ稅關ニ於テ之ヲ處理ス

第三條 船舶ハ法律命令ニ特例ヲ掲ケタル場合ヲ除ク外不開港ヨリ外國ニ向テ出港シ若ハ外國ヨリ不開港ニ入港スルコトヲ得ス犯ス者ハ船長ヲ千圓ノ罰金ニ處ス

外國通航船ハ法律命令ニ特例ヲ掲ケタル場合ノ外開港ヲ經テ不開港ニ入港スルコトヲ得ス犯ス者ハ罰前項ニ同シ

第四條 外國ニ通航セントスル船舶ハ豫メ稅關長ノ認許ヲ受クヘシ其認許ヲ受ケスシテ外

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納納者處分 租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

國ニ向テ出港シタル者ハ船主ヲ千圓ノ罰金ニ處ス其積載シタル貨物ハ之ヲ沒收ス
第五條 納税ヲ遁脱若ハ減少センカ爲メ詐僞ノ文書ヲ税關ニ差出シタル者ハ百二十五圓ノ罰金ニ處ス

第六條 輸入手數未済ノ貨物ヲ積載シタル沿海通航船ヨリ税關規則ニ依リ仕向港税關ニ差出シタル積荷目録仕出港税關ニ差出シタル積荷目録ニ對シ貨物不足アリテ其所爲不正ニ出タルトキハ船長ヲ千圓ノ罰金ニ處ス

第七條 税關規則ニ依リ輸出禁制品ヲ開港間ニ回漕スル者ハ同規則ニ定ムル期限内ニ仕向港税關ノ陸揚證書ヲ仕出港税關ニ差出スヘシ違フ者ハ原價同額ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八條 税關規則ニ依リ貨物ヲ開港間ニ回漕シ其回漕免狀ヲ紛失若ハ遺忘シタル者同規則ニ定ムル期限内ニ其手續ヲ爲サルトキハ其回漕シタル貨物原價百分ノ五ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處ス

第九條 積荷目録ニ記載セサル輸入貨物ヲ陸揚シタル者ハ其貨物輸入税ノ外同額ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十條 輸出禁制品ヲ輸出シタル者又ハ法律命令ニ背キ不開港ニ於テ輸出入貨物ノ積卸ヲ爲シタル者ハ其貨物ヲ沒收ス

税關規則ニ依リ陸揚免狀ヲ受ケスシテ貨物ヲ船卸シ船積免狀若ハ回漕免狀ヲ受ケスシテ船積シ又ハ輸入免狀ヲ受ケスシテ輸入シタル者ハ其貨物ヲ沒收ス

第十一條 輸出入包貨内ニ禁制品ヲ藏匿シ又ハ輸出入申告書若ハ仕入書ニ記載セサル有税品ヲ藏匿シタルトキハ其包貨ヲ併セテ之ヲ沒收ス
旅具中ニ有税品ヲ藏匿シタルトキハ其物品ヲ沒收ス
本條ヲ以テ刑法ノ適用ヲ妨クルコトナシ

第十二條 沒收スヘキ貨物ニシテ既ニ之ヲ賣却シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ追徴ス
第十三條 税關長ハ本法及税關規則執行上必要ト認ムルトキハ船舶ノ出港ヲ止メ又ハ税關監吏ニ令狀ヲ發シ輸出入貨物及運送ノ用ニ供スル物件ヲ差押ヘシムルコトヲ得

第十四條 税關監吏ハ入港ノ船舶ニ乗込ニ要件ヲ尋問シ船内ヲ検査シ又ハ其船舶ニ臨監スルコトヲ得

船長ハ臨監ノ監吏ニ船室ヲ與ヘ相當ノ取扱ヲ爲スヘシ

第十五條 税關監吏ハ密輸入品アルヲ知り若ハ密輸入品アリト思料スルトキハ家屋及其他ノ場所ニ立入り犯則ノ證據搜查ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前條及本條ノ場合ニ於テ税關監吏ハ主任タルノ證票ヲ携帯スヘシ

第十六條 税關長ハ本法及税關規則ヲ犯シタル者ニ對シ其罰金若ハ科料ニ相當スル金額又ハ沒收スヘキ貨物及犯則取調ニ要シタル費用ヲ税關ニ納ムヘキ旨ヲ申渡スコトヲ得

第十七條 前條ノ申渡ヲ受ケタル者ハ税關休日ヲ除キ二日內ニ其申渡ニ服従スルヤ否ノ届書ヲ差出スヘシ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分
租稅監査及間接稅違犯者處分 稅關法

申渡ニ服従スル旨ヲ届出タルトキハ貨物ハ即日金額八十日以内ニ納ムヘシ
申渡ニ服従セサル旨ヲ届出若ハ第一項ノ期限内ニ届出ヲ爲サヌ又ハ金額貨物ヲ納メサル
トキハ税關長ハ其犯則事件ヲ告發スヘシ

第十八條 税關長犯則事件ノ取調ヲ爲ストキハ犯則人及證人關係人ヲ召喚スルコトヲ得
税關長ハ犯則人及證人關係人召喚ニ應セス又ハ證人タルコトヲ拒ミ又ハ事實ノ申告ヲ爲
サハルニ因リ第十六條ノ申渡ヲ爲シ難キトキハ其犯則事件ヲ告發スヘシ

第十九條 税關長ノ處分スル犯則事件取調ノ費用ハ刑事裁判ノ例ニ依テ之ヲ算定ス

第二十條 本法及税關規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第二十一條 本法ニ規定スル所ノ外外國通航船沿海通航船及輸出入貨物並ニ減稅免稅假納
稅ニ關ル事項ハ税關規則ヲ以テ之ヲ規定ス

附則

第二十二條 税關規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治三年正月二十七日布告商船規則中免許ナク外國へ通船ノ儀不相成云々ノ一項及同七年
第百二十三號同八年第二十號同年第百六十三號同九年第百四十九號布告ハ本法施行ノ日ヨ
リ廢止ス

〔一〕税關規則 明治二十三年九月八日公布
勅令第百二十三號

朕税關規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム本規則ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘ
キコトヲ命ヌ

御名 御璽

明治二十三年九月六日

大藏大臣伯爵松方正義

勅令第百二十三號

税關規則

第一章 外國通航船及輸出入貨物

第一條 外國通航船入港シタルトキハ其船長ハ入港ノ時ヨリ四十八時内ニ入港届書及積
荷目録ヲ税關ニ差出ト同時ニ船籍證書船舶登記證書船鑑札及仕出港ノ出港免狀若ハ之
ニ代ルヘキ證書書類ヲ税關ニ預ケ入港手數料十五圓ヲ納ムヘシ但貨物ヲ積卸セスシテ
入港ノ時ヨリ四十八時内ニ出港スル者ハ此手數ヲ爲スニ及ハヌ

第二條 積荷目録ニ遺漏若ハ相違ノ事項アルトキハ入港手數ヲ了リタル時ヨリ二十四時
内ハ税關ノ認許ヲ得之ヲ訂正スルコトヲ得

前項ノ時限ヲ經過シタル後積荷目録ヲ訂正セントスルキハ手數料十五圓ヲ納ムヘシ

第三條 外國通航船出港セントスルトキハ其船長ハ出港ノ時ヨリ二十四時前ニ出港届書
ヲ税關ニ差出シ出港手數料七圓ヲ納メ第一條ニ依リ税關ニ預ケタル船籍證書船舶登記
證書船鑑札及證書書類ヲ受戻シ出港免狀ヲ受クヘシ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納者處分
租稅監査及前條租稅犯者處分 稅關法

第四條 外國通航船出港手數ヲ了リタル後尙ホ貨物ヲ船積シ若ハ陸揚セントスルトキハ更ニ第一條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納メ其出港ノ時モ亦第三條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納ムヘシ但稅關手數既濟ノ貨物ヲ船積シ若ハ陸揚スル者ハ此ノ限ニアラス

第五條 郵船ハ同時ニ入港及出港ノ手數ヲ爲スコトヲ得

第六條 郵船ハ其港ニ陸揚スル貨物ノ外ハ積荷目錄ニ記載スルコトヲ要セス

第七條 郵船ハ出港手數ヲ了リタル後ト雖第四條ノ手數ヲ爲サスシテ貨物ヲ船積シ若ハ陸揚スルコトヲ得

第八條 外國通航船航海中避難ノ爲メ已ムヲ得スシテ入港シタルトキハ入港ノ時ヨリ四十八時内ニ其事由ヲ稅關ニ申出認許ヲ受クヘシ

前項ノ船舶修繕其他已ムヲ得サル事故ニ由リ假ニ其積荷ヲ陸揚シ又ハ損傷ノ貨物ヲ賣拂ヒ若ハ船中必需ノ物品ヲ積入ル場合ニ於テハ入出港手數ヲ爲スヲ要セス其他ノ貨物ヲ陸揚シ船積シ船移シ若ハ假ニ陸揚シタル貨物ヲ賣拂ハントスルトキハ第一條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納メ其出港ノ時モ亦第三條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納ムヘシ

第九條 外國通航船ハ日没ヨリ日出マテノ間及稅關ノ休日ニハ稅關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ貨物ヲ陸揚シ積船シ若ハ船移スルコトヲ得ス

前項ノ日時間ハ船口其他貨物ヲ納ルヘキ場所ハ稅關監吏之ヲ封鎖スヘシ

第十條 外國通航船避難ノ爲メ已ムヲ得スシテ不開港ニ入港シタルトキハ船長ハ其事由

ヲ記シタル書面ヲ其地ノ町村役場若ハ浦役場ニ差出スヘシ若シ船中需用品ヲ積入ル、トキハ別ニ其目錄ヲ差出シ各其證明ヲ受ケ他日開港ニ入港シタルトキ之ヲ稅關ニ差出スヘシ

第十一條 船舶ヲ外國通航船ト爲シ及外國通航船ヲ沿海通航船ト爲サントスルトキハ船主ヨリ稅關ニ申出船中ノ檢査ヲ經免狀ヲ受クヘシ

第十二條 輸出貨物ヲ船積セントスル者ハ其申告書ヲ稅關ニ差出シ現品ノ檢査ヲ經輸出稅目ニ從ヒ納稅シ船積免狀ヲ受クヘシ

第十三條 輸入手數既濟ノ外國產貨物ヲ外國ニ積戻サントスル者ハ輸出稅ヲ納ムルニ及ハス但書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出檢査ヲ經船積免狀ヲ受クヘシ

第十四條 船中ノ需用品ニ付キテハ輸出稅ヲ納ムルニ及ハス但船長ハ前條ノ手數ヲ爲スヘシ

第十五條 輸入貨物ヲ陸揚セントスル者ハ其申告書ニ仕入書ヲ添ヘ之ヲ稅關ニ差出シ陸揚免狀ヲ受ケ其貨物ヲ陸揚シ現品ノ檢査ヲ經輸入稅目ニ從ヒ納稅シ輸入免狀ヲ受ケテ之ヲ引取ヘシ

前項ノ仕入書ハ貨物ノ輸入手數濟ノ上其貨生ニ返付ヘシ

第十六條 內國產ノ貨物ヲ外國ヨリ積戻リ左ノ事項ヲ具備スルトキハ輸入稅ヲ納ムルニ及ハス但前條ノ手數ヲ爲スヘシ

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金納納者處分 租稅監査及陸揚稅違犯者處分 稅關注

一 輸出ノ時ノ性質若ハ形状ヲ變セサルコト
 二 輸出ノ日ヨリ滿五箇年ヲ經過セサルコト
 三 輸出免狀ヲ付スルコト

第十七條 無稅品ヲ除クノ外仕入書ヲ付セサル貨物ハ輸入ヲ許サス但稅關長其仕入書ヲ差出シ能ハサル理由アリト認メ該貨主稅關官吏ノ査定セル數量尺度若ハ價額ニ從ヒ納稅スルモノハ此ノ限ニアラス

第十八條 價ニ從ヒ徵稅スヘキ貨物ニシテ其原價ヲ稅關ニ於テ不相當ト認ムルトキハ稅關鑑定官吏ヲシテ其價ヲ査定セシメ其査定額ニ從ヒ納稅セシムヘシ
 若シ貨主前項ノ査定額ニ從ヒ納稅スルコトヲ欲セサルトキハ該査定額ヲ以テ稅關ニ其貨物ノ買上ヲ請フコトヲ得但第十七條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第十九條 外國通航船貨物ヲ他ノ船舶ニ若ハ他ノ船舶ヨリ積移サントスルトキハ書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出船移免狀ヲ受クヘシ但郵船ニ積載シタル貨物ヲ其會社所屬ノ庫船若ハ貯舟ニ積移スニハ免狀ヲ受クルニ及ハス

第二十條 有稅ノ貨物損傷シタル爲メニ減稅ヲ請ハントスル者ハ現品ノ検査ヲ受クル前其旨ヲ稅關長ニ申出ヘシ稅關長ハ稅關鑑定官吏ヲシテ現品損傷ノ程度ヲ査定セシメ相當ノ減稅ヲ爲スヘシ

第二十一條 外國軍艦ノ備用品ヲ買受クルトキハ賣主ノ證明書ヲ受ケ書面ヲ以テ其旨ヲ

稅關ニ申出相當ノ輸入稅ヲ納ムヘシ

第二十二條 內國產金銀地金ハ政府ニ於テ公賣シタルモノヲ除クノ外ハ輸出スルコトヲ得ス

第二十三條 船客ノ旅具ハ陸揚船積共書面ヲ以テ其旨ヲ申出ルニ及ハス但通關前ニ稅關監吏ノ検査ヲ受クヘシ
 稅關ニ於テ旅具ト認メサルモノハ相當ノ税金ヲ納メシムヘシ

第二十四條 第八條ノ船舶修繕其他已ムヲ得サル事故ニ由リ一時貨物ヲ陸揚スルトキハ之ヲ稅關ニ預クヘシ

前項ノ貨物ヲ陸揚シ及之ヲ本船ニ積戻スニハ輸入出ノ手數ヲ爲スニ及ハス但其貨物ノ保管ニ要スル諸費ハ船長ヨリ之ヲ稅關ニ納ムヘシ

第一項ノ貨物ヲ賣拂ハントスルトキハ第十五條ノ手數ヲ爲シ其税金ヲ納ムヘシ

第二十五條 外國通航船若ハ外國船ヲ以テ貨物ヲ開港間ニ回漕セントスル者ハ書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出現品ノ検査ヲ經回漕免狀ヲ受ケテ之ヲ船積スヘシ

第二十六條 前條ノ貨物若シ有稅內國產ナルトキハ相當ノ税金ヲ假納スルカ若ハ稅關長ノ満足スヘキ證書ヲ差入レ置キ回漕免狀付與ノ日ヨリ滿六箇月以內ニ仕向港稅關ノ陸揚證書ヲ差出シ其假納税金若ハ差入レ置キタル證書ヲ受戻スヘシ

前項ノ期限内ニ仕向港稅關ノ陸揚證書ヲ差出サ、ルニ於テハ輸出シタルモノト看做シ

其税金ヲ納メシムヘシ

第二十七條 第二十五條ノ貨物若シ輸出禁制品ナルトキハ回漕免狀付與ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ仕向港稅關ノ陸揚證書ヲ差出スヘシ

第二十八條 第二十六條及第二十七條ノ貨物ヲ積載シタル船舶航海中破船其他ノ事故ニ由リ貨物ヲ仕向港ニ回漕シ能ハサルトキハ其事由ヲ仕出港稅關ニ届出該船出港ノ日ヨリ滿一箇年以内ニ其證據ヲ舉示シ假納稅若ハ前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スコトヲ得

第二十九條 第二十五條ノ回漕貨物ヲ仕向港ニ於テ陸揚セントスル者ハ書面ヲ以テ其仕向港ノ稅關ニ申出仕出港稅關ヨリ受ケタル回漕免狀ニ陸揚ノ證明ヲ受ケ現品ノ検査ヲ經テ之ヲ引取ヘシ

前項回漕免狀ノ紛失若ハ遺忘ニ因リ之ヲ仕向港稅關ニ差出シ難キトキハ稅關長ノ満足スヘキ證書ヲ差入レ置キ其證書ノ日附ヨリ滿四箇月以内ニ回漕免狀若ハ之ニ代ルヘキ仕出港稅關ノ證明書ヲ差出シ前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スヘシ

第三十條 外國通航船修繕ノ爲メ開港ヨリ不開港ニ回船セントスルトキハ又ハ重量ノ貨物ニシテ開港ニ於テ積卸ヲ爲シ難ク不開港ニ回船セントスルトキハ書面ヲ以テ其旨ヲ申出稅關長ノ特許ヲ受クヘシ

第二章 沿海通航船及輸入手數未濟貨物回漕

第三十一條 沿海通航船入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時内ニ入港届書ヲ稅關ニ差出シ同時ニ船籍證書、船舶登記證書及船鑑札ヲ預クヘシ

第三十二條 沿海通航船出港セントスルトキハ其船長ハ出港ノ時ヨリ四時前ニ出港届書ヲ稅關ニ差出シ船籍證書、船舶登記證書及船鑑札ヲ受戻スヘシ

第三十三條 船籍證書、船舶登記證書ノ受有ヲ要セサル諸船及一定ノ港津間ニ往復スル積量百噸以下ノ西洋形船舶ハ船主ヨリ豫テ稅關ニ届出認許ヲ受クルニ於テハ第三十一條及第三十二條ノ手數ヲ爲スニ及ハス

第三十四條 沿海通航船輸入手數未濟ノ貨物ヲ積載シテ出港セントスルトキハ其船長ハ第三十二條ノ手數ヲ爲スト同時ニ出港積荷目録ニ通テ稅關ニ差出スヘシ

第三十五條 前條ノ船舶仕向港ニ入港シタルトキハ其船長ハ第三十一條ノ手數ヲ爲スト同時ニ入港積荷目録ヲ稅關ニ差出スヘシ

第三十六條 沿海通航船ヲ以テ輸入手數未濟ノ貨物ヲ開港間ニ回漕セントスル者ハ書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出船積免狀ヲ受クヘシ

前項ノ貨物ヲ陸揚セントスル者ハ第十五條ニ又船移セントスル者ハ第十九條ニ據ルヘシ

第三章 罰則

第三十七條 外國通航船第一條ノ時限内ニ入港手數ヲ爲サハルトキハ船長ヲ六十圓ノ罰

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及佈稅儲蓄金納納者處分 租稅監査及回漕稅違犯者處分 稅關法

金ニ處シ尙ホ其手數ヲ爲サ、ルニ於テハ初犯ノ時ヨリ二十四時ヲ過ル毎ニ更ニ同額ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第九條第二項ニ掲クル税關監吏ノ爲シタル封鎖ヲ破却シ若ハ之ヲ取除キタルトキハ船長ヲ六十圓ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第十九條及第三十六條第二項ノ船移免狀ヲ受ケスシテ船移シタル者ハ前條同額ノ罰金ニ處ス

第四十條 外國通航船第八條第一項ノ場合ニ於テ規定ノ時限内ニ入港ノ事由ヲ申出サルトキハ船長ヲ十五圓ノ罰金ニ處ス

第四十一條 外國通航船第十條ノ場合ニ於テ町村役場若ハ浦役場ノ證明ヲ受ケス又ハ證明ヲ受クルト雖之ヲ税關ニ差出サ、ルトキハ船長ヲ十五圓ノ罰金ニ處ス

第四十二條 沿海通航船第三十一條ノ時限内ニ入港ノ手數ヲ爲サス又ハ第三十二條ノ時限前ニ出港ノ手數ヲ爲サ、ルトキハ船長ヲ五圓ノ罰金ニ處ス

第四章 雜則

第四十三條 輸出入貨物ノ類別ニ就キ税關鑑定官吏ノ査定ニ不服アル者ハ其査定ノ日ヨリ十日以内ニ税關長ニ申告シ判定ヲ請フコトヲ得

税關長ノ判定ニ不服アル者ハ判定ノ日ヨリ三十日以内ニ判定書ヲ添ヘ大藏大臣ニ裁定ヲ請フコトヲ得

第四十四條 税關官吏ハ必要ノ場合ニハ輸出入貨物ノ小部分ヲ見本トシテ税關ニ留置クコトヲ得

第四十五條 此ノ規則ニ依リ税關ニ差出スヘキ書面ハ總テ税關一定ノ書式ヲ用ヒ船主、船長若ハ貨主之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條 税關ヨリ交付スル諸免狀ノ謄本其他別段ノ證書ヲ請フ者ハ一通毎ニ一圓五十錢ノ手數料ヲ納ムヘシ

第四十七條 此ノ規則ニ於テ日時ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ其期限内ニ税關ノ休日ヲ算入セヌ又年月ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ休日ヲ算入ス

第四十八條 税關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時マテトス但臨時開廳ヲ請フ者ハ税關長ノ特許ヲ受クヘシ

第四十九條 第九條第一項及第四十八條但書ノ場合ニ於テ特許ヲ請フ者ハ定規ノ手數料ヲ納ムヘシ但其手數料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五十條 此ノ規則ニ於テ船主ト稱スルハ其船ノ所有主若ハ現ニ其船ノ使用權ヲ有スル者ヲ云ヒ船長ト稱スルハ現ニ其船ヲ管理シ若ハ指揮スル者ヲ云ヒ貨主ト稱スルハ貨物ノ所有主若ハ其受託人ヲ云フ

第五十一條 此ノ規則ニ於テ輸出ト稱スルハ貨物ヲ外國へ輸出スルヲ云ヒ輸入ト稱スルハ貨物ヲ外國ヨリ輸入スルヲ云ヒ貨物ト稱スルハ旅具及船用品ヲ除クノ外一切ノ物件

ヲ云フ

第五十二條 此ノ規則ニ於テ入港ノ時ト稱スルハ船舶ノ投錨若ハ繫留セシトキヲ云ヒ出港ノ時ト稱スルハ拔錨若ハ解纜ノトキヲ云フ

第五十三條 密輸出入ヲ税關ニ申告スル者ニハ其沒收セシ貨物代價ノ半額ヲ給ス

附則

第五十四條 露西亞國樺太島貿易ニ從事スル船舶ニ限リ當分ノ内出入港手数料及該船ニ搭載スル貨物ノ輸出入税ヲ免除ス但船舶ノ出入港手數ニ限リ第三十一條第三十二條ヲ適用ス

〔二〕税關管轄區域 明治二十三年九月八日公布

勅令第二百四號

朕税關管轄區域ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム本令ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治二十三年九月二十六日

大藏大臣 伯耆松方正義

勅令第二百四號

税關管轄區域左ノ通之ヲ定ム

横濱税關管轄區域

陸前 磐城 常陸 下總 上總 安房 武藏 相模 伊豆 駿河 遠江

十一箇國及小笠原島ノ沿岸

大阪税關管轄區域

參河 尾張 伊勢 志摩 紀伊 和泉 攝津西成郡

七箇國ノ沿岸

神戸税關管轄區域

攝津川邊郡 播磨 備前 備中 備後 安藝 周防 長門 石見 出雲 伯耆 因幡

但馬 丹後 隱岐 伊豫 土佐 阿波 讚岐 淡路

二十箇國ノ沿岸

長崎税關管轄區域

肥前 肥後 筑前 筑後 豊前 豊後 日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬 琉球

十二箇國ノ沿岸

新潟税關管轄區域

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 羽前 羽後 佐渡

九箇國ノ沿岸

函館税關管轄區域

陸奥 陸中 渡島 後志 石狩 天鹽 北見 根室 千島 釧路 十勝 日高 膽振

十三箇國ノ沿岸

第十一類 第二章

國稅徵收 租稅及備荒儲蓄金滯納者處分 租稅監査及間接稅徵收者處分 稅關注

〔三〕税關規則中特許手数料 明治二十三年九月十二日

本年九月勅令第二百三號税關規則第九條及第四十八條ノ特許手数料左ノ通之ヲ定ム

- 税關平日貨物積卸特許手数料
 - 一日没ヨリ日出マテ 每一時間 壹圓五拾錢
- 税關休日貨物積卸特許手数料
 - 一日没ヨリ日出マテ 每一時間 壹圓
- 税關平日臨時開港特許手数料
 - 一午後四時ヨリ同六時マテ 拾五圓
 - 一午後四時ヨリ同十二時マテ 四拾五圓
 - 一午後四時ヨリ同十二時ヲ過ルトキ 九拾五圓
 - 一午前ヨリ同十時マテ 貳拾圓
- 但前日ヨリ引續キ開港ノ場合ハ此限ニアラス
- 税關休日臨時開港特許手数料
 - 一午前十時ヨリ午後四時マテ 貳拾五圓
 - 一午前十時ヨリ午後六時マテ 四拾圓
 - 一午前十時ヨリ午後十二時マテ 七拾圓
 - 一午前十時ヨリ午後十二時ヲ過ルトキ 百貳拾圓
- 税關出張所平日貨物積卸特許手数料
 - 一日没ヨリ日出マテ 每一時間 七拾五錢

税關出張所休日貨物積卸特許手数料

- 一日出ヨリ日没マテ 每一時間 五拾錢
- 一日没ヨリ日出マテ 同 七拾五錢
- 税關出張所平日及休日臨時開港特許手数料
 - 一日出ヨリ日没マテ 每一時間 壹圓
 - 一日没ヨリ日出マテ 同 壹圓五拾錢
 - 一午前六時ヨリ同十時マテ 貳拾圓 二十二年十二月十二日省令第四十號ヲ以テ本項追加
- 但前日ヨリ引續キ開港ノ場合ハ此限ニアラス

〔四〕税關管轄區域制定ニ付勅令施行ノ日ヨリ沿海開港外ニ於テ違犯者等アルトキ町村役

場浦役場ヨリ所管税關ニ通報方 明治二十三年九月十二日 大藏省訓令第二百二十八號北海道廳沿海府縣

今般勅令第二百四號ヲ以テ税關管轄區域制定相成候ニ付テハ右勅令施行ノ日ヨリ沿海開港外ニ於テ左ノ場合アルトキハ速カニ其地ノ町村役場若クハ浦役場ヨリ所管税關ニ通報セシムヘシ

- 一税關法第三條ノ逃犯者アリタルトキ
- 一法律命令ニ背キ輸出入貨物ノ積卸ヲ爲ス者アリタルトキ
- 一外國通航船避難ノ爲メ入港シタルトキ
- 一外國船入港シタルトキ但特ニ免許ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス
- 一外國通航船又ハ外國船難破シタルトキ

第三章 國稅 府縣稅 地方稅

第一百十五 地租條例中改正 明治二十二年十一月三十日公布 法律第三十號

朕地租條例中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年十一月二十九日

内閣總理大臣公爵三條實美
大藏大臣伯爵松方正義

法律第三十號

地租條例中左ノ通改正シ明治二十二年十二月一日ヨリ施行ス

第一條但書ヲ左ノ如ク改ム

但本條例ニ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價額ヲ謂フ

第二條第一項第二ヲ左ノ如ク改ム

第三類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地、

第四條 公立學校地、鄉村社地、墳墓地、用惡水路、溜池、隄塘、井溝、鐵道用地、禁伐林及公衆ノ用ニ供スル道路ハ地租ヲ免ス

第六條 地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルトキハ地盤ヲ丈量ス

第七條 地價ハ地目變換、開墾又ハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルトキニ非サレハ之ヲ修正セズ

二十二年勅令
第三十九號
（初編第六十
一ノ二項）

第十條 地目ヲ變換シ若クハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルトキハ地方廳ニ届出ヘシ
地目變換ノ土地ハ五年以内ニ於テ地價ヲ修正シ六年目ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス
但第十六條第六項ノ場合ハ此限ニ在ラス

第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルモノハ五年間其地價ヲ據置六年目ニ至リ之ヲ修正ス

第十二條 地租ハ土地臺帳記名者ヨリ徵收ス但賃入ノ土地ハ其賃取主ニ於テ之ヲ納ムヘシ

第十三條第一項左ノ如ク改ム

有租地ヲ公立學校地、鄉村社地、墳墓地、禁伐林ト爲ストキハ其地租ハ許可又ハ命令ヲ受ケ

タル月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免シ用惡水路、溜池、隄塘、井溝、鐵道用地及公衆ノ用ニ供スル

道路ト爲ストキハ其地租ハ工事著手ノ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ス

第十四條 地價修正ノ土地ハ其年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但第十條第二項ノ場合

ハ此限ニ在ラス

第十五條 荒地又ハ新開地ハ免租年期明ノ翌年分ヨリ地租ヲ徵收ス

第十六條 開墾ヲ爲サントスルトキハ地方廳ニ届出ヘシ

前項ノ開墾地ハ開墾著手ノ年ヨリ十年目ニ其成功ノ部分ニ對シ地價ヲ修正ス

十年以内ニ成功シ能ハサル開墾ヲ爲サントスルトキハ地方廳ニ願出、鐵下年期ノ許可ヲ受

クヘシ、鐵下年期ハ三十年以内トス但年期中ハ原地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

官有地ヲ開拓シテ民有ニ歸セシ土地ハ其素地相當ト認ムル所ノ地價ヲ定メ尙ホ十年以内

ノ歟下年期ヲ許可ス但年期中ハ現定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス
官有ノ水面ヲ埋立民有ニ歸セシ土地ハ五十年以内ノ新開免租年期ヲ許可ス
耕地ノ區畫若クハ形狀ヲ變更スル爲メ又ハ地目ヲ變換スル爲メ開墾ニ等シキ勞費ヲ要ス
ルモノハ本條第三項ニ準シ三十年以内ノ地價據置年期ヲ許可スルコトアルヘシ
第十七條 削除

第十八條 第十六條第三項第四項第五項ノ年期明ニ至リ事業成功ニ至ラサルモノハ更ニ二
十年以内ノ繼年期ヲ許可ス

第十九條 歟下年期明地價據置年期明新開免租年期明ノトキ其地價ヲ定メ又ハ修正ス

第二十條 荒地ハ其被害ノ年ヨリ十五年以内免租年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス
海嘯ノ爲メ潮水侵入シ作土ヲ損害シタルモノハ其狀況ニ依リ前項ニ準據スルコトアルヘ
シ

第二十一條 荒地免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十五年以内七割以
下ノ低價年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十二條 低價年期明ニ至リ尙ホ原地價ニ復シ難キモノ及ヒ荒地免租年期明ニ至リ原地
目ニ復セス他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ム

第二十三條 免租年期明ニ至リ尙ホ荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十五年以内免租繼年期
ヲ定ム其年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第二十一條第二十二條ニ依リ處分ス

第二十四條 川成海成湖水成ニシテ免租年期明ニ至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二十年
以内免租繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尙ホ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變セサルモノハ
川海湖ニ歸スルモノトス

第二十五條 但書ヲ左ノ如ク改ム
但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十六條 第十一條ニ違犯スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ且現地目ニ依リ地
價ヲ定メ其地租ヲ追徵ス但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十七條 第十條第一項第十六條第一項ニ違犯スル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科
料ニ處ス其開墾ノ届出ヲ爲サハルモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租増額ヲ追徵ス但
發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ス

〔二〕地價特別修正 明治二十二年八月二十七日公布
法律第二十二號

朕地租改正以來ノ實歴ニ徴シ此法律ニ指定スル府縣ノ田畑ニ限り地價低減ノ必要ヲ認メ
地價ノ特別修正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年八月二十六日

内閣總理大臣 伯耆黑田清隆
大藏大臣 伯爵松方正義

法律第二十二號

第十一類 第三章 國稅 府縣稅 地方稅

第一條 田畑地價ノ特別修正ヲ爲スヘキ府縣國郡及其修正地價總額左ノ如シ
第二條 修正地價總額ニ依リ低減スヘキ市町村田畑ノ地價額ハ大藏大臣之ヲ定メ府縣知事ヲシテ達セシム

第三條 此法律ニ依リ地價ヲ低減シタル田畑ノ地租ハ明治二十三年分ヨリ其修正地價ニ依リ之ヲ徵收ス

(修正府縣國郡名及修正地價額略ス)

〔二〕北海道開墾地地租地方稅免除方 明治二十二年六月二十九日公布
法律第十八號

朕北海道開墾地地租地方稅免除ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年六月二十八日

内閣總理大臣伯耆黒田清隆
大藏大臣伯耆松方正義

法律第十八號

北海道開墾地ニシテ明治二年以後有租地トナリタル田畑及郡村宅地ハ明治二十二年ヨリ同三十一年迄特ニ地租地方稅ヲ免除ス其現ニ開墾年期中ノモノハ滿期ノ翌年ヨリ尙ホ十箇年間地租地方稅ヲ課セス

〔三〕地租田方代米納差許ヲ廢ス 明治二十二年九月二十七日公布
勅令第七號

朕明治十年第八十號布告廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年九月二十六日

内閣總理大臣伯耆黒田清隆
大藏大臣伯耆松方正義

勅令第七號

明治十年十一月 第八十號布告本年限廢止ス

〔四〕地租條例施行細則 明治二十二年十二月二十九日公布
大藏省令第十九號

地租條例施行細則左ノ通定ム

地租條例施行細則

第一條 條例第三條中第二類牧場ハ牧畜用ノ土地ニシテ一區域ヲ爲ス土地トス

第二條 條例第四條中免租ノ制限左ノ如シ

公立學校地ハ校舍建設アル一構内ノ土地及授業上ニ必要ナル土地又ハ公立農學校ニ於テ實驗用ニ供スル五町歩以内ノ土地ニシテ借地ニ非サルモノニ限ル

鄉村社地ハ鄉村社ノ現境内ニシテ該社有ノモノニ限ル

禁伐林ハ明治十七年太政官布達第三號ニ據リ樹木斫伐停止ノ土地

鐵道用地ハ明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例第八條ノ土地

第三條 條例第五條ノ丈量ヲ爲スニ方リ尺度ノ用法ハ左ノ如シ

一間未滿ノ尺度ハ六尺ノ十分一ヲ分ト爲シ十分一ヲ厘ト爲シ丈量ノ際端尺三寸ヨリ五尺七寸マテ三寸ヲ増ス毎ニ六除ノ數ニ適セサルモノハ之ヲ切捨テ五厘ニ止メ其積算上ニ於テ一步未滿ヲ切捨ツ可シ但一筆ノ土地ニシテ一步未滿ナルモノハ勾位迄ヲ用ユ

第八十號布告
八初編第百三
十七ノ四項ニ
掲ク

十七年布達第
三號八初編第
二百四十二
十年勅令第十
二號八初編第
六十六ノ三項
ニ掲ク

市街宅地ノ丈量ハ原米端ヲ切捨テ厘位ニ止メ其積算上ニ於テ一勾未滿ヲ切捨テ勾位ニ止ム

第四條 條例第六條ノ丈量ハ所有主之ヲ爲シ地方廳其當否ヲ検査ス但本條ノ場合ニ於テ一筆ノ土地ヲ分裂シ又ハ二筆以上ノ土地ヲ合併スルトキハ其殘地若クハ全部ヲ丈量シ其二類地ニ係ルモノハ適宜之ヲ省略スルコトヲ得

第五條 地盤ヲ丈量スルニハ三斜法ヲ用ユ但山林原野等ハ其地形ニ因リ適宜ノ方法ヲ以テ丈量スルコトヲ得

第六條 田畑ハ畦畔際ヨリ宅地ハ境界線ヨリ丈量ス

第七條 田畑ノ畦畔ニシテ其所有主自由ニ變更ス可キモノハ之ヲ本地ニ量入シ其常ニ變更セサルモノハ之ヲ除却シ其歩數ヲ外書トス

畑宅地ノ一筆地ノミニ道スル道路及一筆内ニシテ其所有主便宜ニ設クル小逕ノ類ハ總テ本地ニ量入ス

第八條 地價ヲ定メ又ハ修正ス可キ土地ハ所有主ニ於テ近傍類地ト其地方ヲ比較シ又實地ノ情況ニ依リ相當ノ地位等級ヲ調ヘ其願届書ニ記入スルモノトス

前項ノ場合ニ在テ所有主多數ナルトキハ其所有主中ヨリ二名以上ノ總代人ヲ撰ミ調理セシムルコトヲ得

第九條 條例第十條第二項ノ土地ハ便宜検査ヲ爲シ五箇年以内ニ終了スヘシ 二十四年三月三十一日省令第六號ヲ以テ改正ス

第十條 條例第十三條第一項末段ノ土地ハ工事ニ著手セシ一筆地限リ其月ヨリ免租ス

第十一條 條例第十六條第二項ノ土地ハ同條第一項届書ニ開墾著手ノ年月ヲ記載ス可シ

第十二條 條例第十六條第三項第四項第五項第六項及第二十條年期ノ短ハ其事業ノ難易被害ノ深淺ニ因リ府縣知事之ヲ定ム

第十三條 條例第十八條第二十一條第二十三條第二十四條年期ノ長短ハ實地ノ狀況ニ因リ府縣知事之ヲ定ム

第十四條 條例第二十六條第二十七條ノ追徴租額ハ犯罪發覺ノ日即チ其月分ヨリ計算ス

第十五條 條例中地方廳へ差出ヌ可キ願届書式ハ府縣知事之ヲ定ム

〔五〕地租條例及地租條例施行細則取扱 明治二十二年十二月二十九日公布 大藏省訓令第七十六號府縣沖繩縣ヲ除ク

第一條 條例第三條ノ牧場ニシテ從來收地目ニ分割取調ヘタルモノハ訂正ノ手續ヲ爲サシム可シ但搾乳營業ノ爲メ獸類ヲ養育スル場所ハ此限ニ在ラス

第二條 條例第十三條ノ禁伐林ニシテ既ニ其命令アルモノハ條例施行ノ月ヨリ其地租ヲ免除ス可シ

第三條 施行細則第四條ノ検査ヲ爲スニ方リ官ノ地圖ト實地トヲ照查シ其距離ナキヲ視認メタル上著手ス可シ(但丈量検査ニ要スル器械ハ收稅官事務帶ス可シ) 二十四年三月訓令第二十

第四條 (條例第十條第二項ノ土地ハ其届書ヲ検査區域毎ニ編綴シ置キ其地價修正シタルトキ市町村限リ變換ノ年度ヲ區分シ六箇年自ヨリ遞次賦租ス可キ地目變換地價報ヲ調製シ置ク可シ) 同上訓令ヲ

第五條 (條例第十條第三項ノ變換及條例第十六條第二項ノ開墾届出アルトキハ市町村限各其畧報ヲ調製シ地價修正ノ年限ヲ記入シ置ク可シ) 同上

第六條 條例第十六條(第三項十五年以上ノ年期及第六項第十八條)第二十條第二項ノ土地ニ對シ年期ヲ附與ス可キモノト視認ムルトキハ其狀況ヲ具シ當省へ稟議ス可シ 同上訓令ニテ括弧内

第七條 地盤ヲ丈量シタルモノハ其願届書ニ丈量野取圖ヲ添附セシム可シ

第八條 條例第二十四條ノ荒地ニシテ川海湖ニ歸シタル土地アルトキハ地租組換ノ手續ヲ爲ス可シ

第九條 各地目中ニ包含セル現地名稱ハ土地落帳地目欄内本地目ノ傍ニ記入ス可シ

〔六〕地租條例第十條變換地取扱方心得 明治二十三年十一月四日 大藏省訓令第四百三十三號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

地租條例第十條變換地取致方左ノ通心得ヘシ

一 地目若クハ地類ヲ變換シタル旨届出ツルモノアル時ハ直チニ其變換セシ地目ヲ土地課税元地目ノ傍ニ朱字訂正シ元ト段別地價地租ヲ其變換セシ地目ニ組替フヘシ

一 前項ノ場合ニ於テハ其變換ヲ登記所ニ通知スヘシ

一 修正地租徵收ノ年度ニ於テ舊ニ訂正セシ地目及ヒ修正地價地租ヲ土地課税ニ其記載式ニヨリテ訂正シ其修正段別地價地租ノ増減額ノミニ二十三年當省訓令第二十九號第一號様式ノ四表ニ編入スヘシ但地類變換モ本文ノ例ニ依ル

一 前項ノ場合ニ於テ元段別ニ訓シ其段別ニ増減アル時ハ其旨登記所ニ通知スヘシ

〔七〕地租ニ關スル諸帳簿様式更正

明治二十三年二月二十日

大藏省訓令第十號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

明治十七年十一月十二日 當省第八十九號地租ニ關スル諸帳簿様式別冊ノ變更正ス

別冊ハ當省主稅局ヨリ之ヲ送付ス(別冊略ス)

但新設帳簿ノ外ハ現存帳簿ノ使用ヲ終リ新規則製ノ際ヨリ本様式ニ據ルヘシ

〔八〕變換地臺帳更正 下年期付與開墾地臺帳様式凡例追加

明治二十四年二月十日

大藏省訓令第八號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

明治二十三年大藏省訓令第十號別冊中第十號第十一號變換地臺帳別紙ノ變更正第十二號下年期付與セサル開墾地臺帳様式(別紙ノ如ク凡例ヲ追加ス)

但別紙ハ主稅局ヨリ送付ス(別紙略ス)

〔九〕荒地低價地ノ段別年期増減取調差出方

明治二十二年六月七日

大藏省訓令第四十一號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

荒地低價地開墾地ノ段別年期ノ増減ハ別紙様式ニ依ヒ一箇年分取調翌年二月二十八日限

二十一年分ハ本年

六月三十日限

差出サスヘシ

(別紙様式ハ主稅局ヨリ送付ス)

(別紙略ス)

但明治十七年四月號外邊地租條例取致心得書様式第五號第六號第七號第八號ノ届出ハ自今廢止ス

● 同指令

● 官民有未定地徵稅區分ノ件 同指令 明治二十二年四月八日 香川縣 同

本縣下十二郡中ニ官民有未定ノ土地アリ其起因性質ヲ調査スルニ明治九年改租ノ際舊券狀ノ下付ナク又ハ舊地番不分明ニシテ該地沿革ノ知ル可カラサル等總テ所屬ノ明瞭ヲ缺キシ地所ハ概シテ所有未定地ノ名義ヲ以テ之ヲ改租ノ簿冊ニ記載シ改租事務ノ整頓ヲ告タリ爾來愛媛縣ニ於テ民有地ト爲スヘキモノハ其証左ヲ徵シ處分ヲ了シタリト雖モ其証左ノ不充分ニシテ直チニ民有地ニ屬シ難キモノハ猶互置所屬ノ取調ニ從事セシメタリシヲ以テ處分方援テ今日ニ至リ目下本縣ニ於テ其完了ヲ爲スヘキニ歸著セリ然ルニ從來本件ニ於ケル賦租年度ノ區分方見ルニ該未定地ニシテ民有地ト爲スヘキモノハ渾テ明治九年ニ遡リ賦租シ來リ候手續ニシテ實際穩當ヲ缺キシモノ、如シ何トナレハ本件ノ如キハ業已三所屬未定ノ土地ニ係ルヲ以テ其處分ヲ決定セシ時ニ於テ始メテ官民有ノ區分ヲ斷定スヘキモノナレハ其決定以前ニ遡リ賦租スルノ道理ニ乏シク全ク他ノ未定地(改租ノ際已ニ民有ニ歸著シタルモノ他ノ事故ノ徵收シ能ハ)ノ類ト其起因ヲ異ニスルモノナリ且ツ取扱上別ニ據ルヘキノ法令モ無之旁本件ノ如キハ無論許可ノ年ヨリ賦租スヘキハ順序ノ宜シク然ラサルヲ得サルモノト信認致候一體本件ハ向キニ愛媛縣ニ於テ地押取調ト同時ニ實地検査ヲ經民有地ニ編入スヘキ見込ノ者ナリ則チ其當時愛媛縣ヨリ引續事務中ノ一事件ニシテ要スルニ目下本縣ニ於テ處分終了ヲ期スヘキモノニ有之候就テハ右等ノ分ニシテ自今民有地ト爲スヘキ分ハ民地編入許可ノ年ヨリ賦租取計候様致度

大藏省指令 明治二十二年五月七日

本年法律第九號國稅徵收法第十七條ニ依リ處分スヘシ

● 地目變換ノ件 上申指令 明治二十二年四月十九日 茨城縣 上申

今般市制實地ニ依リ管下水戸市ニ接續セル村落ヲ分離シテ市制地ヘ編入セシ郡村宅地ノ依ハ地租條例第七條及ヒ第

九條ニ據ルヘキハ勿論ナリト雖モ普通ノ飛地ヲ租替タルモノト異ナリ市制施行ニ際シ之ヲ編入セシモノニ付更ニ丈
量ノ手帳ヲ要セス從來ノ丈量圖面等ニ基キ積算上切捨タル合符ヲ用ヒ地價ハ既定ノ段金ニ據リ之レヲ算定シ變換
ノ手續ヲナサシムル迄ニ止メ度候條御開置相成度

大藏省指令 明治二十二年四月二十五日

成規ニ據リ處分スヘシ但段別地價適當ノモノハ申出ノ通取計書シカラス

●地割矯正等ノ件質議回答 明治二十二年四月二十二日 富山縣收稅長質議

第一項 地割調査事案完了ノ今日ニ至リ地割等慣習ヲ矯正セント出願セル村方有之事實ニ付調査ヲ遂ケ候處地割
查ノ當時尙舊慣ヲ將來ニ確守セント村議内決申告セシ然ルニ今般町村制實施ニ付町村分合處分ニヨリ其分屬ノ村
方ニ於テ舊村ノ内約履行ナラサルヨリ斯ク出願セシモノニシテ今更不都合ニハ候得共會テ何御指令ノ主意ニ基キ
縣限リ特許ヲ與ヘ處分濟御屆可然哉

但本文特許ヲ與フヘキモノトスルトキハ今後同様出願ノモノアルトキ其時々聽許可然哉

第二項 數回水害ノ爲メ荒地ノ地盤崩亂シ地盤復舊能ハス現地ニ訂正既ニ情願ノ村方有之前項ニ準シ特許ヲ與ヘ可
然哉

第三項 土地所有者ノ移轉又ハ質入及其解約ニヨリ登記所ノ通知ヲ土地管帳所管廳ヘ受理セシヨリ所有者移轉名換
ノ分界トナシ管帳ヲ訂正徵租スヘキ哉右ハ所有ノ權利義務ニ一關係ヲ有スル儀ニ付確メ置度候

第四項 本年訓令第十五號第三條(前二條ノ場合ニ於テ府縣知事聽許ノ通達ヲ得タルトキハ直ニ土地管帳地圖及ヒ
地租管帳ヲ整理スヘシ)ニ據リ土地管帳等整理濟直ニ町村役場ヲ經テ願入又ハ届人ニ通達セシメ又ハ願書(指令
ヲ附シ下付スヘキ哉

第五項 本縣ハ從來ノ地券管帳ニ修補ヲ加ヘ土地管帳ニ採用ナラサルニ付新開ノ申山ヲ具シ今同知事ヨリ及上申御
允許ノ上ハ從來ノ地券管帳ハ地租改正以後ノ沿革ハ之レニ訂正ヲ加ヘス廢物トシ廢却ノ處分ヲナシ其費用ハ地方

稅經濟(指續)ヘキヤ將タ該管帳ハ素々地券印稅ノ支拂ニ屬セシモノニ付國庫ノ雜收入トナシ納付セシムヘキ
哉

大藏省主稅局回答 明治二十二年五月一日

第一項地割完了ノ今日ニ至リ出願セシ理由ヲ具シ別段知事ヨリ御上申相成リ可然候第二項荒地年期中ノ地ニ候得
ハ年期滿限ノ際條例ニ據リ相當ノ御處分相成可然無年期地ニ候得ハ前項同様御取扱相成ヘシ第三項登記ノ日ヲ記
スレ可然候第四項從來ノ順序ト格別異ル儀無之ニ付便宜御取扱相成可然候第五項追テ何分ノ儀御答及フヘシ

●沿革要領追加

明治二十二年十月大藏省令第十二號ヲ以テ北海道地租納期ヲ改正ス○二十四年三月法律第二號ヲ以テ地租徵收期限
ヲ改正ス

【第百十六】地租徵收期限改正 明治二十四年三月十六日公布 法律第二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地租徵收期限改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

內閣總理大臣 伯爵 山縣有朋
大藏大臣 伯爵 松方正義

法律第二號

地租徵收期限左ノ通改正シ明治二十三年第六期分ヨリ施行ス

但市街宅地地租ハ該年七月三十一日翌年一月三十一日ヲ限リ兩期ニ共五分宛ヲ徵收ス

| | | | |
|----|--------------|-----------------|------|
| 一期 | 同 該年九月三十日限 | 畑方及宅地 林原野牧場山 | 五分 |
| 二期 | 同 該年十一月三十日限 | 同 | 五分 |
| 三期 | 同 該年十二月十六日限 | 田方 | 貳分五厘 |
| 四期 | 同 翌年二月二十日限 | 同 | 貳分五厘 |
| 五期 | 同 同 年三月三十一日限 | 同 | 貳分五厘 |
| 六期 | 同 同 年五月三十一日限 | 同 | 貳分五厘 |

〔一〕北海道地租納期改正 明治二十二年十月三日
大藏省令第十二號

北海道地租納期左ノ通改定ス

| | | | |
|-----|-------------|--------------|----|
| 第一期 | 同 該年七月三十一日限 | 宅地及雜地 | 五分 |
| 第二期 | 同 該年十一月三十日限 | 田畑鑛泉地池沼及山林原野 | 五分 |
| 第三期 | 同 翌年一月十日限 | 宅地及雜地 | 五分 |
| 第四期 | 同 翌年四月三十一日限 | 田畑鑛泉地池沼及山林原野 | 五分 |

〔第一百十七〕北海道水産稅則中改正 明治二十三年二月十日公布
法律第八號

朕北海道水産稅則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御 璽

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

法律第八號

明治二十年三月勅令第六號北海道水産稅則中左ノ通改正シ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

第九條 水産物營業人組合ハ納稅委員ヲ置キ其組合ニ係ル納稅ノ事ヲ擔理セシムヘシ但納稅委員ニ關スル費用ハ其組合ノ負擔トス

前項納稅委員ハ組合會ニ於テ其會員中ヨリ之ニ充ツヘキ者若干名ヲ選舉シ其中ニ就キ北海道廳長官之ヲ指定ス但納稅委員ハ三箇年毎ニ之ヲ改選スルモノトス

第十條 「收稅委員」ヲ「納稅委員」ト改ム

第十一條 第十二條 削除

〔一〕北海道水産稅則附則ニ依リ納稅シ來レル水産營業者納稅方 明治二十三年十月三日
大藏省令第二十五號

明治二十年三月勅令第六號北海道水産稅則附則第十六條ニ依リ納稅シ來レル水産營業者ハ二十年四月己後三箇年間ノ平均產出額ニ就キ本稅則ニ據リ納稅スヘシ

〔二〕北海道水産稅算出價額施行改正

明治二十四年三月十三日
大藏省令第四號
北海道水産稅ノ算出價額ハ明治二十一年一月ヨリ同二十三年十二月マテ三箇年間水産物ノ平均産出高竝ニ賣買相場ニ依
リ之ヲ改正シ二十五年ヨリ施行ス

〔第一百十八〕酒造稅則中改正

明治二十三年七月九日公布
法律第四十九號

朕酒造稅則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年七月八日

内閣總理大臣伯耆山縣有朋
大藏大臣伯耆松方正義

法律第四十九號
明治十三年九月第四十號布告酒造稅則中左ノ通改正シ明治二十三年十月一日ヨリ施行ス
第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

- 左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ納稅保證ノ爲管廳ニ於テ相當ト認ムル所ノ保證物ヲ差出
スカ若ハ資産ヲ有スル保證人ヲ立ツルニアラサレハ前項ノ免許ヲ與ヘサルヘシ
- 一 第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條ノ處罰ヲ受ケ滿三年ヲ經過セ
サル者
- 二 酒類造石稅ノ滯納處分ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者
- 三 所有不動産ノ價額造石稅四分ノ一ニ滿タサル者

保證物ノ種類及保證人ニ要スル條件ハ大藏大臣之ヲ定ム

第九條 造石稅ハ左ノ四期ニ納ムヘシ

- 第一期 四月十五日限
- 十月一日ヨリ一月三十一日迄検査濟石數ニ係ル稅額ノ半數
- 第二期 八月十五日限
- 二月一日ヨリ五月三十一日迄検査濟石數ニ係ル稅額ノ半數
- 第三期 十一月十五日限
- 六月一日ヨリ九月三十日迄検査濟石數ニ係ル稅額ノ全數竝ニ第一期第二期ニ係ル殘納
額ノ半數
- 第四期 一月十五日限
- 前納額ノ殘數

第十一條 營業免許後不動産ヲ賣渡讓渡及抵當トシ其現在スル價額造石稅四分ノ一ニ滿タ
サル場合ニ於テハ第一條第二項ニ依リ更ニ保證物ヲ差出スカ若ハ保證人ヲ立テシムヘシ
前項ノ保證物ヲ差出サス若ハ保證人ヲ立サルトキハ第九條ノ納期ニ拘ハラヌ検査濟酒類
ニ係ル造石稅ヲ納メシムヘシ

第十六條 検査濟酒類納稅以前ニ於テ腐敗シ若ハ天災其他避クヘカラサル事故ニ依リ廢棄
ニ屬シタルトキハ直ニ管廳ニ申出テ検査ヲ受ケ其造石稅ノ免除ヲ請フコトヲ得

第十七條 前條検査ノ上再ヒ酒類ニ製成スル者ハ其石數ニ應シ造石税ヲ納ムヘシ
第二十條第三項ヲ削除ス

〔一〕北海道ノ内酒造税則施行 明治二十二年九月二十日公布
法律第二十四號

朕北海道ノ内從來酒造税則ヲ施行セサル地方ニ之ヲ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

御名 御璽

明治二十二年九月二十八日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆
大藏大臣伯爵松方正義

法律第二十四號

北海道ノ内明治十三年^九月第四十號布告酒造税則ヲ施行セサル地方ニ本年十月一日ヨリ本
則ヲ施行ス但其税率ハ當分左ノ通定ム

酒造免許税

酒造場一箇所ニ付

金貳拾圓

酒類造石税

一類一石ニ付

金貳圓

二類一石ニ付

金三圓

三類一石ニ付

金四圓

税則施行ノ細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

〔二〕酒造税則施行細則ヲ定メ十七年第六十四號二十二年第十四號省令ヲ廢ス 明治二十三年八
月二十日

大藏省令
第二十號

明治十三年九月第四十號布告酒造税則施行細則左ノ通相定メ明治二十三年十月一日ヨリ施行ス
但明治十七年八月第六十四號當省達及明治二十二年十月第十四號省令ハ同日ヨリ廢止ス

酒造税則施行細則

第一條 税則第一條一項ニ從ヒ製造免許ヲ受ケントスルモノハ其願書ニ造石見込高ヲ記シ其酒造場ノ倉庫又ハ建物ノ棟
數トニ拘ハラズ總テ其一區域ヲ以テ一箇所トシ之ニ關スル地所建物ノ坪數ヲ圖面ニ製シ願書ニ添ヘ管廳ニ差出スヘシ
但一區域外ノ倉庫建物ト雖トモ検査済ノ酒類又ハ酒造用諸器械ヲ觀置スルニ止マルモノハ管廳ノ許可ヲ受ケ酒造場ノ
附屬ト爲スコトヲ得

税則第一條第二項ニ依リ保證物又ハ保證人ヲ要スルモノハ願出ノ際保證物又ハ保證人ヲ定メ認可ヲ受クヘシ

免許ヲ受ケタル後造石見込高ヲ增加シ又ハ土地建物等ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々届出ヘシ

免許ヲ受ケタル者ニシテ翌期ニ引續キ營業ヲ爲サントスルモノハ其年十月一日迄三願書ニ鑑札ヲ添ヘ管廳ニ差出シ免
許ノ證印ヲ受クヘシ

税則第一條第二項一ノ年數ハ處罰ハ宣告ノ日滞納處分ハ完結ノ日ヨリ免許願出ノ日迄滿三年トス

第二條 酒造場ヲ移轉セントスルトキハ免許鑑札ヲ添ヘ管廳ニ申出鑑札ノ書換ヲ請フヘシ

他ノ管轄地ヘ移轉セントスルトキハ免許鑑札ヲ添ヘ管廳ニ申出添書ヲ受ケ之ヲ移轉地ノ管廳ニ差出シ鑑札ノ書換ヲ請
フヘシ

第三條 免許鑑札ヲ賣買讓與セントスルトキハ地方連署ノ書面ニ鑑札ヲ添ヘ管廳ニ申出鑑札ノ書換ヲ請フヘシ若シ他管
廳ニ交渉スルトキハ前條ノ手續ニ依ルヘシ

第四條 稅則第一條二項ニ依リ徵スヘキ保證物ノ種類左ノ如シ

- 有利公債證書
- 大藏省證券
- 日本銀行株券
- 正金銀行株券
- 國立銀行株券
- 政府ノ保證ヲ受クル會社株券債券
- 府縣郡市町村ノ公債證券
- 土地建物

第五條 前條保證物ノ保證價格ハ左ノ割合ニ依テ定ム

- 一 公債證書ハ明治二十三年勅令第四號第三條ノ價格ニ依ル
- 二 大藏省證券ハ其券面ノ金額ニ依ル
- 三 銀行會社株券債券府縣郡市町村ノ公債證券ハ價格十分ノ八
- 四 土地建物ハ價格十分ノ六

第六條 稅則第一條二項三ノ所有不動産ノ價格及ヒ保證物トシテ差出スヘキ株券債券公債證券不動産ノ價格ハ各地現賣買ノ價格ヲ標準トシテ地方長官之ヲ定ム

前項ニ依リ定メタル價格ニ付異議アルトキハ地方廳及ヒ其所有者ヨリ各二名ノ評價人ヲ撰ミ價格ヲ評定セシメ其評定價格ノ平均ニ依リ之ヲ定ム

第七條 稅則第一條二項ニ依リ立ル所ノ保證人ハ不動産ヲ有シ又ハ所得稅ヲ納ムル丁年以上ノ男子ニシテ地方長官ニ於テ相當ト認ムルモノニ限ル

第八條 保證物ハ土地建物ヲ除クノ外管廳ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第九條 當初ノ造石見込高ニ依リ其營業ヲ免許シタルノ後更ニ増石スルトキハ之ニ相當スル保證物ヲ徵シ又ハ保證人ヲ立テシムヘシ

第十條 保證ヲ徵セスシテ營業ヲ許シタルモノ其造石收ヲ增加シタルタメ其所有不動産價格造石稅四分ノ一ヲ下リタルトキハ保證物ヲ徵シ又ハ保證人ヲ立テシムヘシ

第十一條 稅則第十一條營業免許後不動産ヲ賣渡讓渡及抵當ト爲ス場合ニ於テハ其不動産ノ位置番號名稱種類段別又ハ坪數及土地簿帳記入ノ地價地租ヲ詳記シテ管廳ニ届出ツヘシ

第十二條 酒造用容器ハ左ニ掲クル方法ニ依リ其容積ヲ量リ所轄租稅檢査員派出所ニ申出檢査ヲ受クヘシ但容器ニハ番號烙印及石數ノ記載ヲ受クヘシ

酒造用類丈量法

口徑口頭ヨリ一寸第一册徑口徑ヨリ全深四分
 第二册徑口底徑第三册徑第二册徑ヨリ全深四分
 第四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第二十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第三十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第四十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第五十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第六十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第七十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第八十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十一册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十二册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十三册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十四册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十五册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十六册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十七册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十八册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第九十九册徑第一册徑ノ下リタル箇所
 第一百册徑第一册徑ノ下リタル箇所

(一) 第二册徑以上ノ分

口徑下第一册徑ノ和ヲ自乘シ甲トス

第一册徑下第二册徑ノ和ヲ自乘シ乙トス

口徑下第二册徑ノ和ハ第一册徑ヲ乘シ丙トス

甲乙ノ和ヨリ丙ヲ減シ殘數ニ深サ及〇・〇四〇三八四四 乘率ノ一位ヲ右位トシ丈量尺度ヲ乘シ之ヲ四ニテ除シ其容積ヲ得ル

但石收ハ合位ニ止メ以下切捨ツヘシ
(三) 第二册徑以下ノ分

第二册徑下第三册徑ノ和ヲ自乗シ甲トス
第三册徑下底徑ノ和ヲ自乗シ乙トス

第二册徑下底徑ノ和ハ第三册徑ヲ乘シ丙トス

甲シノ和ヨリ丙ヲ減シ殘數ニ深サ及〇、〇四〇三八四四ヲ乘シ之ヲ四ニテ除シ其容量ヲ得ル
右(一)(二)ヲ合算シ滿量樽ノ石收ヲ得ル

第十三條 酒造用容器ヲ修繕シタルトキハ使用以前管廂ノ検査ヲ受クルモノトス

第十四條 麹及酒樽桶其他第十一條ノ丈量法及算則ニ依リ實量ヲ得難シト認ムルモノハ便宜適實ノ方法ヲ以テ之ヲ測定スヘシ

第十五條 税則第十條ノ検査ヲ受クヘキ酒類ハ其容器ノ口頭ヨリ一寸ヲ減シ容レ置クヘシ其入實容器測定ノ全數ニ充テサル端數ハ左ノ算則ニ依ルヘシ

入實第一册徑ヨリ以上ニアルトキハ其容積面ノ直徑ヲ底徑ト假定ス 此底徑ヲ求ムルニハ口徑ヨリ第一册徑ヲ減シ空積シテ假定ノ底徑トス

假定ノ底徑ト口徑トノ和ヲ自乗シ甲トス

假定ノ底徑ト口徑トヲ相乘シ乙トス

右甲ヨリ乙ヲ減シ空積ノ深サ及〇、〇四〇三八四四ヲ乘シ得ル數ヲ桶面記載ノ石收ヨリ減シ現在ノ石收ヲ得ル

入實第一册徑ヨリ以下ニアルトキハ其容積面ノ直徑ヲ口徑ト假定ス 此口徑ヲ求ムルニハ第一册徑ヨリ第二册徑ヲ減シ全深ニテ除シタルモノニ第二册徑ヲ加ヘ假定ノ口徑トス 之ニ容積面ヨリ第二册徑マテノ入實深ヲ乘シ四倍

假定ノ口徑ト第二册徑トノ和ヲ自乗シ甲トス

假定ノ口徑ト第二册徑トヲ相乘シ乙トス

右甲ヨリ乙ヲ減シ容積面ヨリ第二册徑マテノ入實深サ及〇、〇四〇三八四四ヲ乘シタルモノニ第二册徑以下ノ石收ヲ加ヘ現在ノ石收ヲ得ル

入實第三册徑以上若クハ以下ニアルトキハ前項ニ準據スヘシ

第十六條 税則第十七條ニ依リ酒類ヲ釀製セントスルトキハ更ニ其釀製スヘキ酒類ノ種目及石收ヲ届出テ製成ノ上尙検査ヲ受クルモノトス

第十七條 検査未済ノ酒類腐敗其他ノ事故ニ依リ減量若クハ廢棄ニ屬シタルトキハ直ニ所轄租稅検査員派出所ニ届出検査ヲ受クヘシ

第十八條 税則第十八條造石稅免除種類ハ一期中製造石高ヲ翌期十月中ニ届出ツヘシ

第十九條 検査酒類及古酒買入酒等ヲ粕漉ニスルトキハ其時々届出検査ヲ受ケ尙製成ノ上検査ヲ受クルモノトス但此ノ場合ニ於テ増石スルモノハ其石收ニ課稅スルモノトス

第二十條 (清酒ハ推リ揚ケ淨引以前)濁酒白酒ハ釀ノ儘其他ノ酒類ハ(淨引ヲ要スルモノ)ハ淨引以前(製成ノ上造石收ノ検査ヲ受クヘシ)二十三年九月省令第二十三號ヲ以テ清酒以下以前マテ十一字ヲ削リ製成ノ上ニ割註ヲ加フ

第二十一條 造石稅納期以前免許釀札ヲ賣買譲與シ又ハ廢棄スルモノ、検査酒類ニ係ル造石稅ハ其節之ヲ完納スヘシ

第二十二條 營業人ハ左ノ帳簿ヲ製スヘシ

酒造原品受排帳

仕込帳

酒粕目方帳

蒸溜帳

釀製酒類原品受排帳

酒類倉出帳

酒類賣上帳

酒類買入帳

第二十三條 此細則ニ關スル帳簿記入方其他格式等ノ手續ハ地方長官之ヲ定ム

附則

第二十四條 第十二條ハ此細則實施以後新調修繕ニ係ルモノヨリ施行ス

第二十五條 第十五條ノ場合ニ於テ積丈量ノ容器ニ係ルモノハ左ノ算則ニ依ルヘシ

入實胸徑ヨリ以上ニアルトキハ其容積面ノ直徑ヲ底徑ト假定ス 此底徑ヲ求ムルニハ口徑ヨリ胸徑ヲ減シ空積ノ深サヲ

假定ノ底徑ト口徑トノ和ヲ自乘シ甲トス

假定ノ底徑ト口徑トノ相乘シ乙トス

右甲ヨリ乙ヲ減シ空積ノ深サ及ヒ〇・〇四〇三八四 乘率ノ一位ヲ石位トシ丈尺度ハ分ヲ乘シ得ル數ヲ桶面記帳ノ

石數ヨリ減シ現在ノ石數ヲ得ル

入實胸徑ヨリ以下ニアルトキハ其容積面ノ直徑ヲ口徑ト假定ス 此口徑ヲ求ムルニハ入實胸徑ニアルモノハ其胸徑ヲ假

定ノ口徑トシ入實胸徑ニ滿タサルモノハ胸徑ヨリ底徑

假定ノ口徑ト底徑トノ和ヲ自乘シ甲トス

假定ノ口徑ト底徑トノ相乘シ乙トス

右甲ヨリ乙ヲ減シ現在ノ深サ及ヒ〇・〇四〇三八四ヲ乘シ現在ノ石數ヲ得ル

● 同指令

● 酒造稅則中改正ノ件ニ付問合回答 明治二十三年七月二十五日 廣島縣收稅長問合

明治二十三年七月八日法律第四十九號ヲ以テ酒造稅則中改正相成候ニ付取扱心得書御訓令相成候儀トハ存候得共先

以テ左ノ各項及御問合候也 一 稅則第九條ノ納期ハ二十三年度即二十三年十月一日以後釀造ニ係ル酒類ノ納期ニシテ二十二年度ノ造石稅ニハ

適用セサル儀ト心得可然哉 二 同第十六條ニ檢査酒類納稅以前ニ於テ腐敗若クハ云々トアリ右納稅以前トハ一期中製造總石數ノ税金完納期

即一月十五日以前ヲ指シタルモノト心得可然哉

大藏省主稅局回答 明治二十三年八月一日

兩條トモ御見込ノ通ニテ可然被存候

【第百十九】煙草稅

【一】煙草稅則施行細則中改正 明治二十四年三月五日 大藏省令第二號

明治二十一年四月當省令第三號煙草稅則施行細則第十五條左ノ通改正ス

第十五條 煙草營業者ハ審品見本トシテ每種別煙草五匁紙卷煙草十本葉卷煙草五本ニ超ヘサル包裏ヲ切披キ之ヲ店頭ニ

陳列シ又ハ出賣先ニ携帶スルコトヲ得

【二】煙草稅則取扱心得 明治二十三年五月十七日 大藏省訓令第八十七號開港場アル府縣

煙草稅則第十一條但書ノ場合ニ於テ取扱方左ノ通心得ヘシ 第一項 稅則第十一條但書ニ據リテ其金額ヲ納付シタル者ハ之ニ對スル稅關ノ證明書ニ右製造煙草ノ量目包數及ヒ價格

目録ヲ添ヘテ其地租稅檢査員派出所ニ届出テ檢査ヲ受ケシムヘシ 第二項 前項製造煙草ノ包裏又ハ貼用印紙當初輸出ノ際稅關ノ檢査ヲ受ケタル時ノ形狀ヲ變更シタルモノナルトキハ右

輸入主ニ於テ最寄製造人ニ委託シテ之ヲ改裝シテ相當印紙ヲ貼用セシムヘシ

第三項 前項改裝シタル烟草ニ對スル印紙ノ下付ヲ請求スルトキハ租稅検査員ノ審明ヲ經テ之ヲ付下スヘシ

〔三〕烟草耕作人届出方 明治二十二年七月六日 大藏省訓令第五十二號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

烟草耕作人ト非耕作人トノ區別ヲ明カニスルハ稅則上緊要ノ事件ナルカ故ニ右耕作人ノ届出ハ各地方收稅部出張所ニ於テ之ヲ取纏メ稅則執行上ノ要項ニ供スヘシ尤右届出取纏メ方ハ各地ノ事宜ニ應ジ簡便ヲ量リ之ヲ施行スル儀ト心得ヘシ

〔四〕烟草稅取扱方要項中刪除 明治二十四年四月二十四日 大藏省訓令第三十九號北海道廳府縣(沖繩縣ヲ除ク)

明治二十一年四月當省訓令第三十二號烟草稅則取扱方要項第二款中收稅調査ノ項ヲ刪除ス

● 伺指令

● 烟草牛馬賣買等ノ營業者同期内再營業スルモノ課稅方ノ件問 伺指令 明治二十二年七月七日 茨城縣收稅長問合

辭營業者同期内再營業スルモノ課稅方ノ儀ニ付キ左ニ

一 菓子營業者 一期中同一ノ所ニ於テ菓子業再三興廢スル場合ハ前營業稅ヲ差續ヘキ旨去ル二十年八月十八日印紙稅課長ヨリ千葉縣ヘ回答ノ次第モ有之由之觀之場所ニ課シタルモノハ其場所ノ効力ヲ限リハ同一ノ稅ヲ重テ賦課セサル旨趣ニ可有之就テハ唯菓子營業ニ止マラス即チ場所ニ課シタル烟草賣買營業ノ如キモ勿論同様取扱可然筋ト思惟致候果シテ然ラハ店舖ヲ設ケサル牛馬賣買營業ト雖モ其稅額ニ異同 雖札一枚持ハ依ナキ限リハ尋シク一ナルヲ以テ是又同様取扱可然哉

一 前項ノ旨趣ニヨリ重稅ヲ課セサルモノトスルトキハ續續營業者 菓子、烟草、納期ニ際シ營業稅ヲ不納シ公賣處分ノ末賦課ノ財產無之一日官損ニ歸シタルモ該期中前ノ官損金ヲ完納シ再營業ヲ出願スル場合ニ於テハ再ヒ該期ノ營業稅ヲ徵セス直ニ許可可然哉

大藏省主稅局回答 明治二十二年十二月二十四日

第一項菓子營業稅徵收方ニ關スル二十年八月十八日附印紙稅課長ヨリ千葉縣ヘ回答ハ假令同期限中タリトモ關係ノ都度之ヲ新規トシテ營業稅徵收スヘキ旨ニ改定相成居候故牛馬賣買免稅稅ハ勿論烟草賣買營業ノ如キモ同様取扱相成可然第二項ハ御見込ノ通り營業稅再徵ニハ及ハサル儀ト存候

● 烟草製造人證約狀ノ伺指令 明治二十三年六月二十四日 大阪府

二十一年五月官房第一〇七號ヲ以テ烟草製造人證約狀ノ保證人ヲ得サル場合ハ公債證書國立銀行ノ預金券又ハ政府ニ於テ利益ヲ保護スル會社ノ株券ヲ抵當トシテ差出シ特ニ證約ヲナストキハ保證人ヲ設クル手續ヲ省カシムコトヲ得ル旨御訓示ノ次第モ有之候處當管下國立銀行ニ於テハ金高百圓未滿ハ定期預金ヲサ、ル向モ有之營業者ノ不便不尠儀ニ付三井銀行其他確實ト認ムル私立銀行ノ預金券ヲ以テ抵當トシ願出ツルモノハ右訓示同様取扱ヒ候様致度 大藏省指令 明治二十三年六月二十八日 確實ト認ムル者ニ限リ伺ノ通り應置

〔第二百二十一〕證券印稅規則中追加 明治二十三年四月五日公布 法律第三十號

朕證券印稅規則中追加ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年四月三日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋 大藏大臣伯爵松方正義

法律第三十號

證券印稅規則第九條ニ左ノ一項ヲ追加ス

一 切手、手形類ノ裏面ニ記載シタル受取書

〔一〕證券印稅臨時檢査執行方 明治二十二年五月九日 大藏省訓令第三十三號 北海道廳府縣(沖繩廳ヲ除ク)

證券印稅ハ地方ノ情況ニ依リ定期檢査ヲ執行セスシテ臨時檢査ニ止ムルモ妨無シ

〔二〕證券印稅規則第二條第一類證書中當座預リ金引出小切手ノ押印請求方 明治二十二年八月十九日

大藏省告示第六十七號

證券印稅規則第二條第一類證書中當座預リ金引出小切手ノ押印ハ自今大藏省印刷局構内主稅局印紙稅課派出所ニ請求スヘシ

● 伺指令

● 公吏ニ關シ證券印紙稅規則第九條適用ノ件ニ付伺指令 明治二十二年七月二日 群馬縣伺

町村吏員ノ擔任管掌スル事務ニ關シ財産ノ授受及ヒ契約ヲ爲ストキ用フル凡テノ證書帳簿ハ町村役場ノ名義ヲ以テスルモノト否トヲ問ハス證券印稅規則第九條ニ依リ印紙ヲ貼用スルコトヲ要セサルヤ町村制施行ニ付町村吏員トハ大ニ其趣ヲ異ニシ聊カ疑義ニ涉リ決案候條何分ノ御指揮相成度

大藏省指令 明治二十二年七月八日

伺ノ件ハ渾テ證券印紙稅規則ニ依リ相當印紙ヲ貼用セシムヘシ

● 市町村吏員及特例ニ依ル三府ノ區役所ノ事務ニ關シ證券印紙稅規則第九條適用方ノ

伺指令 明治二十二年七月二十三日(內務大藏兩省宛) 京都府伺

市町村ニ於テ管掌スル金錢ノ授受ハ獨リ市町村費ニ限ラス國稅地方稅ヨリ各種ノ寄託金ニ至ル迄其取扱フ處從前ノ區役所戶長役場ニ於テスト敢テ異ナル處ナキモ制度改正後ハ之ヲ官廳視スルヲ得サルニヨリ隨テ金錢ノ授受及契約ノ證明等ニ用フル證書帳簿ノ類ハ總テ明治十七年五月第十一號布告證券印稅規則ニ依ルヘキカ如シト雖モ畢竟スルニ現時ノ市町村役場ハ其組織コソ異ナレ其職務ニ於テハ從來ノ區役所戶長役場ト大差ナキモノニ付實際上下等ノ取扱ハ無論該規則第九條ヲ適用スヘキ筋ニ候哉

追テ本文ノ件若シ規則第九條ヲ適用セサルモノトスルモ府下京都市ノ如キハ特例ノ制ニヨルモノニ付該區役所ノ事務ハ獨リ市ニ屬スル事務ニ限ラス廣ク國及ヒ府ノ事務ヲ取扱ハシムルヲ以テ是等ハ特ニ本文見解ノ如ク相心得可然哉

大藏省指令 明治二十二年八月七日

本年七月二十三日附ヲ以テ證券印稅規則ノ儘ニ付伺ノ件ハ渾テ同規則ニ依リ相當印紙ヲ貼用スヘシ但本省主管ニ付本省限リ指令ス

第百二十一 船稅

〔一〕船稅徵收手續ヲ定メ十七年第二十八號省達ヲ廢ス 明治二十三年十一月二十五日 大藏省令第三十五號

船稅徵收手續左ノ通相定メ二十四年一月一日ヨリ施行ス

但明治十七年六月當省第三十八號達ハ同日ヨリ廢止ス

一 船籍證書ヲ受有スル船舶ハ其證書記載ノ登簿噸數又ハ積石噸ヲ鐵札ニ記載シ其噸石噸ニ據リ徵稅スヘシ其船籍證書ヲ受有セサルモノハ測度證書ニ據ルヘシ

一 測度ニ據リ在來徵稅ノ噸石噸ニ附減ヲ生シタルトキハ其次期ヨリ更正ニ係ル稅金ヲ徵收スヘシ

〔二〕船稅徵收手續施行期限 明治二十四年一月十六日

大藏省令第一號

明治二十三年十二月勅令第二百九十六號ヲ以テ同年十月勅令第二百十九號船籍規則施行期限發布相成候ニ付二十三年十一月當省令第三十五號船稅徵收手續ハ二十六年一月一日ヨリ施行ス

● 伺指令

● 船車撈帶並ニ船ノ流失ニ係ル件問合回答 明治二十三年二月七日

滋賀縣稅務長問合

船車ヲ撈帶セラレ或ハ流失船ヲ届出タルモノハ是迄未納蠲限ハ登記致來候得共撈帶或ハ流失等ノ船車ニ對シ課稅スルハ其當ヲ得サル様被存候就テハ自今右等ノ者ハ届出ノ時々船籍簿ヲ刪除シ他日發願ノ時ニ於テ更ニ課稅ノ手續ヲ爲シ可然哉

前項果シテ然リトセハ從來未納蠲限ニ登記シアル分ハ撈帶又ハ流出届出ノ當時ニ溯リ此際準テ船籍簿ヲ刪除シ可然哉

大藏省主稅局回答 明治二十三年二月十九日

御見込ノ通ニテ可然存候

● 船籍刪除ノ件伺指令 明治二十三年二月二十五日

和歌山縣問

當縣和歌山市北休賀町崎松之助所有日本形大船五十九石積一艘縣下西牟婁郡大古村古川文太郎外一名乘組明治十九年十一月和歌山港出帆西牟婁郡里ノ浦ニテ薪炭積入同年十二月二十四日同所拔錨歸港之際暴風ニ遭遇シ將・轉渡セントスルヲ同浦ノ某之ヲ認メタルヲ以直ニ該船ニ漕寄リ救助セントスルモ激浪ノ爲遂ニ之ヲ果スコト能ハサル旨右文太郎家族へ通告セシモノ有之爾後難破ノ證據トナルヘキモノ何レノ地ニモ漂着セサルモ右ノ次第三付去ル二十年七月船籍刪除ノ儀本人ヨリ元和歌山區長へ申立タリト雖モ難破ノ證據不充分ニ付刪除難相成旨指示セリ而シテ二十年後半年分ヨリ税金不納ナルモ差押ヘキ財産無之ヲ以年々未納蠲限ニ登記致シ來リ候得共遺難後收年ヲ經ル今日

ニ至リ尚證據ノ判明セサルヲ以テ見レハ當時難破セシモノト信認候就テハ右等ニ對シ税金ヲ賦課スルハ當ヲ得サル儀ト存候付已往則一旦本人届出ノ當時ニ遡リ船籍簿ヲ刪除シ未納金ハ除却可致哉

大藏省指令 明治二十三年三月六日

伺ノ通

第二百二十二 車稅

● 伺指令

● 船車撈帶失踪者課稅ノ件ニ付問合回答 第百二十一ノ伺

指令ノ部ニ掲ク

● 車輛檢印ノ件ニ付伺指令 明治二十三年一月十四日

奈良縣問

縣下吉野郡ノ山間ニ於テ木材運搬ノ爲メ松木ノ小口ヲ挽切車輪ト爲シ樫ノ丸木ヲ軸トナシタルモノヲ作り山林伐採ノ際使用スルモノ數多アリ其形狀用途固ヨリ車輛ニ外ナラスト雖モ木材ヲ伐採スルニ當リ臨時ニ之ヲ製シ一時ノ便ヲ充タセシ後ハ其他山間ニ拋棄スルモノニシテ且之ヲ使用スル峻險險路ニ於テ粗雜ノ取扱ヲ爲スモノナレハ一週日ヲ出テスシテ破壞シ甚キハ一日ヲ保タサルモノモアルニヨリ車稅規則ニ據リ新調ノ都度其車體ニ檢印ヲ交クルコトハ到底行ハレ難キ事實ニ有之故ニ該車ニ限リ檢印押捺ノ體札ヲ下付シ使用ノ都度必之ヲ撈帶セシメ候儀取扱度候條特ニ御開置相成度

大藏省指令 明治二十三年一月二十四日

申出ノ通取扱ヒ苦シカラス

〔第百二十三〕 所得稅

〔二〕市制町村制施行地ノ所得稅ニ關スル件 明治二十二年四月二十三日公布 法律第十四號
朕市制町村制施行地ノ所得稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名 御璽

明治二十二年四月二十二日

内閣總理大臣伯耆黒田清隆
大藏大臣伯耆松方正義

法律第十四號

市制町村制施行ノ地ニ在テハ所得稅法第六條ノ屆書ハ町村ニ於テハ町村長ヲ經テ郡長ニ
市ニ於テハ市長ヲ經テ府縣知事ニ之ヲ差出シ第七條第八條ノ調査委員ハ郡役所管轄内及
市ニ東京市京都市大阪市ハ區ニ置キ其區域内ニ於テ之ヲ選舉シ第九條ノ調査委員ノ選舉
人被選舉人ノ現住ハ調査委員會設置區域内トシ第十條ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ市ニ東
京市京都市大阪市ハ區ニ郡長ハ町村ニ若干名ノ選舉人ヲ定メ第十七條ノ區長ノ職務ハ府
縣知事之ヲ行ヒ調査委員會ノ決議ニ關シ意見アルトキハ第二十條ニ依リ處分スヘシ又第
十三條第十四條第十五條第二十三條ノ區長ノ職務ハ府縣知事之ヲ行フヘシ但第十五條ノ
場合ニ於テハ府縣知事ハ部下ノ官吏ヲシテ代理ヲ爲サシムルコトヲ得

● 同指令

● 所得稅調査委員選舉人設置方ノ件ニ付同指令 明治二十二年四月二十九日 京都府伺

二十二年大藏
省令第七號ヲ
以テ本制施行
ノ地ニ於テ所
得稅法施行ニ
關シ臨時取調
掛ヲ置キ其下
關ヲ爲シシム
（第百三十一）
一項參照

本年法律第十四號ヲ以テ市制町村制施行ノ地ニ於ケル所得稅ニ關スル事件公布相成稅法第十條ノ場合ニ於テハ府縣
知事ハ市ニ東京市京都市大阪市ハ區ニ郡長ハ町村ニ若干名ノ選舉人ヲ定メト有之右ハ一區内若クハ一町内ヲ取部ニ
劃シ每部ニ若干名ヲ置キ又ハ數町村ヲ合シテ若干名ヲ置クヲ得ヘキ儀ニ候哉

大藏省指令 明治二十二年五月三日

市制町村制施行地ニ於ケル所得稅調査委員選舉人ハ區町村内ヲ分割セ直ニ若干名ヲ置ク儀ト心得ヘシ
● 所得稅調査委員選舉ノ件同指令 明治二十二年五月二日 福岡縣伺

市町村制ニ依リ町村ノ分合行政部ニ異動ヲ來シタルモノ所得稅調査委員選舉ノ儀ニ付疑義ノ件左ニ相伺候

第一條 郡ヲ割キ市ヲ設ケタルモノハ市及郡ニ係ル調査委員並補缺員共總テ改選スヘキモノナルヤ將ク改選セス現

今ノ調査委員ニシテ市ニ居任スルモノハ市ノ調査委員郡ニ居任スルモノハ郡ノ調査委員トシ其定員ニ滿タサルト

キハ該市郡ニ居任スル補缺員ヲ以テ之ニ充テ尚不足スルモノハ之ヲ選舉スヘキモノナル哉

第二條 郡ノ一部ヲ割キ市ニ又ハ元區ノ一部ヲ割キ郡ニ屬セシメタルモノハ最初ノ選舉區域ニ變動ヲ來シ爲メニ選

舉人ニ異動ヲ生スルトキハ元選舉ノ調査委員ハ無効トシ改選スヘキモノナルヤ將ク改選スルニ及ハサル哉

第三條 前條ノ場合ニ於テ單ニ區域ノ變動ニ止マリ選舉人ニ異動ヲ生セサルトキモ尚調査委員ヲ改選スヘキモノナ

ルヤ將ク改選スルニ及ハサル哉

第四條 第二條ノ如キ區域變更ノ爲メ甲部ノ調査委員ニシテ其居任地ト郡ニ編入シタルトキ調査委員ニ異動ヲ生ス

ルヲ以テ甲乙兩郡共調査委員ノ全部ヲ改選スルモノナルヤ將ク甲郡ニ於テハ單ニ一人ノ補缺ヲ爲シ乙部ニ於テハ

甲郡ヨリ移リ來リタル一人ヲ解任者トスヘキモノナル哉

大藏省指令 明治二十二年五月十五日

左ノ通心得ヘシ
第一條市ニ在テハ新ニ調査委員ヲ選舉セシメ郡ニ在テハ申出ノ通

第二條第四條後段申出ノ通

第三條前條ニ依リテ知スヘシ

●所得稅納付方並ニ公民權ノ件同指令 明治二十二年七月十日 關國縣衙

第一條 所得稅法第一條但書ニ同居ノ家族ニ屬スルモノハ總テ戸主ノ所得ニ合算スルモノトスト有之戸主ニ所得ナキモノニ就キテハ明文ナキヲ以テ一家ノ生計ヲ主擔スル非戸主ノミニ所得アル場合ハ非戸主ノ名義ヲ以テ納付セシムル儀ニ可有之歟

第二條 所得稅納付ヨリ生スル町村制第七條第三ノ要件ハ戸主非戸主ヲ問ハズ之ヲ納付スル名義ノモノニ具ハルモノニ可有之歟然リトセハ戸主ニ些少ノ所得アリ非戸主ノ所得數百圓ナルモノ之ヲ合算シテ戸主ノ名義ヲ以テ納付スルトキハ非戸主ハ他ノ要件ヲ具フルモノト雖公民權ハ有セサル儀ニ可有之歟

大藏省指令 明治二十二年十月三十一日(內務省通牒)

第一條ハ所得稅法施行細則第一條ニ據リ取扱フヘシ

第二條ハ同ノ通リ

〔第二百二十四〕府縣稅徵收法 明治二十三年十月一日公布

朕府縣稅徵收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御 璽

明治二十三年九月三十日

內閣總理大臣 伯耆山縣有朋
內務大臣 伯耆西鄉從道

大藏大臣 伯耆松方正義

法律第八十八號

府縣稅徵收法

第一條 市町村ハ其市町村內ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納付スルノ義務アルモノトス

地租割外ノ府縣稅ニ對シテハ其徵收金額ノ百分ノ四ヲ徵收費用トシテ其市町村ニ交付スヘシ但東京市京都市大阪市ハ此限ニ在ラス

第二條 市町村ハ過誤怠慢ニ依リ其徵收金ヲ亡失シタルトキハ之ヲ辨償スルノ責ニ任スヘシ

第三條 市町村ハ避クヘカラサル變災ニ罹リ其徵收金ヲ亡失シタルトキハ其實任免除ヲ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

第四條 府縣知事ハ前條ノ訴願ヲ受ルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ責任ヲ免除スルコトヲ得

第五條 府縣稅ヲ徵收スルトキハ府縣知事又ハ其委任ヲ受ケタル命令者ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ各納稅人ニ交付スルモノトス

第六條 市長ニ於テ收入命令ノ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ徵稅令書ヲ直チニ各納稅人ニ交付スルコトヲ得

第七條 隨時徵收ノ府縣稅ハ府縣知事又ハ委任ヲ受ケタル命令者ニ於テ直チニ各納稅人ニ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第八條 徵稅傳令書ヲ受ケタル各納稅人及徵稅令書ヲ受ケタル市ノ各納稅人ハ稅金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ニ其領收證書ニ市町村長ノ檢印ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ルモノトス
市町村ハ其徵收シタル稅金ヲ府縣出納吏ニ納付シ其領收證書ヲ得テ義務ヲ了ルモノトス
第七條ニ依ル各納稅人ハ稅金ヲ府縣出納吏ニ納付シ其領收證書ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ルモノトス

國稅徵收法ハ初編第三十三及本編第一百十二掲ク

第九條 納稅人他ノ負債ニ依リ身代限ノ處分ヲ受クルトキ其既ニ徵稅令書ヲ發シタルモノアルトキハ國稅徵收法第十四條第十五條ノ例ニ依リ國稅ニ次テ府縣稅ヲ徵收スヘシ
第十條 國稅若クハ市町村稅ヲ滯納シタル爲メ滯納者ノ財產ヲ賣却シタル場合ニ於テ既ニ徵稅令書ヲ發シタルモノアルトキハ市町村稅ニ先チ府縣稅ヲ徵收スヘシ
第十一條 府縣稅納稅義務ノ期滿免除ハ國稅ノ例ニ依ル
第十二條 町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此法律ニ依リ町村ノ爲スヘキ職務ハ戶長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第十三條 此法律ニ關スル細則ハ府縣會ノ決議ヲ經テ府縣知事之ヲ定ムヘシ
第十四條 府縣制施行ニ至ル迄ノ間ハ此法律ハ地方稅ノ徵收ニ適用ス
第十五條 此法律ハ明治二十四年度所屬ノ徵稅ヨリ之ヲ施行ス

〔一〕府縣稅滯納處分法 第一百十二

〔二〕沖繩縣小笠原島地方費ノ件 明治二十三年五月二十二日公布
法律第三十七號
朕沖繩縣小笠原島地方費ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年五月二十一日
內閣總理大臣 伯耆山縣有朋
內務大臣 伯耆西鄉從道
大藏大臣 伯耆松方正義

法律第三十七號

沖繩縣及小笠原島ノ地方經濟ニ屬スル費用ハ其地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外從前ノ通り國庫ヨリ之ヲ支辨ス

〔三〕府縣制郡制施行ニ際シ地方稅收支豫算地方稅財產處分方 第六十四ノ一項ニ掲ク

〔四〕府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移ス件 第八ノ六ノ一項ニ掲ク

〔五〕地方稅補助トシテ國庫支出ノ警察連帶支辨金概算渡方 第八ノ八ノ一項ニ掲ク

〔六〕北海道開墾地地租地方稅免除 第十五ノ二項ニ掲ク
明治二十二年九月十二日(大藏大臣連署)

〔七〕地方稅監獄費中改正 明治二十五年九月十五日(內務省訓令第三十七號府縣)
今般監獄則改正ニ付明治十五年(內務省訓令第三十七號府縣)
大藏 兩省七第七十二號達地方稅監獄費中未決囚諸費ヲ刑事被告人諸費ト已決囚諸費ヲ囚人諸費ト改ム

兩省七第七十二號達ハ初編第二項五十三ノ五項ニ掲ク

〔八〕北海道地方税ノ徵收ニ係ル納入告知書發行及取扱方明治二十四年三月十三日 大藏省訓令第十五號北海道廳金庫出納役
 北海道地方税ノ徵收ニ係ル納入告知書ハ他ノ歳入金ト區別スルタメ「北海道地方税」ノ印ヲ押捺シテ發行スヘシ
 北海道地方税ニシテ納入告知書ニ記載アル納期ヲ經過シ督促令狀發付以前ニ於テ該税金ヲ上納セントスル者アルトキハ
 明治二十三年當省訓令第四十三號及第百三號ニ準シ取扱フヘシ
 但本文ノ順序ヲ經タルモノニアラサレハ金庫ハ領收ヲ拒絶スヘシ

〔九〕監獄懲惠ノ用ニ充ツヘキ貨物地方税ニ編入監獄費ニ充ツ第八十七ノ 五項ニ掲ク

〔第二百二十五〕地方經濟ニ於テ非常災害ノ爲メニ要スル土木費借入方

明治二十三年一月二十一日公布
 法律第三號

朕地方税經濟ニ於テ非常災害ノ爲メニ要スル土木費借入ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 御名 御璽

明治二十三年一月二十日
 大藏 大 臣伯爵松方正義
 内閣總理大臣兼内務大臣伯爵山縣有朋

法律第三號

第一條 府縣ニ於テ非常災害ノ爲メ臨時ノ土木費ヲ要シ一時地方税ノ負擔ニ堪ヘ難キ場合ニ於テ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ取り内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得十箇年以内ノ償還期限ヲ以テ借入金ヲナスコトヲ得

第二條 前條ノ借入金ヲ爲スニ當リ府縣會ノ議決ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ其府縣ノ備荒儲蓄金ヨリ其年度初現在高ノ三分一マテ借入ル、コトヲ得但本條ノ借入金ニ對シテモ相當ノ利息ヲ拂フヘキモノトス

第三條 借入金ノ認可ヲ得ントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經タル借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ併セテ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

〔二〕府縣制施行ノ地ニ限り地方經濟ニ於テ土木費借入方ノ法律ヲ廢ス

明治二十三年八月二十八日公布
 法律第七十四號

朕明治二十三年法律第三號ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年八月二十七日
 内閣總理大臣伯爵山縣有朋
 内務 大 臣伯爵西鄉從道
 大藏 大 臣伯爵松方正義

法律第七十四號

明治二十三年一月一法律第三號ハ府縣制施行ノ地方ニ限り之ヲ廢止ス但シ府縣制施行以前法律第三號第二條ニ依リ既ニ備荒儲蓄金ヨリ借入ノ契約ヲ爲シ未タ其借入ヲ了セサルモノハ其契約ヲ繼續スルコトヲ得

○第四章 備荒儲蓄法 預金 供托保管

第一百二十六條 備荒儲蓄法改正 明治二十三年二月八日公布 法律第五號

朕備荒儲蓄法中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月七日

内閣總理大臣兼內務大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣 臣伯爵松方正義

法律第五號

明治二十三年^{六月}第三十一號布告備荒儲蓄法中左ノ通改正シ明治二十三年度ヨリ施行ス

第二條 備荒儲蓄金ヲ分ツテ中央儲蓄金府縣儲蓄金ノ二トス

中央儲蓄金ハ明治二十二年度迄ノ中央儲蓄金及ヒ之ヨリ生スル利殖金ヲ以テ成立スルモノトス

府縣儲蓄金ハ明治二十二年度迄ノ府縣儲蓄金及ヒ之ヨリ生スル利殖金ヲ以テ成立スルモノトス

第三條 中央儲蓄金ハ國庫ニ備置キ大藏大臣之ヲ管理シ府縣儲蓄金ノ補助ニ充ツヘキモノトス

第四條 府縣儲蓄金ノ管守支給及ヒ利殖ノ方法ハ府縣知事之ヲ府縣會ニ付シ其議決ヲ取り内務大藏兩大臣ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ

第五條 削除

第七條中三分二トアルヲ百分ノ五ト改ム

第十條 府縣知事ハ府縣儲蓄金ノ出納決算ヲ翌年度通常府縣會ノ初メニ於テ府縣會ニ報告シ仍ホ内務大藏兩大臣ニ報告スヘシ

大藏大臣ハ毎年中央及ヒ府縣儲蓄金ノ出納決算ノ要領ヲ告示スヘシ

附則

本法改正ノ爲メ府縣儲蓄金明治二十三年度内ニ於テ施行スヘキ利殖ノ方法ヲ定メ及ヒ收入豫算又ハ管守支給ノ方法ニ改正ヲ要スルトキハ府縣知事ハ常置委員會ニ付シ之ヲ議決セシムルコトヲ得

〔一〕府縣制郡制施行ニ際シ備荒儲蓄金處分方 第六十四ノ一項ニ掲ク

〔二〕備荒儲蓄金取扱順序廢止 明治二十三年三月十四日 大藏省令第七號

明治二十年^{十二月}大藏省令第十五號備荒儲蓄金取扱順序明治二十二年度限リ廢止ス

〔三〕備荒儲蓄金取扱順序 明治二十三年三月十四日內務大臣連署 大藏省訓令第三十四號府縣(沖繩縣ヲ除ク)

備荒儲蓄金取扱順序明治二十三年度以降左ノ通心得ヘシ
但收支科目及報告書式ハ別ニ頒ツ (書式略ス)

備荒儲蓄金取扱順序

第一條 備荒儲蓄法第四條ニ因リ府縣儲蓄金ノ管守支給及利殖ノ方法ヲ定メ許可ヲ得タルトキハ府縣知事ハ該年度ノ收支概計書 別紙第一號ノ式ニ因ルヘシヲ製シ大藏大臣ヘ差出スヘシ

第二條 府縣儲蓄金ノ内現金ヲ銀行等へ預ケスヲナストキハ其金額ニ對スル抵當ヲ要スヘキハ勿論其抵當ハ公債證書ヲ取置クヘシ

第三條 地租ノ貸與金ヲ受タルモノ不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルトキハ之ヲ猶豫シ又ハ免除スルノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第四條 地租ノ貸與金ヲ受タルモノ其返納年限内ニ於テ利引ヲ以テ一時上納ナサシムル爲メ該府縣儲蓄金利率平均ノ分合ニ準シ利引ノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第五條 米穀ヲ貯積スル爲メ倉庫ヲ建築シ及借庫料番人給料等ニ係ル諸費用 郡市町村吏旅費ノ如キハ此限ニアラス 竝米穀公債證書ノ賣買等ニ關スル諸雜費及損失ヲ府縣儲蓄金ノ内ヨリ支辨スルノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

第六條 備荒儲蓄法第七條ニ因リ府縣儲蓄金ノ百分ノ五 前年度ヨリ越高貸付金ハ其年返納スヘキ額ヲ除算スヘシ 其年収入スヘキ金額ヲ合セタル總額ニ對シ計算スヘシ 以上ヲ供用支出セントスルトキハ豫メ災害ノ景況及救助額ノ概算ヲ內務大臣ニ具狀シ中央儲蓄金ノ補助ヲ請求スヘシ

此場合ニ於テハ時トシテ內務大臣兩省ノ官吏ヲ派遣シ實際ヲ査問スルコトアルヘシ

第七條 中央儲蓄金ヨリ補助ヲ要シタルトキ府縣知事ハ其額未ヲ管下へ告示スヘシ

第八條 凡府縣儲蓄金ノ出納ハ每半期報告書 別紙第二號ノヲ製シ上半期ハ十月中下半期ハ翌年四月中其地ヲ發シ大藏大臣へ差出スヘシ

第九條 府縣儲蓄金ノ出納ハ便立ニ從ヒ出納 現金米穀公債證書等ノ受及内譯 現金米穀公債證書ノ所在ヲ分チ或ハ收ル帳簿ヲ製シ置キ常ニ其會計ヲシテ明瞭ナラシムヘシ 支ノ科目ニ因リ出納ノ内譯ヲ明カニス

第十條 備荒儲蓄法第十條ニ因リ府縣儲蓄金ノ精算報告書 別紙第三號ノヲ製シ府縣會へ報告ノ後內務大臣兩大臣へ差出スヘシ

第十一條 大藏大臣ハ官吏ヲ派遣シ毎歲又ハ臨時ニ府縣儲蓄金或ハ貯積米ヲ検査セシムヘキニ因リ府縣知事ハ現金預ケ金及米穀ノ所在報告書 別紙第四號ノヲ製シ毎年四月中ニ大藏大臣へ差出スヘシ

第十二條 府縣儲蓄金或ハ貯積米ノ検査ハ大藏省派出官吏ノ便宜ニ因リ府縣知事へ通牒セズ直ニ其所在ニ就キ検査スルコトアルヘシ尤此場合ニ於テハ派出官吏ハ大藏大臣ノ命令書ヲ携帶スルモノトス

● 伺指令

● 備荒儲蓄金取扱方ノ件ニ付問合回答 明治二十三年二月四日 三重縣問合

本年勅令第二號ヲ以テ公有金私有金ハ總テ御省預金局ニ寄托スヘシトアリ右公有金ノ内ニハ備荒儲蓄金モ包含スヘキ儀哉果シテ然ハ二十年御省令第十五號備荒儲蓄金取扱順序第七條ニ掲ラレタル現金ヲ備置キ引出方ニ差支ナキニ於テハ之ヲ銀行等へ預ケ金ト爲スモ妨ケナシトアルハ自然消滅相成候哉又該儲蓄金ノ儲ハ救助其他ノ事項ニヨリ常ニ支出ヲ要スル事不尠然ルヲ其都度預金取扱手續ニ依リ預金局へ排斥シテ請求スルカ如キハ事實頗ル手數ヲ要スルノミナラス隨テ救助費若クハ公債證券購入等ノ場合ニアリテハ爲ニ時機ヲ誤ルハ勿論途ニハ事務ノ澁滞ヲ免レサルコト、思考セリ就テハ右等ハ預金局へ照會便宜ノ取扱可相成モノ乎

大藏省主計局回答 明治二十三年二月十三日 本年法律第五號ヲ以テ改正セラレタル備荒儲蓄法第四條ニ依リ取扱ヘキモノニ付勅令第二號ノ範圍外ト御承知相成度

● 備荒儲蓄金ニ屬スル米穀代價計算方ノ件ニ付問合回答 明治二十三年三月五日(電信) 山形縣問合

從來ノ米穀ヲ其儲貯存スルトキ儲蓄法第七條ノ百分ノ五ヲ計算スルニハ時價ヲ見込ヘキヤ

大藏省總務局回答 明治二十三年三月六日 御問合ノ儲蓄米計算ハ元價ヲ至當トス

● 備荒儲蓄科目設置ノ件ニ付伺指令 明治二十三年八月六日 海森縣問合

明治二十三年度以降公備金ヲ追納スル者アルトキハ二十三年御省訓令第三十四號備荒儲蓄金取扱順序收入科目中央

補助金ノ次へ公債金追納ノ項ヲ設ケ又備荒儲蓄經濟ニ屬スル倉庫及敷地等ヲ賣却スルトハ收入スヘキ該當ノ科目無
之ニ付同科目表雜收ノ項中賸價金ノ次位ニ土地建物賣却代ノ目ヲ設ケ整理致可然哉
大藏省指令 明治二十三年八月二十三日(内務省連帶)
公債金收入科目ノ備ハ雜收中賸價金ノ上ニ公債金ノ目ヲ設置スヘク末項倉庫及敷地等賣却代收入科目ハ何ノ
通

〔第二百二十七〕預金規則

〔一〕預金ニ制限ヲ置キ整理公債證書ニ交換方 明治二十三年八月二十八日公布
法律第七十五號
朕預金ニ制限ヲ置キ整理公債證書ニ交換ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名 御璽

明治二十三年八月二十七日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

法律第七十五號

第一條 預金規則第一條第二第三ニ依リ預金局ニ預リタル金額三百圓以上ニ達スルトキ
ハ預ケ人ノ請求ニ依リ整理公債證書ヲ購入シテ之ヲ預ケ人ニ交付スルコトヲ得
第二條 前條預金ノ額貳千圓ヲ超過スルトキハ預金局長ハ其超過額ヲ以テ整理公債證書
ヲ購入シテ之ヲ預ケ人ニ交付スルコトヲ得

二十三年法律
第一號(第百
七)號

第三條 前二條ニ依リ購入シタル整理公債證書ハ預金ノ全額ヲ仕拂又ハ拂戻シタル場合
ヲ除クノ外所有者ノ望ニ依リ之ヲ預金局ニ保管スルコトヲ得

第四條 本法ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行ス

〔二〕政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有私有金寄托方 明治二十三年一月
七日公布
勅令第
二號

朕政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有私有金ニ關スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年一月四日

大藏大臣伯爵松方正義

勅令第二號

預金規則ニ定メタルモノ、外法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有
スル公有私有金ハ總テ大藏省預金局ニ寄托スヘシ

法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依ルノ外政府ハ公有私有金ヲ保管セス

〔三〕預金取扱規程ヲ定メ預金取扱手續ヲ廢ス 明治二十三年十一月十三日
大藏省令第三十三號

明治十八年五月布告第十三號預金規則及明治二十三年八月法律第七十五號ニ關スル預金取扱規程左ノ通相定メ明治二十四年
一月一日ヨリ施行ス

但明治十八年六月大藏省第八十八號告示預金取扱手續ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス
預金取扱規程

第十一類 第四章 備荒儲蓄法 預金 供托保管

第一條 預金ノ受渡ハ東京市内ハ大藏省預金局其他各地ハ本支金庫ニ於テ取扱フモノトス

第二條 預ケ金ヲナサントスルトキハ現金ニ第一號書式ノ拂込書及第二號書式ノ印鑑各地ハニテ添ヘ預金取扱所東京市内ハ大藏省預金局其他各地ヘ差出スヘシ但第二回以後ノ預ケ金ヲナサントスル場合ニハ印鑑ヲ要セス

第三條 預金取扱所ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第三號書式ノ預金通帳ニ記入印シテ預ケ人ヘ交付スヘシ

第四條 各地金庫ニ於テ取扱ヒタル預金ハ其報告ニ依リ大藏省預金局ノ帳簿ニ登記シ其旨同局ヨリ預ケ人ヘ通知スヘシ

第五條 各地金庫ヘ預ケ金ヲナシタル後左ノ期限内ニ前條ノ通知ヲ受ケサルトキ又交ケタルモ金員年月日ニ相違アルトキハ書面ヲ以テ直ニ大藏省預金局ヘ申出ヘシ

東京ヨリ
 百里未満 二十日
 二百里未満 三十日
 二百里以外 四十日

第六條 預ケ金ヲ以テ公債證書ニ交換ヲ請ハントスルトキハ第四號書式ノ請求書ヲ其預ケ金ヲナシタル預金取扱所ヘ差出スヘシ

第七條 大藏省預金局ニ於テ前條ノ請求書ヲ受ケ其請求ニ應シタルトキハ請求書到達ノ日ヨリ五日休日ヲ以テ内ニ時價ヲ以テ公債證書ヲ購入シ其預面金高記號番號購入代價及購入月日ヲ預ケ人ヘ通知スヘシ

第八條 預金制限超過額ヲ以テ大藏省預金局長公債證書ヲ購入スル場合ニ於テハ時價ヲ以テ之ヲ購入シ其預面金高記號番號購入代價及購入月日ヲ預ケ人ヘ通知スヘシ

第九條 預ケ人大藏省預金局ニ於テ直ニ取扱ヒタル預金ヲ以テ第七條又ハ第八條ニ依リ公債證書ヲ購入シタル通知ヲ受ケタルトキハ預金通帳ヲ差出シ購入代價ニ對スル預ケ金仕拂ノ記入印ヲ受ケタル上第五號書式ノ領收證書ヲ差出シ該公債證書ヲ受取ルヘシ

第十條 預ケ人前條公債證書ノ保管ヲ請ハントスルトキハ第六號書式ノ請求書ヲ大藏省預金局ヘ差出スヘシ

第十一條 各地金庫ニ於テ取扱ヒタル預金ヲ以テ第七條又ハ第八條ニ依リ公債證書ヲ購入シタルトキハ大藏省預金局ニ於テ購入額ヲ預ケ人ヘ通知スルト同時ニ第七號書式ノ假保管證書ヲ調製シ其金庫ヘ送付スヘシ

第十二條 預ケ人前條購入額ノ通知ヲ受ケタルトキハ其金庫ヘ預金通帳ヲ差出シ購入代價ニ對スル預ケ金仕拂ノ記入印ヲ受ケタル上假保管證書ヲ受取ルヘシ

第十三條 預ケ人第十一條ニ於ケル公債證書ノ交付ヲ請ハントスルトキハ第八號書式ノ請求書及假保管證書ニ式ノ如ク裏書ヲナシ之ヲ直ニ大藏省預金局ニ差出スヘシ

第十四條 預ケ人第十一條ニ於ケル公債證書ノ保管ヲ請ハントスルトキハ第六號書式ノ請求書ニ假保管證書ヲ添ヘ直ニ大藏省預金局ヘ差出スヘシ

第十五條 大藏省預金局ニ於テ第十條又ハ第十四條ノ請求書ヲ受取リタルトキハ第九號書式ノ保管證書ヲ調製シ之ヲ預ケ人ヘ交付スヘシ

第十六條 預ケ金ノ拂戻ヲ要スルトキハ第十號書式ノ請求書ヲ其預ケ金ヲナシタル預金取扱所ヘ差出スヘシ

第十七條 預ケ人直ニ大藏省預金局ヘ前條請求書ヲ差出ス場合ニ於テハ預金通帳ニ金員ノ記載印ヲ受ケ第十一號書式ノ領收證書ヲ差出シ現金ヲ受取ルヘシ

第十八條 各地金庫ニ於テ第十六條ノ請求書ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ大藏省預金局ヘ送付シ同局ニ於テ第十二號書式ノ拂戻證書ヲ調製シ之ヲ預ケ人ニ送付スヘシ

第十九條 預ケ人前條ノ拂戻證書ヲ受ケタルトキハ該證書ニ式ノ如ク記名調印ヲナシ預金通帳ヲ添ヘ其金庫ヘ差出シ通帳ニ金員ノ記載印ヲ受ケ現金ヲ受取ルヘシ

第二十條 預ケ人大藏省預金局保管ニ係ル公債證書全部ノ受戻ヲ請ハントスルトキハ第十三號書式ノ請求書及保管證書ニ式ノ如ク裏書ヲナシ之ヲ大藏省預金局ヘ差出スヘシ

第二十一條 預ケ人大藏省預金局保管ニ係ル公債證書ノ内當籤其他ノ都合ニ依リ其幾部分ノ受戻ヲ請ハントスルトキハ

第十三號書式ノ請求書及第十四號書式ノ領收證書ニ保管證書ヲ添ヘ大藏省預金局ヘ差出スヘシ
 大藏省預金局ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ保管證書ニ式ノ如ク裏書ヲナシ該公債證書ト共ニ返付スヘシ
 第二十二條 大藏省預金局ニ於テ第十三條第二十條及第二十一條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ請求書到達ノ日ヨリ五日
 休日ヲ以內ニ交付スヘシ但書留郵便其他通運會社便等ヲ以テ送達ヲ望ムモノアルトキハ預ケ人ノ危險ニテ之ヲ送達
 スヘシ
 第二十三條 前條ノ送達費ハ送達請求人ノ負擔トシ書留郵便ヲ以テ送達スルモノハ相當ノ郵便切手ヲ前以テ大藏省預金
 局ヘ送付シ其他ノ便ニヨルモノハ送達賃金先拂ヲ以テ送達スヘシ
 第二十四條 預金ノ利子ハ毎年三月末日ヲ期トシテ之ヲ計算シ其元金ニ組入ルヘシ
 第二十五條 預ケ人ハ毎年六月預金通帳ヲ其預金取扱所ヘ差出シ前條利子ノ記入ヲ受クヘシ
 第二十六條 元金ニ加ヘサル預ケ金ノ利子ハ預金ノ全額ヲ拂戻ストキニアラサレハ受取ルコトヲ得ス
 第二十七條 預金ハ預ケスタル月及拂戻ス月ハ其金額ニ利子ヲ附セス但各地ニ於ケル拂戻ハ拂戻證書添附ノ月ヲ以テ拂
 戻ノ月トス
 預金拾遺未滿ノ端金ニハ利子ヲ附セス
 第二十八條 保管ニ係ル公債證書ノ利子ハ預金局長之ヲ受取リ其所有主ノ預金ニ組入レ其旨通知スヘシ
 第二十九條 預ケ人前條ノ通知ヲ受タルトキハ預金通帳ニ該通知書ヲ添ヘ其預金取扱所ヘ差出シ該金預ケ入ノ記入ヲ受
 クヘシ
 第三十條 預ケ金全額ノ拂戻ヲ受タルトキハ預金通帳ヲ返付スヘシ
 第三十一條 甲ノ預金取扱所ヨリ交付シタル通帳ヲ以テ乙ノ取扱所ニ於テ受渡ヲナサントスルトキハ第十五號書式ノ申
 込書及印鑑各地ハ二枚ヲ要スニ預金通帳ヲ添ヘ乙取扱所ヘ差出シ番記號ノ書替ヲ受クヘシ
 第三十二條 預ケ金受渡ニ關シ關印ヲ要スル應テノ書類ニハ社寺教會社ニアリテハ其名稱ヲ記シ且押印ヲナシ其擔當

者一名記名關印シ又共同ニ係ルモノハ其總代人二名記名關印スヘシ

第三十三條 前條受渡擔當者及總代人氏名變換又ハ押住セントキハ其旨預金取扱所ヘ届出ヘシ

第三十四條 預金受渡擔當者及總代人變更シタルトキハ前任者連署ノ届書ニ後任者ノ印鑑各地ハ二枚ヲ添ヘ預金取扱所
ヘ差出スヘシ但前任者連署シ能ハサルトキハ證人ヲ立ツヘシ

附則

第三十五條 明治二十三年十二月三十一日ニ於ケル通帳預ケ金ノ預ケ主ハ二十四年三月ニ於テ通帳ヲ其預リ所ヘ差出シ
本年十二月迄ニ係ル利子ノ記入ヲ受クヘシ

第三十六條 明治二十三年十二月三十一日迄ニ預ケ入レタル定期預ケ金ハ其満期ニ至リ受取ルヘシ其期限内之ヲ引出ス
コトヲ得ス

第三十七條 明治二十三年十二月三十一日ニ於ケル現在ノ加印者ハ二十四年一月以降總代人ト見做スヘシ
第三十八條 明治二十三年十二月三十一日迄ニ交付シアル通帳ハ餘白ノ盡ルヲ俟ツテ引換フヘシ

第一號書式 (用紙寸法裏濃板半折)

(括弧内及印章ハ朱)

預ケ金拂込書

一金何圓也

前書金額何第何號通帖ヲ以テ預ケ入ノ爲メ拂込候也

(始メテ預ケ金ヲナストキハ文中何第何號通帖ヲ以テノ文字ヲ「預金規則ニ由リ」ト記載スヘシ)

府縣郡市町村番地

何々積立金

擔當者 氏

名 印

社寺教會
會社ノ印

官廳積立金ハ官氏名印

年 月 日

預金局長氏名殿
(各地ハ金庫名)

(共有積立金ハ「擔當者」ノ文字ヲ「總代人」トシ
其三名共任所氏名等式ノ如ク連署調印スヘシ)

印鑑印
(社寺教會
會社ノ印)

府縣郡市町村番地
何々積立金 擔當者 氏 名 廬

(官廳積立金ハ官氏名)
(共有積立金ハ「擔當者」ノ文字ヲ
「總代人」トシ其三名共任所氏名
等式ノ如ク連署調印スヘシ)

第三號書式

| | |
|---------------------|----------|
| 預金 局印 | 預金 局印 |
| 何第何號 | |
| 預金通帳 紙數表紙 共何枚 | |

此通帳ハ賣買取與又ハ
書入買入スルヲ得ス

氏 名

預金受渡摘要

- 一 預ケ金ヲナスニハ排戻書ヲ調製シ之ニ現金ヲ添ヘ此通帖ト共ニ預金取扱所(東京市内ハ大藏省本支金庫ヲ、差出シ通帖ニ金員ノ記入取扱人ノ調印ヲ受クヘシ)
- 一 各地金庫ニ於テ取扱ヒタル預ケ金ハ其報告ニ依リ大藏省預金局ノ帖簿ニ登記シ同局ヨリ記帖濟ノ音預ケ人ヘ通知スヘシ
- 一 各地金庫ヘ預ケ金ヲナシタル後子左ノ期日迄ニ前項ノ通知ヲ受ケサルトキ又受ケタルモ金員年月日ニ相違アルトキハ書面ヲ以テ直ニ大藏省預金局ヘ申出ヘシ
 - 百里未満 二十日
 - 東京ヨリ二百里未満 三十日
 - 二百里以外 四十日
- 一 預ケ金高三百圓以上ニ達シタルトキハ預ケ人ノ望ニ依リ整理公債證書ニ交換ヲ請求スルコトヲ得
- 一 預ケ金高二千圓ヲ超過スルトキハ大藏省預金局長ハ其超過額ヲ以テ整理公債證書ニ交換スルコトアル可シ
- 一 前二項ニ依リ交換シタル公債證書ハ預ケ人ノ請求ニ依リ大藏省預金局ニ保管スヘシ
- 一 但預ケ金全額ヲ排戻ストキハ保管ニ係ル公債證書モ共ニ交附スヘシ
- 一 預ケ金ヲ以テ公債證書ニ交換濟ノ通知ヲ受タルトキハ預金取扱所ヘ此通帖ヲ差出シ購入代價ニ對スル預ケ金仕拂ノ記入証印ヲ受クヘシ
- 一 預ケ金ハ其幾分ノ排戻ヲ請求スルコトヲ得
- 一 預ケ金ノ排戻ヲ要スルトキハ式ノ如ク認メタル請求書ヲ大藏省預金局ヘ差出シ此通帖ニ排戻ノ記入証印ヲ受ケ領收證書ト引換ニ現金ヲ受取ル可シ

請求書ヲ各地金庫へ差出シタル場合ニ於テハ大藏省預金局ヨリ送附セル排戻證書ニ式ノ如ク
 請取ノ記名調印ヲナシ之ヲ差出シ此通帖ニ排戻ノ記入證印ヲ受ケ現金ヲ受取ルヘシ
 一預ケ金ノ利子ハ毎年三月末日ヲ期トシテ之ヲ計算シ其元金ニ組入ルヘシ
 一預ケ人ハ毎年六月此通帖ヲ預金取扱所へ差出シ前項利子ノ記入ヲ受クヘシ
 一預ケスタル月及排戻月ニハ利子ヲ附セス但各地ニ於ケル排戻ハ排戻證書送附ノ月ヲ以テ排戻
 シ月トス
 一預ケ金拾錢未満ノ端金ニハ利子ヲ附セス
 一氏名變換又轉任セシトキハ成規ノ手續ヲナスヘシ

預金局 局 副

預金局長氏名 副
取扱主任者氏名 副

(各地ハ金庫名及印並
ニ取扱主任者氏名印)

| | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|------|---|---|---|------|
| 年月日 | 預 | ケ | 入 | 高 | 主任者印 | 排 | 戻 | 高 | 主任者印 |
| | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

第四號書式 (用紙寸法美濃板半折)

公債證券購入請求書

一整理公債證券預面高何圓也

右何第何號通帖ニ於ケル何々積立金ノ内ヲ以テ購入相成度此段請求候也

年月日

府縣郡市町村番地
何々積立金

担当者 氏 名 副

(社 寺 教 會
會 社 印)

(官廳積立金ハ官氏名印)
(共有積立金ハ「擔當者」ノ文字ヲ「總代人」トシ
其二名共住所氏名等式ノ如ク連署調印スヘシ)

第五號書式 (用紙寸法美濃板半折)

預金局長氏名 副

第十一類 第四章 備荒儲蓄法 預金 供托保管

公債証券領收証書

一 整理公債証券額面高何圓也
此券何圓券何枚 何第何番
前書公債証券正三領收候也

何月何日購入第何號
通知書ノ分

年月日

(社) 社
社印

府縣郡市町村番地

何々積立金 擔當者 氏 名 訓

(官廳積立金ハ官氏名印)

(共有積立金ハ「擔當者」ノ文字ヲ「總代人」トシ
其ニ名共任所氏名等式ノ如ク連署調印スヘシ)

第六號書式 (用紙寸法美濃板半折)

公債証券保管請求書

一 整理公債証券額面高何圓也
此券何圓券何枚 何第何番
前書公債証券保管相成度此段請求致候也

何月何日購入第何號
通知書ノ分

年月日

(社) 社
社印

府縣郡市町村番地

何々積立金 擔當者 氏 名 訓

(官廳積立金ハ官氏名印)

(共有積立金ハ「擔當者」ノ文字ヲ「總代人」トシ
其ニ名共任所氏名等式ノ如ク連署調印スヘシ)

預金局長氏名殿

第七號書式

第何號

假保管証書 此証書ハ賣買譲渡又ハ
書入質入スルヲ得ス

一 整理公債証券額面高何圓也

此券何圓券何枚 何第何番

此購入代價何程

前書公債証券請求ニ依リ預金ヲ以テ購入シ假リニ保管致置候也

(預金超過額ヲ以テ預金局長購入シタルトキハ文中
「請求ニ依リ預金」ノ文字ヲ「預金超過額」トナス)

年月日

何 某 殿

預金局長 氏 名 訓

同書式裏面

表書公債証券正三領收候也

府縣郡市町村番地

何々積立金

擔當者 氏 名 訓

年月日

(官廳積金ノ分ハ官氏名印)